

市立川西病院事業新経営改革プラン(案)に係る

意見提出手続結果

- 1 意見募集期間 : 平成28年12月22日（木）～ 平成29年1月23日（月）
- 2 意見提出人数 : 186 人
- 3 意見提出件数 : 362 件
- 4 提出意見については別紙のとおりです。
お寄せいただいた意見は、それぞれの項目に分類し記載しています。
ただし、個人等が特定される箇所や内容が募集対象に合致しない意見については記載していない場合があります。
- 5 意見提出者の氏名については、個人が特定されることのないよう、アルファベットで表記しています。

目次

< 市立川西病院事業新経営改革プラン（案）に対する意見 >

全体						
1. 全体	P. 1	1 - 1	全体	P. 56	6 - 1	医師の確保策
2. 病院の立地				P. 57	6 - 2	医師数、医師一人あたりの収入
3. 再編ネットワーク	P. 1	2 - 1	北部を希望	P. 58	6 - 3	建て替えの必要性
4. 経営形態の見直し	P. 15	2 - 2	北部からの移転希望	P. 60	6 - 4	地域包括ケアシステム
5. 市民病院の現状	P. 16	2 - 3	川西能勢口駅周辺を希望	P. 60	6 - 5	経営の方針
6. その他	P. 17	2 - 4	巡回バスの整備	P. 61	6 - 6	プラン内容への質問・要望
	P. 18	2 - 5	立地場所は市民等の意見を反映	P. 63	6 - 7	語句の追加・修正
	P. 19	3 - 1	伊丹市、宝塚市との連携	P. 64	6 - 8	審議会の回数、委員数
	P. 19	3 - 2	高度急性期の必要性	P. 64	6 - 9	パブリックコメント
	P. 19	3 - 3	総合病院の存続	P. 66	6 - 10	市立川西病院の充実、PR
	P. 20	3 - 4	民間病院との役割分担	P. 69	6 - 11	市民、職員の意見に対する傾聴
	P. 20	4 - 1	猪名川町、能勢町、豊能町との協力			
	P. 25	4 - 2	1市3町の事務組合			
	P. 28	4 - 3	公立病院としての役割			
	P. 37	4 - 4	市立川西病院（市の支援）を継続			
	P. 40	4 - 5	民間活用反対（不採算医療の縮小につながる）			
	P. 44	4 - 6	民間活用反対（利益優先になる）			
	P. 45	4 - 7	民間活用賛成			
	P. 46	4 - 8	黒字の公立病院			
	P. 47	5 - 1	赤字の原因			
	P. 48	5 - 2	赤字に対するこれまでの対策			
	P. 51	5 - 3	病院経営に対して			
	P. 54	5 - 4	これまでの計画等との整合性			

番号	意見の分類	意見の内容	市の検討結果	提出者
1	1 - 1 全体	<p>・改革プラン(案)の主旨は、以下の理解でよろしいですか？ 改革プラン(案)は「非常に解り難い」印象ですが、「新病院の基本構想実現に向け、課題解決策を挙げその実施計画を記述したもの」と理解しました。</p> <p>新病院の基本構想 市立川西病院の老朽化と厳しい経営状況を踏まえながらも、高度急性期病床や回復期病床を備えかつ在宅医療と介護提供体制等の高齢化にも対応できる基幹病院として、また猪名川町・能勢町・豊能町を含む川西市北部住民の利便性を満足する場所(例えば、能勢電駅近等)に魅力的な病院を創り、継続的に健全運営すること。</p> <p>の実現に向け課題抽出とその課題解決策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川西市、および川西市周辺自治体を含めた医療機関の再編・ネットワーク化 ・地方債を含め建設資金の捻出と、今後の運営費用削減方法 ・職員(経営トップ・医師・看護師・事務員)確保の方策etc. <p>の具体的実施期間(5か年計画)</p>	<p>平成27年3月に国が新公立病院改革ガイドラインを策定し、病院事業を設置する地方公共団体に対して、当プランの策定し、病院機能の見直しや病院事業経営の改革に総合的に取り組むよう要請してきました。市はこの要請を受け、市立川西病院が将来にわたって、市民に安心で安全な医療を提供するために、安定した経営基盤を築くという基本的な考え方に立って当プラン案を作成したものです。作成にあたっては、市立川西病院事業経営改革審議会に諮問し、当該審議会から現在の病院事業の経営形態を継続することでは乗り切れない課題があり、その課題を克服するためには思い切った方向転換が必要であるとの答申を得ました。市はこの答申を受け、再編・ネットワーク化を行うとともに、市にとって最も適した経営形態の見直しを早急に検討することを明らかにしたところです。計画の対象期間は国のガイドラインに示された期間です。</p>	A X - 1
2	1 - 1 全体	<p>・全体を通しての思い 経営改革プランとあるから、経営改善ではなく根本的な業務の見直しを検討されたものと思う。その為には、十分な問題点・課題の洗い出しがなされ、対応すべき課題も明確になっているはずであるが、表現上の問題から「事業新経営改革プラン(案)」に盛り込まれなかったのかもしれないが、以下の点に大変懸念を覚える。</p> <p>市民ファーストの観点からの検討がなされたのか？ 市民病院の抱える課題が出し切れて、適正な方向付がなされているのか？ 市民病院の全職種の職員が共通の課題認識を持って、一丸となって協力して改革を進めるコンセンサスが取れているのか？ 経営改革を本気になって統括して推進するリーダーがいるのか？</p>	<p>将来にわたり、市民に安心で安全な医療を提供するために、安定した経営基盤を築くという基本的な考え方に立って検討しています。</p> <p>平成21年3月に「市立川西病院事業経営改革プラン」を策定してから、幾度にもわたって検討を繰り返し、改善策に取り組んできました。しかし、平成26年度決算において経営健全化団体となり、平成28年3月に策定した経営健全化計画は達成できない可能性があります。このような状況を受け、病院事業経営の思い切った方向転換を検討しているところです。</p> <p>当プラン案については、市と市立川西病院が協力して作成しています。経営改革に対する意識は、現在進行中の経営健全化計画を通して、全職員が持っています。この改革プラン案については、市長が中心となり、関係職員が一丸となって取り組んでいかなければならないと考えています。</p>	F C - 9
3	2 - 1 北部を希望	<p>病院の建て替え場所は、北部に急性期病院がないため川西北部を希望。</p>		A - 5
4	2 - 1 北部を希望	<p>市立川西病院は今までの場所で存続していただくことを心より希望いたします。</p>		F
5	2 - 1 北部を希望	<p>・立地場所について 現在、市内の病院は多数南部にかたまっています。市民が安心して生活出来る第一条件は、病院が近くにある事です。猪名川町、能勢町、豊能町にも近郊しているため、この北部の土地の広い場所で、さらに拡大して充実させていく事が大いに望まれます。北部からの変更はしないでいただきたく思います。市の税金を我々の市民病院が愛され、誇りに思える病院としていただきたく最大の努力をお願い致します。</p>	<p>病院の立地については、市民、利用者の利便性、スタッフの確保という両面から検討していきます。一方で、現市立川西病院を多く利用している市北部地域の住民等の安心を確保する観点からの検討も行う必要があります。</p>	K - 2
6	2 - 1 北部を希望	<p>南部は協立、中部はペリタス病院があるのに北部はどうするのか。しかも猪名川町や能勢町の患者の影響あり。現在の位置を変えないでほしい。</p>		L
7	2 - 1 北部を希望	<p>川西病院は、猪名川町、能勢町、豊能町に住む者にとって一番近い総合病院で、南部に移転すると距離が遠くになり、救急の時非常に困ります。初診料、救急搬送の時、診療報酬を少し上げてもらっても、病院がなくなる事を考えると、皆さん納得されると思います。</p>		M

番号	意見の分類	意見の内容	市の検討結果	提出者
8	2 - 1 北部を希望	私の住む近辺には大きな病院がなく、かかりつけ医でわからない事は主に川西市民病院に行っています。年も取って足も悪く、車も運転できず、夫婦ともに移転してしまうと大変困ります。夜の応急で主人が見ていただいたこともあります。川西市民病院ならばタクシー、昼間ならばバス、電車を併用して行くことができます。どうぞ移転しないようお願いします。	病院の立地については、市民、利用者の利便性、スタッフの確保という両面から検討していきます。一方で、現市立川西病院を多く利用している市北部地域の住民等の安心を確保する観点からの検討も行う必要があります。	N
9	2 - 1 北部を希望	現在近隣に入院設備のある総合病院として市立病院があり、安心して暮らしています。この病院が南部に移転されると、近くには入院設備のある総合病院がなくなり、不安を感じます。南部には既に総合病院がいくつか存在しますし、川西北部や猪名川町の方々には川西病院が必要であると考えています。これからも安心して暮らしていけるように、これまで通りの体制をお願いします。		X
10	2 - 1 北部を希望	豊能町には総合病院がありません。個人医は内科、整形外科、歯科、眼科etcという具合にありますが、入院施設はなく、夜間や救急となると、救急車で最寄の病院に搬送という事になります。お世話になる総合病院は池田病院か川西病院と限定されます。池田病院は、能勢電、阪急と乗らないと行けないのですが、川西病院は能勢電だけなので、後の通院も負担が違います。いざという時に、救急施設が近いというのは心丈夫なのです。近くで安心できる入院施設があり、救急にも対応して下さる病院として、どうかこの地で存続して下さい。この地での医療をお願いします。		A J
11	2 - 1 北部を希望	市立川西病院の現在地にて継続経営して頂き度く懇願致します。高齢化の進む現在私の住む大阪府北摂の豊能町には入院設備のある病院は皆無で総合病院で入院出来る病院が近隣にあることは必要不可欠です。昨夏主人が町医の紹介で貴院を受診し、手術・入院させて頂きました。現在は通院治療中ですが、通院距離、高齢家族の見舞い等にしても絶好の立地です。ぜひぜひ現在地にて継続経営して頂き度く再度懇願致します。		A K
12	2 - 1 北部を希望	住所に近い病院としてよく利用し家族共々お世話になっております。入院とか何かにつけて近いと云うことは有難く、移転とかになるとほんとうにこまると思っています。最近先生も看護師さんもやさしくていていねいで頼れる存在です。移転とかせずに病院を大きくいい設備にすることは不可能なのでしょうか。お願い致します。		A O
13	2 - 1 北部を希望	川西市北部（能勢町、豊能町等を含め）の拠点病院として、立地場所は現市民病院隣接地が望ましい。大和、清和台、グリーンハイツから近接し将来シャトルバスもしくは阪急バスのアクセスの利用ができる地。大和団地の個人医院は高齢化が進み近い将来、適切な医療を受けることが難しくなるのでアクセスが便利な現市民病院地が望ましい。北部地域は高齢化が急速に進み、ますます救急治療が必要となる。病院が集中している南部（池田、伊丹を含め）に新規病院建設するのではなく北部でアクセスが比較的良好な現市民病院地を望む。		A Q - 1
14	2 - 1 北部を希望	立地は阪神北医療圏において、現状の立地で「使命と役割」を果たす。又、今年の秋には新名神高速道が川西 I . C 供用される予定ですので、その I . C は至近距離ですので災害等の問題・道路アクセスでも好位置です。		A S - 4

番号	意見の分類	意見の内容	市の検討結果	提出者
15	2 - 1 北部を希望	豊能郡在住の70歳の女性です。市立川西病院が現住所に移転されて以来、ずっと小児科以外の外来を現在も利用させていただいております。入院も3、4度あります。豊能郡では個人医院しか無いので大きな検査が出来ません。立地条件としては無くてはならない病院です。ただ、総合病院で無いのが難点です。阪神淡路大震災の前年に整形外科で変形性股関節の手術を受けました。人工関節ははいつておりません。その当時は整形外科の入院患者も多く、他の病棟も満室だった様に記憶があります。今では整形外科も手術が出来なく成り立っていない様な、当病院の多くの方からの悪い風評被害も多く耳にします。立派な先生方もたくさんいらっしゃる中で残念に思います。30年近く利用させて頂いてる患者として、今の場所で一人でも多くの患者が信頼と期待が出来る様な総合病院に成り立って欲しいと願っております。	病院の立地については、市民、利用者の利便性、スタッフの確保という両面から検討していきます。一方で、現市立川西病院を多く利用している市北部地域の住民等の安心を確保する観点からの検討も行う必要があります。	A V
16	2 - 1 北部を希望	特に、北部住民の関心事である新病院の建設計画（具体的な場所や構想）が何もない。		A X - 3
17	2 - 1 北部を希望	場所は南部へという点は困り果てますが、市全体を思うと、わがままは言えないとも考えます。		A Y - 2
18	2 - 1 北部を希望	能勢町山辺地区在住です。川西病院が存続危機にあると聞き閉鎖・縮小なんてとんでもないと思いました。能勢町民にとって生活・生死に関わる大事な病院ですからどんな代償はらっても存続させてください。		B D
19	2 - 1 北部を希望	移転については、北部の過疎地に住むわたしたち近隣の住民の健康と安心をになっただいでいる川西市、川西病院に感謝しつつ、先にも書きましたようにわたしたちにとっていのち網である現在の場所に建て替えていただけるようにお願いします。		B G - 2
20	2 - 1 北部を希望	現病院の立地場所の変更は地域医療の崩壊です。北部の患者は、安心して受診出来る病院がなくなる。南部の住民は、他市へのアクセスも良く、大学病院などへも受診しやすいので、南部への移転は必要ないのでは？今ある病院は、今の場所のままであってほしい。頼れる医療機関へは、立地が悪くてもわざわざ受診に向く患者が多い。川西病院がそういう魅力ある病院であってほしいものです。病院の経営が厳しい状況である事を、市民が知り意識をもつのも必要です。しかし地域の市民を支える市民病院の利益は無くても当たり前とも思いますが、特徴的な科を設け、この病院の売りは、これだと言うのがあれば、自然に病院は、評判を得ることも出来るでしょう。市民の為の病院は、ここしか無いというぐらいの信念で経営してほしいと願っています。		B J
21	2 - 1 北部を希望	川西北部での立地を考えると今の場所でする事に意義があると思われます。そのため継続を希望します。		B K

番号	意見の分類	意見の内容	市の検討結果	提出者
22	2 - 1 北部を希望	<p>移転は非常に困ります。もし移転すると、市内北部は都市のインフラがますます悪化します。私も毎週心理カウンセリングでお世話になっているので、この先心配です。北部以外への移転は、断固として反対します。ほとんどの公共施設が、南部と中部に集中している今、北部は高齢化だけが進みます。病院が移転したあとに残るのは、公民館と消防署だけでしょう。特に子育て現役世代には、全く魅力の欠片もありません。同じように納税してても、公共サービスの受けやすさで地域差が生まれることって、果たして許されるのでしょうか？不平等です。医療サービスは、全市民に平等に与えられるべきものです。効率的な経営や人材確保のみで、決められるものではありません。行政の責任として、医療機関は、地域に偏りなく配置すべきです。このままの市政が続くなら、自分たちは川西を捨てて、ゆくゆくは大阪に戻ると思っています。インターネットなどで調べても、結局川西市北部は不動産が安くて、パチンコ屋だけが充実した田舎町、という評価です。豊中市から引越してきたことを、今、非常に後悔しています。せめて市立病院くらいは、北部に残してください。</p>	<p>病院の立地については、市民、利用者の利便性、スタッフの確保という両面から検討していきます。一方で、現市立川西病院を多く利用している市北部地域の住民等の安心を確保する観点からの検討も行う必要があります。</p>	B M
23	2 - 1 北部を希望	<p>能勢町在住の者です。川西市民病院は、川西市民の方だけではなく、能勢町民も多く利用していると思います。能勢には大きな病院がないので川西市民病院を存続していただきたいと存じます。</p>		B N
24	2 - 1 北部を希望	<p>川西北部の住民にとって、川西市民病院は川西北部の地域医療の中核で住民の健康と安心・安全を提供する場として現在の場所は好立地だと思います。また、救急、総合病院としての機能を十分果たしており、現状維持の方向でお願いしたいと思います。</p>		B W
25	2 - 1 北部を希望	<p>何度も通院したことがあります。また、高齢者を送迎したこともあり、川西病院の必要性を強く感じております。できるだけ能勢住民の近隣に移転してくれることを願います。</p>		B X
26	2 - 1 北部を希望	<p>能勢町内には入院できる病院がありません。一番近いのが市立川西病院です。何かあった時にやっぱり今の場所にないと困ります。</p>		B Y
27	2 - 1 北部を希望	<p>以前に父が市立川西病院で手術をし、何週間か入院したので洗濯物を取りにけっこう通いました。私は仕事をしています。今の場所ならまだ近かったので通えましたが、建て替えの場所が大幅になると不安を感じます。父も高齢ですし、今度またいつお世話になるかわかりません。いまある場所の近隣をお願いします。</p>		B Z
28	2 - 1 北部を希望	<p>立地場所は現場所です。</p>		C D - 1
29	2 - 1 北部を希望	<p>立地に関しては、現在の立地（山下）で考えていただきたい。市中央部には協立病院があり、隣市の池田には市民病院もあるが、川西北部に大規模な病院がないためです。2012年に川西病院の泌尿器科で手術を受けました。ところが、術後観察中の2013年に医師が非常勤になり、2014年には泌尿器科が医師不在で廃止されました。このような医療の空白は避けて下さい。</p>		C E

番号	意見の分類	意見の内容	市の検討結果	提出者
30	2 - 1 北部を希望	日常的に市立川西病院を受診しております。先日折り込みで今回の改革プラン（案）を知り、主人と文面を考えておりましたが、16日に同居の義母が入院（インフルエンザ）した際、一緒に付き添いで来ていた主人が「急性心筋梗塞」を発症しました。病院内であった事が幸いして、間髪いれない処置のおかげで一命を取り留める事ができましたが、まさか自分達家族がチラシにあるような問題点に直面するとは思っていませんでした。立地場所の変更には反対します。南北に細長い当市の現状を考えると、医療機関の多い池田・伊丹・豊中などと隣接している南部にくらべ、猪名川・豊能・能勢などを含めた北部の地域医療の拠点がなくなってしまう事に不安を感じます。	病院の立地については、市民、利用者の利便性、スタッフの確保という両面から検討していきます。一方で、現市立川西病院を多く利用している市北部地域の住民等の安心を確保する観点からの検討も行う必要があります。	C I - 1
31	2 - 1 北部を希望	川西市は南北に長い地形。北部地域は自然環境が良好であるし、又人口の割合も多い。北部地域の活性化の中核をなす川西病院の移転では、公平な市民の公共サービスを受ける事はできなくなる。医療・介護・福祉・教育等、市民は公平に公共サービスを受けなければならない。私は市南部に居住しているが、環境の良い地域での療養することは光栄であると思っています。北部地域の活性化の為に川西公立病院をなくす事はできない。救急の医療はもちろん、長期の療養や人間ドックの施設を充実させ北部地域の方々への医療・介護・福祉・教育等の公共サービスが受けられる様に改革してゆくことが求められると思います。		C J - 1
32	2 - 1 北部を希望	北部（川西）の医療拠点として市民病院が必要であることは言うまでもありません。		C L - 1
33	2 - 1 北部を希望	私は川西病院を利用しています。父も以前3回手術し、今も通院しています。主人が救急車で運ばれたのも川西市民病院でした。能勢からも近く、けっこう能勢町住民の方も利用されています。今日友人から初めて移転の話聞いてびっくりしています。能勢町からは何も聞いてなくて、ただ驚くばかりです。移転はやめてほしいです。遠くなると通院できなくなり、病院を変えなければならなくなります。どうかよろしくお願いします。		C M
34	2 - 1 北部を希望	病院の場所は変更しないでください。高齢者の多い北部住民にとって病院は命を救う所です。安心できる日々を送りたい。		C P - 1
35	2 - 1 北部を希望	川西市内で出産できる病院として「市立川西病院」を川西市の北部で守ってほしいです（里帰り出産、小児科と併設してほしい。母体保護の観点から総合病院としての役割を果たしてほしい）。民間病院で出産した友人と比較すると「市立川西病院」の出産費用は安い。公立病院として安心できる。看護師さん達がとても丁寧で優しい。		C Q - 1
36	2 - 1 北部を希望	川西市の北部で、もしもの時の総合病院として、公立病院として守ってほしい。日生中央駅前から直通のバスを走らせてほしい。カリヨンや伏見池のバスから直通でもありがたい。交通費補助をすると工夫すれば病院利用者は増える。健康でいたいと努力しているが、出産もあるし、もしもの時の安心として川西市の北部の救急や総合病院は必要です。		C Q - 2
37	2 - 1 北部を希望	北部地域の病院がなくなってしまうことによって、住民の医療不足や不安の増大、交通の不安が生じてしまい、満足のいく医療が受けられないのではないかと思います。現在の場所かその付近での市民病院の存続を希望します。	C X	

番号	意見の分類	意見の内容	市の検討結果	提出者
38	2 - 1 北部を希望	北部地域の病院が無くなってしまふことによつて住民の医療不足や不安の増大、交通の不便が生じてしまひ、満足のいく医療が受けられないと思ふ。	病院の立地については、市民、利用者の利便性、スタッフの確保という両面から検討していきます。一方で、現市立川西病院を多く利用している市北部地域の住民等の安心を確保する観点からの検討も行う必要があります。	DB - 1
39	2 - 1 北部を希望	病院建て替え場所は、北部に急性期病院がないため川西北部を希望します。		DC - 2
40	2 - 1 北部を希望	北部地区の病院がないと交通も不便なため、車のない人には受診しにくい。近くに大きな病院があると安心感があるため、移設されない事を希望します。		DH
41	2 - 1 北部を希望	川西北部地域の病院がなくなつてしまふと、川西北部や能勢地域の住民の医療不足や不安の増大などが生じてしまひ、満足のいく医療環境でなくなつてしまふのではないかと。		DK
42	2 - 1 北部を希望	川西市北部に医療拠点がなくなると住民不安が増大し、ますます人口の減少につながるのではないのでしょうか。病院建て替え場所は、能勢町・豊能町・猪名川町からも患者様が大勢来院されるので、川西市北部を希望します。		DY - 2
43	2 - 1 北部を希望	患者が来やすい立地であり、また看護師や医師が通勤しやすい場所である。現在近隣市町村からの入院を多く受け入れている現状の中で経営形態が変化し、救急などの受け入れが無くなった場合、患者からの厳しい意見がでるのではないかと。地域の中で生活しているものにとつて、病院がなくなつてしまふ事によつて疾病に対する不安、交通の不便が生じることで不安が大きい。		EH
44	2 - 1 北部を希望	医局から医師を派遣しやすい場所を検討するとあるが、具体的なことが明記されておらず、理解できない。もともと北部に病院がなかったことから当時病院を建てたのだから、今後も北部や近隣自治体の医療を守るためにも北部での病院存続を希望する。		EN - 1
45	2 - 1 北部を希望	現在私は川西市の寺畑に住んでいますが、実家は川西市北部の美山台です。実家には高齢の母が暮らしており、市民病院が川西市北部から移転するかもしれないと聞き、とても不安に感じております。川西市には、約10年程前に移住してきました。その際、総合病院の近くに住めるというのが大きな魅力であり、川西市に住む決め手でした。川西市北部や周辺の住人にとつて、近くに総合病院があるという事はとても大きなメリットであり、安心して暮らせる支えです。病院の経年による劣化の事はありますが、どうか川西北部から病院を移転させないで頂きたいです。		EO
46	2 - 1 北部を希望	猪名川町民にとっては、川西北部に大きな急性期病院なくなる事は困ります。		EQ - 2
47	2 - 1 北部を希望	北部地域の病院が無くなってしまふことによつて、住民の医療不足や不安の増大、交通の不便が生じてしまひ、満足のいく医療が受けられないのではないかと。		ER
48	2 - 1 北部を希望	能勢町は高齢者がすごく多いです。これから利用する方がふえるでしょう。私もいつお世話になるかわかりません。今の場所がないと困ります。	EY	

番号	意見の分類	意見の内容	市の検討結果	提出者
49	2 - 1 北部を希望	市立川西病院は現在設置場所に残すべきだと思います。思い過ごしかもしれませんが、何でもかんでも中央に集中はどうか。「キセラ川西整備事業」の中に病院移転計画があるとすれば、問題だと思います。市内の病院配置を考えて進めて頂きますよう切にお願い致します。		F B - 3
50	2 - 1 北部を希望	<p>・経営改革プラン(案)記載事項で気に掛かった点 地域医療構想を踏まえた市立川西病院の果たすべき役割 川西市の北部地区は、南部地区に比べ確かに医療機関は手薄であるが、大規模開発団地が多いこと。新名神が来年度には開通することによる変化が出てくること。など地域の特性を十分考慮する必要がある。 特に、大規模団地では、 a) 開発時期によって高齢化が急速に進んでいる地域 団地内でも分譲時期により差がある b) 子ども世代が出産などで実家に帰省したい世帯の多い地域 受入病院がなく出産後に帰省させざるを得ないとの声もある c) 空家が取壊され新築住宅に若い世代の人が増加している地域 開発＆分譲時期が早い団地・地域に見られる傾向 d) 公共交通機関での市民病院へのアクセスが難しい地域</p> <p>川西市北部の公共交通網は、川西能勢口を起点にY字型でY字の右側が能勢電鉄、左側が阪急バスが中心となっており、東西を結ぶ路線が希薄。なお、新名神の川西インターへのアクセス道路の整備で、市民病院へのアクセス経路も変わると思われる。といった特徴がある</p> <p>開発年度の古い団地では、高齢化が急速に進んでいるが、開発年度の新しい団地や古い団地で建替えの増加している地域では、若年・中堅層の増加も見られ、医療ニーズも多様化してきていると思われる。</p> <p>団地グループ別の上記特徴比較) 多田グリーンハイツ、大和団地、清和台 : a, b, c, d (清和台)に該当) 湯山台、げやき坂 : dが一番強い 一部aも) 日生ニュータウン(含む川西市) : a, b パークタウン、つつじが丘 : dが一番強い) ときわ台、光風台、東ときわ台、新光風台+箕面森町 : a, b, c)は主に猪名川町、)は主に豊能町で人口が集中しているところ。)~)の地域の住民数合計は10万人を超える。これ以外にも多田周辺地区、能勢町など市民病院がカバーする地域には多数の住民がいる。</p>	<p>病院の立地については、市民、利用者の利便性、スタッフの確保という両面から検討していきます。一方で、現市立川西病院を多く利用している市北部地域の住民等の安心を確保する観点からの検討も行う必要があります。</p>	F C - 4
51	2 - 1 北部を希望	老人が増え続ける現在、東畦野の公立病院が無くなるという事は、ここに長年住みついた人々は、どうなるのでしょうか。運転するにも、高齢者の運転は事故も増える一方で、遠くの病院に行くのは困難になるのでは...と懸念されます。やはりこの地域にも病院は必要です。若い人達もどんどん離れて行き、ますます高齢者が取り残されてしまいます。川西の南部と北部に(本院・分院)という型でも残せないもののでしょうか。		F E
52	2 - 1 北部を希望	若し、市立病院の立地場所とかが変更となれば、非常に困ります。殆どどの居住者は私も含め、75歳以上の高齢者が多数住んでいます。若し、急病となれば指定救急病院であるため、一市民としては有難い存在で感謝しております。今後とも永続されますようお願い申し上げます。		F F

番号	意見の分類	意見の内容	市の検討結果	提出者
53	2 - 1 北部を希望	私は今、市民病院に通院していますが、市民病院が近くにあるからこそ、病気が早期に見つかり、今、元気に過ごせています。病院が遠くになれば、ついつい先に延びてどうなっていたかわかりません。高齢になると特に通院が困難になります。南部の方には大きい病院や専門医が多く、市外の病院にも近く安心だと思いますが、今の市民病院が変更となると北部の私達はどんなに不安なことでしょう…。	病院の立地については、市民、利用者の利便性、スタッフの確保という両面から検討していきます。一方で、現市立川西病院を多く利用している市北部地域の住民等の安心を確保する観点からの検討も行う必要があります。	FR - 1
54	2 - 1 北部を希望	新経営改革プランの案を拝見しました。市立川西病院の経営改善が喫緊の課題であることはよく分かりました。1点だけ、病院の立地（6頁、2（2）オ）に関して、意見を申し上げます。 新経営改革プラン案では、病院の立地について、「利用者の利便性、医師等確保の観点から見直します」と述べており、現在の所在地からの移転も視野に入れているように見受けられます。しかし、市北部には市立川西病院以外に総合病院が乏しく、また、猪名川町、豊能町、能勢町など市北部と隣接する町村住民も市立川西病院に依存しています。反対に、市の中部・南部には、現在でも、複数の総合病院が存在していますし、隣接市の総合病院を利用する選択肢も与えられています。利用者の利便性や、市民病院の果たすべき役割を考えた場合、市立川西病院は、引き続き市北部に置かれるべきです。また、将来的に新名神が開通すれば、川西ICから近い市北部の交通の便が高まり、医師らのアクセスも改善されるはずですから、医師の確保の観点にも叶うといえます。東畦野にある現在の所在地から移転させるか否かは、市で十分に検討いただくとともに、市民病院の設置区域としては、引き続き市北部に設置するようにお願いいたします。		FS
55	2 - 1 北部を希望	「利用者の利便性ももとより、大学医局から医師を派遣しやすい環境にも配慮した立地を検討する必要があります」ということですが、すでに川西中心部には病院はたくさんあるし、市立池田病院だって、1駅で行けます。市立川西病院の現在の立地は、北部の住民にとっては、要の場所です。特に東谷地域は、子どもも多く、比較的新しい世帯が流入してくることが多い地域ではないでしょうか。猪名川町にも産婦人科がないことを考えると、今の市立川西病院は、川西北部住民だけでなく、近隣市町村の頼りの病院です。今の場所での存続をぜひお願いしたいし、老朽化でどうしても移転が必要なら、せめて北部のどこかをお願いしたいです。よろしくお願いいたします。		FT
56	2 - 1 北部を希望	豊能町で内科医院を開業しています。普段から、沢山の患者さんを市立川西病院に紹介させて頂いております。豊能町内には急性期病院がなく、豊能町から近い市立川西病院は重要な医療機関です。豊能町の住民は、川西市、池田市、箕面市、豊中市、吹田市、大阪市などの医療機関に通院されている方が多く、町外の医療機関に専門的な医療、急性期医療を依存している状態です。若いときは遠方の医療機関まで通院できても、高齢になるとなかなか遠くの医療機関まで通院できなくなります。私の内科医院では、地域の方々が最期まで自宅で暮らせるように色々な支援をしております。しかし、小さな診療所ができることは限りがあります。市立川西病院という急性期病院が近くにあるからこそ、豊能町の住民が最期まで安心して暮らすことが可能となります。川西市北部、豊能町の地域医療を守るため、現在の立地での病院継続を希望いたします。		FV

番号	意見の分類	意見の内容	市の検討結果	提出者
57	2 - 1 北部を希望	拝見させて頂いた改良案には何ら異議を差し狭む余地もなく、全面的に賛意を表しますが、ただ1つ、新病院の設置場所として是非、川西市の北部（できれば北陵地区）にご考慮頂きたいことです。ご承知のことと思いますが、川西北部には現在、総合病院としては市立川西病院しかなく、市中央部や南部のように複数の私立総合的病院や中規模のクリニックがあるわけではありません。従って、北部地区の住民は今後もし本格的に診療を受けなくなった場合、今の市立川西病院がなくなってしまっているとすれば、状況は住民にとって悲惨なものとなりましょう。高齢者が増え続ける社会となっておりますが、そのあたりもご検討頂き、新病院は何卒、市北部地区に建設下さるようお願い申し上げます。	病院の立地については、市民、利用者の利便性、スタッフの確保という両面から検討していきます。一方で、現市立川西病院を多く利用している市北部地域の住民等の安心を確保する観点からの検討も行う必要があります。	F Z
58	2 - 1 北部を希望	最近川西病院が南の方に移転するのではとよく耳にすることがあります。それは本当ですか？とんでもない大塩民生現市長も立候補された時、川西市には県立の病院がなく、伊丹・宝塚市にもないので何としても川西には県立病院がぜひとも必要とまで言われているが、未だに実現していません。散歩している時に、猪名川町・能勢町の救急車がサイレンを鳴らして走っているのをしょっちゅう（常に）見かけます。そのような地域の方々も困られるのではないのでしょうか。他の行政のことはわかりませんが、この地域には最低でも現在の規模位の病院が必要と考えます。この地域においてはまだまだ地域開発が進み市民の数も増加傾向にあるとおもいます。だって東谷小、中学校に於いても生徒数が減っていないと思います。私事ですが、今年74歳になりますが、一昨年ガンで川西市民病院にお世話になりました。病院の規模が小さくて小規模の手術しかできなくて大阪の成人病センターにて大手術をしました。移転とか閉院どころかむしろ県立病院を建てるとか現の市民病院を建替えあるいは増築を考えていただけないかと要望します。でなければ北部地域の高齢者を早く死ぬと言っても過言ではないと思います。南部地域の方は開業医院や大手の病院が隣接にも沢山あるのではないのでしょうか。新名神道路も近く完成しますし大事故も予想されます。そういう意味においても迅速に対応できる病院も必要と考えます。もっと北部地域が発展するように労使市議問わず一体となって検討を望みます。最後に特に人の生命を守る病院。 北部地域からの他地域への移転、閉院、断固反対。 早期県立病院の建設の実現。 上記2項を特に要請します、よろしく申し上げます。	病院の立地については、市民、利用者の利便性、スタッフの確保という両面から検討していきます。一方で、現市立川西病院を多く利用している市北部地域の住民等の安心を確保する観点からの検討も行う必要があります。 現時点では、阪神北圏域での県立病院の計画はありません。	A I
59	2 - 1 北部を希望	立地に関しては、今さら川西南部へ移っても、協立・池田HPと比べてやっていけるのか。北部で地域に応じた経営を再考してはどうか。せつかく緩和病棟もあり、高齢者も多い地域なのだから、終末期・老人医療で収益を上げる方法を考えてはどうか。	病院の立地については、市民、利用者の利便性、スタッフの確保という両面から検討していきます。一方で、現市立川西病院を多く利用している市北部地域の住民等の安心を確保する観点からの検討も行う必要があります。 公立病院の役割は、民間病院との適切な役割分担の下で、地域において必要な医療提供体制の確保を図ることにあります。具体的には、民間病院では担っていくことが難しい不採算医療や高度・先進医療を提供するという役割を継続的に担っていくことにありますので、そのような機能を備えた総合病院を想定して検討します。	DO - 2
60	2 - 1 北部を希望	小児科、婦人科の総合病院は能勢口まで行かなければならないのは困る。川西北部に総合病院を残し、小児、婦人科の存続もしてほしい。		E G
61	2 - 1 北部を希望	病院建て替え場所は、北部に急性期病院がないため、川西北部を希望します。能勢町、豊能町、猪名川町からの患者さんも多いので、その3町から支援をもらったり、提携することも検討に入れていただきたいです。患者が来やすい立地、看護師や医師が通勤しやすい場所、道路（駐車場のあり方：立体駐車場がない、病院前の道路が狭く一車線、ロータリーが狭い）の配慮がされているかわからない。	病院の立地については、市民、利用者の利便性、スタッフの確保という両面から検討していきます。一方で、現市立川西病院を多く利用している市北部地域の住民等の安心を確保する観点からの検討も行う必要があります。 猪名川町、豊能町、能勢町の皆さまの医療の一部を担っている現状から、経営形態の見直しを検討する際に、市立川西病院の医療圏にある他の自治体からの協力を得ることも併せて検討します。	E A

番号	意見の分類	意見の内容	市の検討結果	提出者
62	2 - 1 北部を希望	市立川西病院は能勢町から最も身近な総合病院で、今後も今の場所で続けて頂きたいです。能勢町議会にも協力を働きかけてはどうか。私も住民として協力すべき事はやらせて頂きます。	病院の立地については、市民、利用者の利便性、スタッフの確保という両面から検討していきます。一方で、現市立川西病院を多く利用している市北部地域の住民等の安心を確保する観点からの検討も行う必要があります。 猪名川町、豊能町、能勢町の皆さまの医療の一部を担っている現状から、経営形態の見直しを検討する際に、市立川西病院の医療圏にある他の自治体からの協力を得ることも併せて検討します。	E X
63	2 - 1 北部を希望	この度の市立川西病院の移転については反対です。 川西病院は川西市北部に於いて総合病院で唯一であり、これからも必要とされている施設である。川西中央部には協立病院をはじめそれなりの施設があり、キセラに医療機関が出来る、その上に移設して過当競争をしても仕方がない。 川西病院が赤字である理由の一つは南部・中央部の市民が利用していない。本当に市民病院としての機能を取り戻すには、足の利便が極端に悪い点にある。川西市民は高齢化が急速に進んでおり、山下駅・平野駅からのバスの利便をもっと増やすと共に、川西能勢口からの直通バスの便を新設し、利用しやすくする。そして、池田市民病院や豊中市民病院に流れている人を取り戻し、利用者の増加を図る必要がある。 川西病院の赤字を解消する一方法に、利用者の4割が市内以外の患者と聞きますので、焼却場のように川西市・猪名川町・能勢町・豊能町で組合立として運営をできないか。そして北摂地域の基幹病院として確立し、経営の安定化を図ってはどうか。 地域医療制度の拡充。地域の病院・診療所・地域包括センターなどの連携強化をはかる。広報誌やホームページでの情報発信・健康セミナーなどの一般市民向けの講演会を定期的に開催して、川西病院のアピールを強化し、市民に知ってもらい利用者増加をはかる。三田市民病院は黒字経営だと聞く、また宝塚市民病院も市民とのつながりが強いものと聞く、近隣市民病院での成功例を聞いて参考にしたい。 いずれにしても、現在地に建て替え市民利用の利用率を上げることに全力を挙げてほしい。	病院の立地については、市民、利用者の利便性、スタッフの確保という両面から検討していきます。一方で、現市立川西病院を多く利用している市北部地域の住民等の安心を確保する観点からの検討も行う必要があります。 平成20年度、21年度にかけて市立川西病院とけやき坂・清和台地区、明峰地区においてコミュニティバスの試験運行を実施しましたが、1便当たり平均乗車人数が約5人であり、持続可能性を担保出来ないとの結果を得ました。 また、猪名川町、豊能町、能勢町の皆さまの医療の一部を担っている現状から、経営形態の見直しを検討する際に、市立川西病院の医療圏にある他の自治体からの協力を得ることも併せて検討します。 後段の部分については、ご意見を踏まえ、検討していきます。	C
64	2 - 1 北部を希望	・病院の場所の変更 私は猪名川町住民ですが、町立の病院がないので、病院の移転については川西市と共有できる場所のご検討をお願いいたします。場所的には、駐車場のスペースが十分確保できるところが、ベストと思います。	病院の立地については、市民、利用者の利便性、スタッフの確保という両面から検討していきます。一方で、現市立川西病院を多く利用している市北部地域の住民等の安心を確保する観点からの検討も行う必要があります。駐車スペースについては、ご意見を参考にします。	P - 2

番号	意見の分類	意見の内容	市の検討結果	提出者
65	2 - 1 北部を希望	<p>市立川西病院は川西市北部、猪名川町周辺の人々、特に遠い外出などが若い方より一苦勞のご高齢者の人々にとっては無くしてはならない絶対に必要な総合病院です。絶対にこの地域からの総合病院の移転には反対です！小児科、周産期分野、救急対応が多少提供できなくなるといふ部分的な医療提供が難しくなる事は仕方がない対策としても、総合病院自体をこの地域から、完全に撤退してしまう案は絶対にやめて頂きたいと思っています。川西南部の新開発地キセラの地域には新しく、協和会の24時間体制の病院が建設予定との旨キセラのHPで拝見しました。救急対応は、いざとなれば救急車で川西南部の病院へ行く事になったとしても日常的に普段利用する総合病院が、特にこの高齢化の進む川西北部の地域でも絶対に必要だと思えます。万一、現在の川西市市民病院の建物の老朽化に伴い再建する場合に多少の場所の移動は必要であったとしても（例えば、山下 日生中央やパークタウンなどへ）、現在のエリアより大幅に遠い場所への移転は本当に地域住民にとっては困ります。若い住民の方は、フットワークも軽く多少は遠くの病院への通院なども苦にはならないと思えますが、身体が思うように動かない、体力もない、年金暮らしでタクシー代なども満足な支払いが困難となってきた様な高齢者様の事をどうぞ考慮の上この地域より市立川西病院を完全に無くす事は是非お考え直し頂きたいと思っております。経営の面でも色々課題はあるかとは思いますが移転は絶対に反対と考えている市民が多数存在するという事、特に周囲の高齢者様の意見をお伺いする限り反対意見が多いと思うので、その旨をどうぞご配慮の上、何卒川西北部の位置での存続の方向でお考え頂きたいと思えます。</p> <p>以上、宜しくお願い致します。</p>	<p>病院の立地については、市民、利用者の利便性、スタッフの確保という両面から検討していきます。一方で、現市立川西病院を多く利用している市北部地域の住民等の安心を確保する観点からの検討も行う必要があります。なお、市は一貫して公立病院の必要性を認識しております。</p>	B R
66	2 - 1 北部を希望	<p>この度の貴院のパブリックコメント募集に際してのお願い。私は能勢町民ですが、体調が悪い時は貴院にお世話になっております。川西市民ではないのに申し訳ないのですが能勢町には大規模病院がなく、ちゃんとした設備の整った病院で診てもらえる安心感を得るために貴院をアテにしております。大きな病院は腕の良いお医者さんが揃っていると信頼してお世話になっております。それが現在、経営があまりよくないと聞きました。このまま患者数が減っていくと立派な医師が去り良質な治療が受けられなくなる可能性があるとしたら、人口の少ない当町は税収が少なく町立の病院の建設などは全く見込めず、本当に困ってしまいます。</p> <p>しかし今、私達は能勢町を魅力ある能勢町に変え若者の人口増をめざしています。それにつれ小児医療、周産期医療の利用者が増えることが予想されます。ですから、どうぞ今迄通り医療行為を続けてください。川西市市民病院はなくてはならない病院です。今回改革プラン（案）とかおっしゃっているのは、経済的な不採算があるのでしょうか。それでしたら受診料を少し多めにとってもらったらいいいと思います。是非、現在の場所で続けてください。お願いします。</p>	<p>将来にわたり、市民に安心で安全な医療を提供していくためには、安定した経営基盤を築く必要があり、現状を考えると、経営形態の見直しを含めた抜本的な改革が必要であると考えています。</p> <p>病院の立地については、市民、利用者の利便性、スタッフの確保という両面から検討していきます。一方で、現市立川西病院を多く利用している市北部地域の住民等の安心を確保する観点からの検討も行う必要があります。</p>	F G

番号	意見の分類	意見の内容	市の検討結果	提出者
67	2 - 1 北部を希望	<p>病院の立地については、市北部の地域だけでなく、猪名川町、能勢町、豊能町の広域な地域医療の拠点に位置づけられるもので、この地域からの移転については考えられないものかと考えます。もし、市の南地域へ移転となれば、競合する公立、私立の総合病院が多く経営的に考えても、今以上に独自性のある診療科目、実績を看板にした病院でないと競争に打ち勝つのは難しいと思います。それが移転時にすぐ可能なものになるのか疑問に思います。</p> <p>また、市の南部地域の居住市民の方の実質的病院利用について、どのように把握されているのでしょうか？私の感覚、想像ですが、たぶん伊丹市民病院、池田市民病院、協立病院等の市の南地域に近い総合病院利用が、利便性、病院評価等から主に利用されているのではないのでしょうか。実質的に市の南部地域の医療機関については、十分満たされた地域ではないのでしょうか。まずそのようなことはないと思いますが、中央北地区への移転など示されれば、全く話のならないことで、北地区の計画性の無さが暴露されることになると思います。</p>	<p>将来にわたり、市民に安心で安全な医療を提供していくためには、安定した経営基盤を築く必要があり、現状を考えると、経営形態の見直しを含めた抜本的な改革が必要であると考えています。</p> <p>病院の立地については、市民、利用者の利便性、スタッフの確保という両面から検討していきます。一方で、現市立川西病院を多く利用している市北部地域の住民等の安心を確保する観点からの検討も行う必要があります。</p>	F Q - 2
68	2 - 1 北部を希望	<p>現在の市立川西病院の存在意義は大きいと思います。地域医療の点からも当院を頼っている住民は川西市民だけでなく、川西市北部に隣接する他地域の多くの方々にとっても大切な病院だと思えます。救急医療の点からも他地域の救急隊が患者を搬送されている光景をよく目にします。人口当たりの医療機関が多い地域に隣接する南部に当院を移す必要はないのではないのでしょうか。</p> <p>それよりも新設病院を作る費用を現在の当院の設備拡充に充てる方が妥当だと思えます。公立病院としての性格上、他にも優先すべきものがあるのではと思います。移動手段が限定される地域の高齢者にとっても既存の手段で短時間で通える病院は必要です。</p>		G B
69	2 - 1 北部を希望	<p>川西病院には、結婚後、ずっとお世話になっています。2人の子供の出産、ぜんそく治療、義母、主人の入院などなど小さい子どもは、連休、正月休み、夜中などに、体調を崩すことが多く夜中でも、「こんな症状が出たら、いつでも連れてきなさい」と、言っていたら、どれほど心強く、助かったことか…。川西市北部には、総合病院が、川西病院しかありません。どうか、建て替えの必要があっても、北部をお願いします。できれば、公立でみんなが安心して利用できることを願います。</p>	<p>市は一貫して公立病院の必要性を認識しております。病院の立地については、市民、利用者の利便性、スタッフの確保という両面から検討していきます。一方で、現市立川西病院を多く利用している市北部地域の住民等の安心を確保する観点からの検討も行う必要があります。</p>	B I
70	2 - 1 北部を希望	<p>川西北部には、川西市立病院が必要です。営利優先の私立病院ではなく、安心できる公立病院の存続を多くの方々都希望しています。建替えを前提に病院の存続を望みます。</p>	<p>市は一貫して公立病院の必要性を認識しております。病院の建て替えにあたっては、市民、利用者の利便性、スタッフの確保という両面から検討していく必要があると考えています。一方で、現市立川西病院を多く利用している市北部地域の住民等の安心を確保する観点からの検討も行う必要があります。</p>	D G
71	2 - 1 北部を希望	<p>以前の委員会では、新病院は川西市北部に建設するということでしたが、それはなくなっただけでしょうか。</p> <p>南部には協立病院があります。また1駅先に市立池田病院もあります。伊丹病院も近いです。急性期病院は南部に十分にありまますので、南部に建設してもメリットはないです。北部には他の急性期病院がなく、猪名川町、能勢町などの患者も多いことを考えると北部に建設するという予定は崩さないでほしいです。</p>	<p>当プラン案は、市立川西病院が公立病院として、小児、周産期、救急などの不採算医療や高度・先進医療を継続的に担っていくという役割を果たし、将来にわたり、市民に安心で安全な医療を提供していくためには、安定した経営基盤を築くという考え方に立って作成したものであり、市立川西病院の現状をみますと、経営形態の見直しを含めた抜本的な改革が必要であると考えています。</p> <p>病院の立地については、市民、利用者の利便性、スタッフの確保という両面から検討していきます。一方で、現市立川西病院を多く利用している市北部地域の住民等の安心を確保する観点からの検討も行う必要があります。</p>	A M - 1

番号	意見の分類	意見の内容	市の検討結果	提出者
72	2 - 1 北部を希望	近隣の猪名川町松尾台に住む者ですが、是非今の診療科は残すと共に、より充実するようお願いしたい。 (理由) 北部地域に住む住人にとっては、安心して受けられる総合病院が無いため、大阪市内、豊中市等にある総合病院を受診するしか無いのが実情です。川西南部にある私立の総合病院についても、医療機関として、他市にある総合病院と比較して、安心して受診できる状況に無い(命を預けるには不信任感が大きい)状況と言えます。	公立病院の役割は、民間病院との適切な役割分担の下で、地域において必要な医療提供体制の確保を図ることにあります。具体的には、民間病院では担っていくことが難しい不採算医療や高度・先進医療を提供するという役割を継続的に担っていくことにありますので、そのような機能を備えた総合病院を想定して検討します。	R
73	2 - 1 北部を希望	赤字解消はなるべく早く改善に取り組んでいただきたい!心から願っています。地域包括ケアシステムのため、川西北部地区と近隣市町と連携して地域医療の拠点として東谷地区(現在の川西市民病院)に建設してください。是非お願いします。		C N
74	2 - 1 北部を希望	市中部や南部には市内はもとより近隣市の大型の医療施設がたくさんあり、交通の利便性からも受診や入院等、また入院患者に付き添う家族の負担も軽いものがあるように思えます。が、北部や近隣3町の住民は公営の市民病院がなくなれば、遠方の病院に行かざるをえなくなります。高齢になれば車の運転自体危ういものになり、電車・タクシー等、高い交通費を払いながら長時間を掛けての病院通いになるやもしれません。これは、大変な重労働になってきます。今、75歳からを高齢者とする法案にしようということらしいですが、団塊世代と言われている方々は2025年には正しくこの年代になります。この世代を含め高齢者人口は増加し、医療機関の利用も増加するかもしれません。 現在、北部周辺は若い世代のUターンや少子化といわれる中、子どもは増えているようです。子どもと医療機関は成長する段階で切り離せないものがあります。また、親元での出産を望む人たちの希望も叶えられることができれば、安心して出産・子育てもできます。老いも若きも近場で頼れる公設公営医療機関を望むと思います。	市立川西病院が公立病院として、小児、周産期、救急などの不採算医療や高度・先進医療を継続的に担っていくという役割を果たしつつ、健全な経営を行い、将来にわたり市民の医療の安全・安心を確保するために、最も適した経営形態の見直しを検討します。 病院の立地については、市民、利用者の利便性、スタッフの確保という両面から検討していきます。一方で、現市立川西病院を多く利用している市北部地域の住民等の安心を確保する観点からの検討も行う必要があります。	B U - 4
75	2 - 1 北部を希望	地域医療の構想を踏まえた市立川西病院の果たすべき役割の1-(1)項目については、阪神北圏域に医療機関が不足しているからこそ、高度急性期病院を川西市南部に確保するのではなく、現在の川西北部で川西市民はもちろん猪名川町・能勢町・豊能町の住民も受診しやすい環境で、入院しても家族が通いやすく、安心できる現在の川西病院は絶対必要だと考える。1-(4)医療機能等指標の係る数値においては、全体に向上している。1-(5)住民の理解について、医療従事者が通いやすいのではなく、僻地であるからこそ近隣・周辺住民のために、受診しやすい病院が必要であると考え。現に近隣の猪名川町・能勢町・豊能町の患者は多く受診されている。病院の老朽化による建て替え時には、近隣町村の支援や協力は必要であり、得られるのではないかと思います。	市立川西病院が公立病院として、小児、周産期、救急などの不採算医療や高度・先進医療を継続的に担っていくという役割を果たし、将来にわたり、市民に安心で安全な医療を提供していくためには、安定した経営基盤を築く必要があります。しかし、市立川西病院の現状を考えますと、経営形態の見直しを含めた抜本的な改革が必要であると考えています。 病院の立地については、市民、利用者の利便性、スタッフの確保という両面から検討していきます。一方で、現市立川西病院を多く利用している市北部地域の住民等の安心を確保する観点からの検討も行う必要があります。 また、猪名川町、豊能町、能勢町の皆さまの医療の一部を担っている現状から、経営形態の見直しを検討する際に、市立川西病院の医療圏にある他の自治体からの協力を得ることも併せて検討します。	D P - 1

番号	意見の分類	意見の内容	市の検討結果	提出者
76	2 - 1 北部を希望	川西北部に暮らす私にとっては、北部に大きな病院がなくなると安心して生活ができません。川西北部の自然豊かな環境で子育てをしようと思いついてきたが、北部に病院がなくなるとメリットが1つ減ってしまいます。ただの田舎なら猪名川町と差がほとんどなく、川西北部に住む理由が薄くなってしまいます。病院の耐用年数のこともあります。焦らずじっくり腰を据えて議論していくべきだと思います。重大な決断をたった4回の審議会だけで決めるのは早計であり、市民に対して失礼であると思います。	病院の建て替えにあたっては、市民、利用者の利便性、スタッフの確保という両面から検討していく必要があると考えています。一方で、現市立川西病院を多く利用している市北部地域の住民等の安心を確保する観点からの検討も行う必要があります。また、当プラン案は、過去に策定した改革プラン及び経営健全化計画における様々な分析を踏まえ、市立川西病院の現状をみたくうえて、作成しています。	D J - 5
77	2 - 1 北部を希望	・替え時の所在地 経営改革プランや市議会議事録に病院職員の利便性の点から現在より南部に建てるべきという意見があるが、やはり市民アンケートでも中北部の要望が多く、しかも一部事務組合を選択するならこの中北部しか選択肢はありません。利用者は希望の診療科さえあればまず近くの病院を利用するのは当然だから。もし、南部へ移転すればさらに患者の利便性を損なうだけでなく、厳しい病院間競争にさらされることになる。ただし、中北部は交通アクセスの便が悪いのでマイクロバスなどの巡回バスの導入は絶対に必要です。近隣病院の例ではペリタス病院や池田回生病院などで運用されていて好評です。マイクロバスは費用がかかると短絡的に考えないで患者や職員の利便性が大きくアップし、これは競争力を勝ちぬく有効な手段と考えてほしい。	平成20年度、21年度にかけて市立川西病院とけやき坂・清和台地区、明峰地区においてコミュニティバスの試験運行を実施しましたが、1便当たり平均乗車人数が約5人であり、持続可能性を担保出来ないとの結果を得ました。病院の立地については、市民、利用者の利便性、スタッフの確保という両面から検討していきます。一方で、現市立川西病院を多く利用している市北部地域の住民等の安心を確保する観点からの検討も行う必要があります。	D - 4
78	2 - 1 北部を希望	・病院施設の立地、指定管理者制度の導入 上記について、キセラ等の中心部への移転をした場合、他施設との競合が発生し、お互いにけん制し合い、良くない結果になることが予測される。市北部からは更に遠方になり、その地域の方々にとっては不都合極まりないであろう。また民間を入れることにより内部における組織力が減衰するであろう。医者・NS・技師等のモチベーションが下がるのは必至である。もちろんそれぞれ良い面もあると思うが、総合的に見て現在の場所に建替え、内部の人間による改革を進めることが結局はいいように思える。	P9の「(1)再編・ネットワーク化に係る計画」にも記してありますとおり、それぞれの医療機関が的確な役割分担が図れるよう、検討していきます。また、市立川西病院が公立病院として、小児、周産期、救急などの不採算医療や高度・先進医療を継続的に担っていくという役割を果たしつつ、健全な経営を行い、将来にわたり市民の医療の安全・安心を確保するために3つの選択肢のそれぞれのメリット、デメリットを踏まえ、最も適した経営形態の見直しを検討します。病院の立地については、市民、利用者の利便性、スタッフの確保という両面から検討していきます。一方で、現市立川西病院を多く利用している市北部地域の住民等の安心を確保する観点からの検討も行う必要があります。	C S
79	2 - 1 北部を希望	川西市北部に医療拠点が必要と考え病院を設立したのは川西市であり、人口分布や交通の便を考えれば患者の集客が難しいこともわかっていたはずである。それでも川西北部に医療拠点が必要と考え病院を設立したのは川西市であろう。現在の場所でも市立川西病院を必要としている市民が大勢いることは、以前に行われた川西病院あり方検討委員会で明らかとなっている。医師の利便性のために川西南部近辺に移設することは、一体誰のための市立病院なのかわからない。病院で働く職員や病院を利用する市民に対して納得できる説明を求めます。	現状では、市立川西病院は市内北部地域、猪名川町、豊能町、能勢町の入院機能提供の中心的な役割を担っています。昭和58年10月の病院開設以降、約20年間は病床利用率も高く、市からの一定の協力を得る中で、その役割を果たしてきましたが、現在では医師や看護師の不足、診療報酬改定の影響などにより、経営赤字が深刻化しています。平成26年度決算において経営健全化団体となった経過については、平成28年3月に策定した経営健全化計画に記載されているとおりです。市立川西病院では、計画に基づき、様々な改善策を講じてきました。平成28年度は病床利用率において、対前年度比で大きく伸ばすなど一定の成果をあげましたが、平成29年度以降の新たな具体的な改善策が少ないことなどから、現状では計画は達成できない可能性があります。このような中で、将来にわたり、市民に安心で安全な医療を提供していくためには、安定した経営基盤を築く必要があり、現状を考えると、経営形態の見直しを含めた抜本的な改革が必要であると考えています。病院の立地については、市民、利用者の利便性、スタッフの確保という両面から検討していきます。一方で、現市立川西病院を多く利用している市北部地域の住民等の安心を確保する観点からの検討も行う必要があります。	D S - 2

番号	意見の分類	意見の内容	市の検討結果	提出者
80	2 - 1 北部を希望	現在の場所で、まだ広げられるはず。私は池田市民病院にも通っていましたが、設備、待ち時間の短縮をもっと改善可能と期待しています。	ご意見として賜ります。	C A
81	2 - 1 北部を希望	私は昨年5月、肺炎にかかり、開業医で診察（レントゲン撮影他）を受けたところ、肺炎の疑いがあるとのことでその日の午後川西病院でCTをとりました。翌日一番で開業医に行き診察を受け肺炎と診断されすぐに点滴ほかの治療を受け大事に至りませんでした。開業医と連携し、短時間で精密な検査が出来る病院が近くにあることの重要性を実感しました。市の南部、中央部にはいくつかの総合病院がありますが、川西病院は北部の中心病院として私たちの安心を与えてくれます。		FY - 1
82	2 - 2 北部からの移転希望	<ul style="list-style-type: none"> ・結論 今の市立川西病院は不要である。税金の無駄づかいである。 ・理由 私は川西市に居を構えて28年になる。28年間市民税を納めたことになる。その28年間に市立川西病院を利用したのはたったの1回だけである。病気も入院も何もなかったからではない。交通が不便だから行かないのである。今までに、手術入院したことが3回ある。15年ほど前、交通が不便な市立川西病院は避けて、市立池田病院に入院し、手術をしてもらった。5年ほど前も市立川西病院は利用せず、大阪梅田の済生会中津病院に入院し、手術を受けた。3年ほど前は、妻がペリタス病院に入院して手術をうけた。このように、私は川西市に28年間市民税を払っておきながら、その恩恵を受けていない。それが、「今の市立川西病院は不要である」と言う理由である。利用していないので、無くても困らないのである。 ・交通が不便だと何故悪い？ 本人は入院中は交通は関係ないが、入院前の診察のための通院、および退院後の通院があり、それが不便である。 入院中は、毎日か、2日に1回は下着交換などの為に、妻が来院する。これが不便である。従って、交通不便な病院への入院は妻の賛成が得られない。 ・どうしたら良いか 今の市立川西病院を交通の便が良いところに移転すべきである。今の川西市北部にあるのを、南部の阪急電車沿線に移すべきである。それが諸般の事情で難しいのであれば、少なくとも、能勢電車のいずれかの駅から歩いて10分以内の場所に移すべきである。 	病院の立地については、市民、利用者の利便性、スタッフの確保という両面から検討していきます。一方で、現市立川西病院を多く利用している市北部地域の住民等の安心を確保する観点からの検討も行う必要があります。	W
83	2 - 2 北部からの移転希望	こちら南野坂に転居して18年になりますが、川西市民病院を一度も利用した事は有りません。近所の方も皆同じです。市民病院が何処にあるか知らなかったのですが、10年位前に一度近くを通りかかり場所を知りました。不便な場所です。協立病院、池田市民病院、豊中市民病院をいつも利用しています。猪名川町、能勢町、豊能町の為に川西市民病院はあるように見えます。川西市は南北に長い市です。市民全員が満足に治療・診察に利用できる場所に変更すべきです。良い設備がある市民病院、死ぬまでに一度は利用したいものです。		A H
84	2 - 2 北部からの移転希望	今まで健康に恵まれ、長く通院する事はあまりなかったので、意見をのべる資格はありません。市立病院としては場所が悪いのではないのでしょうか。考えれば考えるほど難しい事ですね。		C B

番号	意見の分類	意見の内容	市の検討結果	提出者
85	2 - 2 北部からの移転 希望	<p>ようやく市民病院の大欠点に、市役所（市民病院）の人達が気がつき、問題提起してくれたのか、が実感です。私は、病院移設時点から、とんでもないことをしてくれたと考えていました。今の市役所の場所に、元の病院がありました。あの地に比べて、誰が考えても分る通り、あんな田舎的位置の田畑・住宅不在・住民過疎地に、しかも交通便がひどい場所に市民病院を建てるなんて愚の骨頂である。うなぎの寝床のような地形の川西市であることもあってあの場所になったのかもしれないが、常識を逸脱している。川西能勢口駅や市役所や商店街や警察や公民館などにほど近く、人口密度も低くなく、交通（電車、バス、徒歩、車、タクシー等）の便もほど良い所に、早急に移すべきである。森林都市の伊丹、池田、豊中、尼崎、西宮、宝塚等の市民病院を見ても分る通りですよ。あれでは、川西市中心部の人、誰も行かない。あんな辺ぴな所へは。現状は池田、豊中、伊丹市民病院へ大勢の川西市民達が行っている。又病院の質も川西よりはるかに上である。評判が落ち出すと、輪を掛けて市民病院の質低下、患者減となっているのである。早急に手を打たないと川西市（&市役所）そのものにも悪評価が下されることになるであろう。</p> <p>それと追加意見として、医師、看護師、技師以外の事務系職員の適正配置（民間企業の如くの縮減化）も必須である。</p>	<p>病院の立地については、市民、利用者の利便性、スタッフの確保という両面から検討していきます。一方で、現市立川西病院を多く利用している市北部地域の住民等の安心を確保する観点からの検討も行う必要があります。</p> <p>後段の部分については、ご意見として賜ります。</p>	B B
86	2 - 2 北部からの移転 希望	<p>・病院の場所変更 中央町から火打迄の旧消防署及び旧体育館跡地に建設する。 現在、公園等の工事を実施中ですが、これらの工事は後でも出来ると思う。 能勢電鉄鼓ヶ滝駅付近のダイエー駐車場（国道東側）を買収し建設。 能勢電鉄日生線の山下～日生中央駅間に新駅設置予定されているのでこの付近に建設。</p> <p>交通機関 上記の場合は川西能勢口駅よりバスを循環、バリアフリー化。又、駐車場はもちろん必要で、外来、入院患者面会での利用は4～5時間程度無料。</p>	<p>病院の立地については、市民、利用者の利便性、スタッフの確保という両面から検討していきます。</p> <p>いただいたご意見は、参考にします。</p>	C T - 1
87	2 - 3 川西能勢口駅周 辺を希望	<p>まず第一に、病院の場所について、畦野のような交通の便が悪く、健常者しか行けないような場所であること、こうした立地条件のもとでは、辺鄙な場所に行くことを希望する医者はいないのはもちろんのこと、大学（阪大系）からはいい医者を派遣されないことは火を見るよりも明らかです。この点に関して市はコミュニティバス等を考えていたようですがこれこそ「盗人に追い銭」のようなものといわざるを得ません。</p> <p>第二に、火打地区の皮革組合の跡地である一等地に市民病院を移築するのかと思えば「協立病院」系の病院が建つとの事、思わず目と耳を疑ったものです。川西市は阪急電気鉄道の「川西能勢口」駅とJR西日本の「川西池田」駅が近接した中央町が「ハブ」となっており、交通の便が極めて良い場所である前記「皮革組合の跡地」を手放したことに、疑問を持っております。つまり、市民病院を当該「ハブ」である中央町地域の建てることにより「協立病院」にも刺激になり、医療技術やサービスの向上等、切磋琢磨する結果、市民サービスの向上にもなるのですから。競争のないところに進歩はありません。</p> <p>結論するに、一刻も早く市民病院を中央町地域に建てるのが赤字解決の方策であると確信しております。ちなみに、何所かわかりませんが「南部地区」に市民病院を移設か移築する案に対して、東部地区に病院がなくなることを理由に労組が反対しているようなパンフレットが出ておりますが、まったく正鵠を得ている主張とは思えません。市民病院を中央町地域に建てることは、交通の便もよくなることで、今より利便性がよくなるものから。</p>	<p>病院の立地については、市民、利用者の利便性、スタッフの確保という両面から検討していきます。一方で、現市立川西病院を多く利用している市北部地域の住民等の安心を確保する観点からの検討も行う必要があります。</p>	S

番号	意見の分類	意見の内容	市の検討結果	提出者
88	2 - 3 川西能勢口駅周辺を希望	<p>川西の北部にあることにより、多くの市民が利用できないようになっている。現在の位置ではその周辺の方（グリーンハイツから北部）、これは市民の3割しか利用できないのではないのでしょうか。約30年前は市役所の隣にありましたが、畦野に移転することにより川西市の中南部の人はどの病院に行ったのか、公立病院では池田病院、伊丹病院に行っています。私も同様池田病院にかかっています。私立病院では不安があるため行きません。現在開発中のキセラのところにできれば大半の市民が利用できるようになるのではないのでしょうか、もしくはJR川西池田の周辺でもいいですね。池田病院にかかっている時、担当医師に「川西病院はどう思われるか」聞きましたところ、「場所が遠いですね。私が誘われても行きません」との回答です。医者、看護師も同様に通勤がいいところを選びます。池田市も川西同様北部に長いのですが病院は町中、駅から5分程度です。またバスも5路線以上止まっています。宝塚病院も町中です。このような場所では勤務が24時間の方にとって大変便利だと思います。駅に近い場所なら患者さんも行きやすいし、働く医師、看護師の方も勤務しやすいと思います。川西市も同様な考え方を持たないと市民の病院としての役割ができないのではないのでしょうか。</p> <p>以上の理由によりキセラやJR川西池田周辺にできれば、病院経営も成り立つと思います。</p>	<p>病院の立地については、市民、利用者の利便性、スタッフの確保という両面から検討していきます。一方で、現市立川西病院を多く利用している市北部地域の住民等の安心を確保する観点からの検討も行う必要があります。</p>	A L
89	2 - 4 巡回バスの整備	<p>・場所の変更について 反対です。移転に伴う大きな費用は無駄使いです。現場所へ通院に便利な循環バスを通す事です。我々が当地に引越を決めたのは日生中央駅前から市立川西病院行きのバスがあるのを見た事も一つでした。転居してすぐ見なくなった為、案内所で尋ねると「試運行で赤字と判断され廃止」と聞き失望。未だに伊丹の元のかかりつけ医に通院し、不便を感じています。生駒クリニックは休院でしたし、今も。持病があって通院するのは長期間に及びます。試運行のバスだけで患者が便利だと転院する筈がありません。時刻表通りの常設されたバスの運行があってこそです。</p>	<p>平成20年度、21年度にかけて市立川西病院とけやき坂・清和台地区、明峰地区においてコミュニティバスの試験運行を実施しましたが、1便当たり平均乗車人数が約5人であり、持続可能性を担保出来ないとの結果を得ました。病院の立地については、市民、利用者の利便性、スタッフの確保という両面から検討していきます。一方で、現市立川西病院を多く利用している市北部地域の住民等の安心を確保する観点からの検討も行う必要があります。</p>	E Z - 1
90	2 - 4 巡回バスの整備	<p>・「病院の立地について、利用者の利便性、医師等確保の観点から見直します。」の記載について 能勢電鉄を徒歩圏で使える人とマイカー利用者の場合は、然程利便性の問題はないと思うが、そうでなく公共交通機関がバス便のみの人への対応は考える必要がある。市民病院には平野駅前及び大和団地循環バスが運行されているが、各々1時間に1本であり、先に述べた西部地区（清和台、湯山台、けやき坂など）の人は川西能勢口にはバス1本で行けるのに、バスを乗り継いで市民病院に来るのは大変である。また、東部地域の人でも、バスルートから外れている人にも利便性の問題はある。これらについては、新名神へのアクセス道路もできるので、市・能勢電鉄・阪急バス・周辺自治会と市民病院及び商業施設の関係者らで、東西交通の見直し検討を進める中で、解決策も見出せる様にも思う。</p>	<p>平成20年度、21年度にかけて市立川西病院とけやき坂・清和台地区、明峰地区においてコミュニティバスの試験運行を実施しましたが、1便当たり平均乗車人数が約5人であり、持続可能性を担保出来ないとの結果を得ました。</p>	F C - 8
91	2 - 4 巡回バスの整備	<p>病院の巡回バスがあれば、どんなによいかと思います。是非考えて下さい。</p>	<p>平成20年度、21年度にかけて市立川西病院とけやき坂・清和台地区、明峰地区においてコミュニティバスの試験運行を実施しましたが、1便当たり平均乗車人数が約5人であり、持続可能性を担保出来ないとの結果を得ました。</p>	A G - 2

番号	意見の分類	意見の内容	市の検討結果	提出者	
92	2 - 4 巡回バスの整備	清和台あたりからも阪急バス利用して今の川西病院へ直通で通院できるようにしてください。今のままだと阪急バスと能勢電鉄の乗り換えでしか行けません。そちらの地元民らが反対したから行けません。なので通院する患者が少なく経営赤字になっているのです。阪急川西能勢口駅からでも直通で行けるようにすべきです。	平成20年度、21年度にかけて市立川西病院とけやき坂・清和台地区、明峰地区においてコミュニティバスの試験運行を実施しましたが、1便あたり平均乗車人数が約5人であり、持続可能性を担保出来ないとの結果を得ました。	B O	
93	2 - 4 巡回バスの整備	現在の市立川西病院の立地は交通アクセスがしにくいです。前面道路が狭く、交通の便もバスの本数が1時間に1本と少なく、非常に不便です。多田グリーンハイツに統合検討中の緑台小学校があり、そこであれば眺望もよく、ベリタス病院のように専用バスを走らせれば駅からのアクセスも便利です。高齢化が進む中で、病院の存続危機をストップさせるために、市民も考え動き出さなければいけない時に来ていると思います。良い形で存続していけることを心より願っています。		B L - 2	
94	2 - 5 立地場所は市民等の意見を反映	3頁 病院建て替え場所に住民の声を反映させるべき 適切な医療の継続的な提供につなげるためには、医師等スタッフが勤務しやすい環境を整えることが重要となります。したがって、病院の立地や再編を考える場合、これらの観点を踏まえた取り組みに住民の理解を求めていくとしています。病院の建て替えにあたっての立地場所選定には、医師等のスタッフだけではなく、実際に利用する住民の要望を反映すべきではないのですか。		O - 3	
95	2 - 5 立地場所は市民等の意見を反映	3頁 病院建て替え場所に住民の声を反映させるべき 適切な医療の継続的な提供につなげるためには、医師等スタッフが勤務しやすい環境を整えることが重要となります。したがって、病院の立地や再編を考える場合、これらの観点を踏まえた取り組みに住民の理解を求めていくとしています。病院の建て替えにあたっての立地場所選定には、医師等のスタッフだけではなく、実際に利用する住民の要望を反映すべきです。また、どこに立地するにせよ、市内各地から通院できるアクセスを確保すべきです。		病院の立地については、市民、利用者の利便性、スタッフの確保という両面から検討していきます。一方で、現市立川西病院を多く利用している市北部地域の住民等の安心を確保する観点からの検討も行う必要があります。	T - 1
96	2 - 5 立地場所は市民等の意見を反映	住民の理解を得ること。病院建替場所に住民の声を聞くべき、医師などの確保の必要性は理解できるがもっと住民の声を聞くべきである。			A F - 3
97	2 - 5 立地場所は市民等の意見を反映	もっと市民の立場に立って考えるべきで、今の市立川西病院の立地条件としての交通の問題等での患者確保など努力すべきと思います。			A F - 8
98	2 - 5 立地場所は市民等の意見を反映	川西病院は川西市だけでなく近隣の自治体にとっても大切な病院です。赤字が続いているから、医者を派遣しやすい場所に、とかでなく市民の事を第一に考えて下さい。			D A - 2
99	2 - 5 立地場所は市民等の意見を反映	患者が来やすい土地、看護師や医師が通勤しやすい場所の配慮がされているのかわからない。			D T - 1

番号	意見の分類	意見の内容	市の検討結果	提出者
100	2 - 5 立地場所は市民等の意見を反映	病院の耐用年数等で建替えになることは必然で、ある程度のタイムリミットが分かっているが今まで対応してこなかったことに大きな問題があると思います。この地域でないと来られない方もいると思うのでもっと市民の声を聴く必要があると思います。	病院の建て替えについては、市立川西病院あり方検討委員会等で検討をしましたが、経営健全化団体となったことや国の新公立病院改革ガイドラインに基づき、病院機能の見直しや病院事業経営の改革に総合的に取り組むよう要請があったことを受け、将来にわたり、市民に安心で安全な医療を提供していくために、経営形態の見直しとともに病院の建て替えを行う必要があります。 また、病院の立地については、市民、利用者の利便性、スタッフの確保という両面から検討していきます。一方で、現市立川西病院を多く利用している市北部地域の住民等の安心を確保する観点からの検討も行う必要があります。	C Y
101	3 - 1 伊丹市、宝塚市との連携	・他医療機関との連携と再編について 医療機関との再編先としては、伊丹市立病院と宝塚市立病院しかないが、川西病院と再編するメリットがこれらの病院にはないし、しかも、再編すれば川西市に公立病院がなくなり市民が絶対に納得しないので現実的ではない。そのために、再編ではなく連携を目指すのが適切である。地域医療の完結を目指すためにはたしかに高度急性期病床が必要であるが、川西病院にすぐに導入を考えるべきではない。その理由は専門医を集めるのが至難であるのと、高額設備投資の負担がさらに経営悪化に拍車をかけるからです。そのために再編ではなく伊丹市立病院または宝塚市立病院とこの分野で連携し、将来、経営が軌道に乗った時期に川西病院内に導入するのが適切である。	市は一貫して公立病院の必要性を認識しております。兵庫県域の地域医療構想を踏まえ、阪神北圏域の医療完結率の向上に向けて、公立病院だけではなく、民間病院も巻き込んだ中で、それぞれの医療機関の的確な役割分担が図れるよう取り組みます。ご意見にある伊丹市や宝塚市との連携もその中で検討していく必要があると考えています。	D - 2
102	3 - 2 高度急性期の必要性	P6 - 7行目、「高度急性期病院として」とありますが、しかるべき病床がなく、そのような経営方針が明確にあるのでしょうか。	現状における経営上の課題を解決し、市立川西病院が公立病院として、小児、周産期、救急などの不採算医療や高度・先進医療を継続的に担っていくという役割を果たすためには、今後は高度急性期病院として一定の役割も担っていく必要があると考えています。	A R - 1 2
103	3 - 3 総合病院の存続	9頁 川西病院を総合病院でなくしてはいけない 医療需要に応じた提供体制の見直しが必要です。医療の提供体制を検討する際には、公立病院だけではなく、民間病院も巻き込んだ中で、相互の機能の重複、競争をできる限り避け、それぞれの医療機関の的確な役割分担が図れるように取り組むとしています。川西病院は総合病院であることを放棄し、診療科目や医師を伊丹病院や宝塚病院または市内の民間病院に集約し縮小再編するのですか。		O - 6
104	3 - 3 総合病院の存続	9頁 川西病院を総合病院でなくしてはいけない 医療需要に応じた提供体制の見直しが必要です。医療の提供体制を検討する際には、公立病院だけではなく、民間病院も巻き込んだ中で、相互の機能の重複、競争をできる限り避け、それぞれの医療機関の的確な役割分担が図れるように取り組むとしています。川西病院は総合病院であることを放棄し、診療科目や医師を伊丹病院や宝塚病院または市内の民間病院に集約し縮小再編するのですか。川西病院は身近で、総合病院であるべきです。	市立川西病院が公立病院として、小児、周産期、救急などの不採算医療や高度・先進医療を継続的に担っていくという役割を果たすためには、総合病院であることが必要と考えています。	T - 2
105	3 - 3 総合病院の存続	11頁の病院の機能分担については反対です。利用者によっては複数の診療科目を受診している方が多いと思うので病院の移動等が大きな負担になるはずで、総合病院として存続するのが良いと思います。		C G - 2

番号	意見の分類	意見の内容	市の検討結果	提出者
106	3 - 3 総合病院の存続	市民の医療の安全安心を確保しますという一方、伊丹市、宝塚市との連携とあります。体制は維持されるのか、それとも一部の診療科目を他市にゆだね、総合病院を止めるのでしょうか？不安です。	市立川西病院が公立病院として、小児、周産期、救急などの不採算医療や高度・先進医療を継続的に担っていくという役割を果たすためには、総合病院であることが必要と考えています。	G A - 1 2
107	3 - 3 総合病院の存続	12頁 他の病院と統合再編するべきではない 市が市立川西病院の存続を図るためには、老朽化している病院の建て替えを近い将来に行う必要があります。公立病院の施設・設備の整備にあたっては、地方債(病院事業債)を活用する必要があり、この地方債の対象となる再編・ネットワーク化の要件は、複数病院の統合は相互の医療機能の再編を行うこととされています。兵庫県内では、各地で公立病院の統合、公立病院と民間病院の統合再編が続いていますが、川西病院もこうした他の病院との統合再編をすすめるのですか。	老朽化している病院の建て替えを考えた場合、市にとって有利な地方債の対象となる再編・ネットワーク化を図る必要があると考えております。また、市立川西病院が公立病院として、小児、周産期、救急などの不採算医療や高度・先進医療を継続的に担っていくという役割を果たすためには、総合病院であることが必要と考えています。	O - 8
108	3 - 3 総合病院の存続	12頁 他の病院と統合再編するべきではない 公立病院の施設・設備の整備にあたっては、地方債(病院事業債)を活用する必要があり、この地方債の対象となる再編・ネットワーク化の要件は、複数病院の統合または相互の医療機能の再編を行うこととされています。川西病院を他の病院と統合再編するのではなく、川西病院のまま総合病院であり続けてください。		T - 4
109	3 - 3 総合病院の存続	やっと診療科目もふえ、お医者さんもそろってきたのに、総合病院をやめてしまうのですか。市内の民間病院や伊丹・宝塚の病院にお医者さんや診療科目を集約するようなことは、やめてください。今のまま、さらに充実した川西病院として存続できるよう、努力してください。北部の地域医療を守って欲しいです。よろしくお願いします。	市立川西病院が公立病院として、小児、周産期、救急などの不採算医療や高度・先進医療を継続的に担っていくという役割を果たすためには、総合病院であることが必要と考えています。 老朽化している病院の建て替えを考えた場合、市民、利用者の利便性とスタッフの確保の両面から立地を検討する必要があると考えています。一方で、現在の利用者が多い市北部地域の住民などの安心を確保する観点からの検討も行う必要があります。	Z
110	3 - 4 民間病院との役割分担	・再編・ネットワーク 民間病院を巻き込んだ的確な役割分担・・・具体的には？	P13に記載している病床機能としての役割分担、小児、周産期、救急などの不採算医療の役割分担、地域包括ケアシステムの構築する上での役割分担などを考える必要があります。	A W - 5
111	4 - 1 猪名川町、能勢町、豊能町との協力	能勢町、豊能町、猪名川町からの患者さんも多いので、その3町から支援をもらったり提携することも検討に入れていただきたいです。	猪名川町、豊能町、能勢町の皆さまの医療の一部を担っている現状から、経営形態の見直しを検討する際に、市立川西病院の医療圏にある他の自治体からの協力を得ることも併せて検討します。	A - 6

番号	意見の分類	意見の内容	市の検討結果	提出者
112	4 - 1 猪名川町、 能勢町、 豊能町との協力	<p>猪名川町に居住するものとして、現在の立地は大変ありがたいものです。孫が川崎病になった時もお世話になり、小学校6年生になりますが後遺症もなく感謝しています。</p> <p>さて、今回の事業計画や見直しですが、川西市民からの思いと周辺自治体の住民の思いは改めて、その相違点が浮き彫りになり事業主体者のご苦労は大変なものと感じます。川西市は、府県境にあり、市民病院には豊能町や能勢町の住民も多く利用されていることと思います。関西広域連合等で、火災、災害、救急等で様々な協定を結ばれていると思いますが、病院の建設に当たっても、応分の負担を大阪府に求めることはできないのでしょうか？場所については、東西南北の人口比率で場所が決定されるのも仕方ないことですが、その場合には付属の診療所で府県を越えた運営とかが必要かと思えます。例えば、一の鳥居から光風台に向かう国道477号線等は何十年も昔のままです。大阪府も兵庫県も積極的にアプローチしないからと推察します。大災害が発生したらどうするのかと常々考えてしまいます。猪名川町の住民として大きい声を上げることはできませんが、やはり近くにある方が助かりますが、全体の事を思うとそのような身勝手なことは言えません。基本は、病院建設も基本的人権の尊重から考えられるべきものと思えますが、難しい問題です。</p>		J
113	4 - 1 猪名川町、 能勢町、 豊能町との協力	<p>・財政改革には、医療に関する大きな哲学と住民参加が密接不可分。</p> <p>多くの自治体病院において経営が悪化し、地域医療の態勢が崩壊しつつあるとの懸念が広がっていると聞きます。同じように市立川西病院も、これまで地方交付税の削減・公定価格の補てんで財政危機、診療報酬の度重なる抑制、医師・看護師不足のトリプルパンチをうけてきています。</p> <p>人は一生健康ではいられません。歳を重ねて少しづつ衰えていきます。それを支えていくのが医療であり、日本人同士、支え合う大事な役割の1つと言えます。病人の位置は最下層で、あっさり切り捨てられてそんな立場にあります。高齢者の悲しみに焦点を当て悲しみを分かち合える視点が必要と考えます。高齢者や病人の悲しみのために、国民の個々の力に合わせて負担していく、恩恵も受ける、そんな未来のある社会を築いていく必要があります。</p> <p>悲しみにより添う費用をカットする個人主義の国、社会、地域に成ってしまうのか、悲しみにより添う費用を皆で出しあって絆を大切にす国家、社会、地域なのか問われています。私たちの税金は、人との和や協力を大切にすることを願って納税をしています。「社会保障費は政治的力が弱く、地方交付税の削減は影響が国民の目に見えにくいから、カットし易い対象ということ」を医療関係者の文言で目にしました。公共とは、突きつめれば、税や保険料によってみるべきものでしょう。現状の改革の本丸は医療全体を決定するのが国ですのでここにメスを入れる改革プランが必要です。従って、地域住民は利用者であると同時に、自治体の構成員でもあります。適正価格の仕組みをきちんと説明し共に考える事も必要になっていると思えます。市立川西病院の利用者は川西市民50%、猪名川町・能勢町・豊能町民が50%と言われていますので、足りないものを補うための一定の応分の負担を、議会・行政・住民・医療者などが一緒になって地域医療が守られていくための多様な連帯が必要と考えます。普段の経営改善はなされるべきですが、赤字の意味を根本から考え、公共の本質的な意味を掘り下げていく必要があります。</p>	<p>猪名川町、豊能町、能勢町の皆さまの医療の一部を担っている現状から、経営形態の見直しを検討する際に、市立川西病院の医療圏にある他の自治体からの協力を得ることも併せて検討します。</p>	A S - 2
114	4 - 1 猪名川町、 能勢町、 豊能町との協力	<p>現在の場所に建て替える場合も、行政区分ではなく広域地域医療機関として、存続、特化していただけるように、相応の負担があるのは当然かもしれません。</p>		B G - 3

番号	意見の分類	意見の内容	市の検討結果	提出者
115	4 - 1 猪名川町、 能勢町、 豊能町との協力	川西生まれ川西育ちで川西市在住・大阪府勤務です。市立川西病院で子どものころからたくさんお世話になりました。かつて曾祖母・祖父母・父を見送り、数年前には我が子を出産しました。地元密着の温かい雰囲気が好きで、大好きな家族を見送った病院で出産できたことを、とても幸せに感じています。現在、病院が経営難で存続すら危ぶまれていることに、一市民として非常に危機感を持っています。このあたりの川西市中北部には公立の総合病院は市立川西病院のみで、川西市民だけではなく、猪名川町や能勢町・豊能町の方もたくさん利用されています。そのため、この件については川西市だけの問題ではないように思います。地域広域のセンター的役割を果たしている病院であるからこそ、市の垣根を越えて共同出資することは難しいでしょうか。また、市民に寄付を呼びかけるのもどうでしょうか。	猪名川町、豊能町、能勢町の皆さまの医療の一部を担っている現状から、経営形態の見直しを検討する際に、市立川西病院の医療圏にある他の自治体からの協力を得ることも併せて検討します。	B L - 1
116	4 - 1 猪名川町、 能勢町、 豊能町との協力	キセラには、多大な税金を投与しているのに、川西市の中の南北の格差を感じます。まず、自治体は、住民の生命を守る事を第一に考えてほしい。猪名川町、豊能町、能勢町との連帯も深めるべき。		B Q - 5
117	4 - 1 猪名川町、 能勢町、 豊能町との協力	猪名川、能勢、豊能からの利用者も多く、川西市北部の問題だけではなく、近隣の市町村との話し合いも含めて十分な検討をお願いします。		C L - 2
118	4 - 1 猪名川町、 能勢町、 豊能町との協力	北部の近隣の町からの支援をしていただくというのはどうでしょうか。やはり「市民病院がいい」と思う市民のかたはたくさんいらっしゃいます。もっと多くの市民の声を聞いていただき、ぜひ存続させていただけるよう強く願います。		D D - 3
119	4 - 1 猪名川町、 能勢町、 豊能町との協力	能勢町・豊能町・猪名川町からの患者さんも多いと思います。その3町から支援をもらったり、一緒に経営していくことも検討されたらどうですか。		D Z - 2
120	4 - 1 猪名川町、 能勢町、 豊能町との協力	川西市だけの負担にせず、能勢町・猪名川町・豊能町の協力も得て、経営を継続できれば良いと思います（病院利用者の住所統計をとって）。医師も研修医から中堅医師が増えると活気づく（検査や手術数増）と思う。		E D - 1
121	4 - 1 猪名川町、 能勢町、 豊能町との協力	猪名川町や豊能町からの患者も多いので、そちらの町から支援を頂いてはどうでしょうか。		F K
122	4 - 1 猪名川町、 能勢町、 豊能町との協力	近隣の町から支援をもらい合同での運営を考えてみてはどうか。能勢、豊能、猪名川の方は当院がなくては困ると思う。個室代も市内の方と同じにするなどして協力をあおげないか。		F N - 1

番号	意見の分類	意見の内容	市の検討結果	提出者
123	4 - 1 猪名川町、 能勢町、 豊能町との協力	川西病院は川西市民だけでなく猪名川町や、光風台、ときわ台の人たちの利用も多いと思います。とくに猪名川町は同じ兵庫県ですので、経済的支出を含め話し合いをしてはいかがでしょうか？私たちは、私たちの命と安心を守るために私たちの税金が使われることに反対はしません。	猪名川町、豊能町、能勢町の皆さまの医療の一部を担っている現状から、経営形態の見直しを検討する際に、市立川西病院の医療圏にある他の自治体からの協力を得ることも併せて検討します。	FY - 3
124	4 - 1 猪名川町、 能勢町、 豊能町との協力	小生82歳、現在市民病院へは「眼科」と「耳鼻咽喉科」に通っています。担当の先生は変わっても「カルテ」が残っているのが最大の利点です。しかし、清和台にいるため、また車はやめたので不便です。自治会・コミュニティを中心にマイクロバスを運行できないか検討を重ねています。移転を考えておられるようですが、もし南部近辺への変更とすると、ペリタス病院や協立病院がガッチリ地盤を固めていて、市民の利用度はあまり期待できません。それよりも現在の場所を充実させて、中途半端でなく本格的な総合病院を目指すべきです。伝え聞くところでは、猪名川町、能勢町、豊能町の3つで全体の利用者の50%ぐらいですか。立地条件から見て、当然のことで、第一この3町には病院がありません。経営の立て直しの為に広域行政の観点から、川西市と3町の共同経営、それが難しければ、せめて3町からしかるべき「協力金」をいただく。3町の利用者は川西市民より多少割高となっていますが、これを一律にする。無駄を徹底的に省いて、効率的でしかも市民から見て行きたいと思わせるような魅力的な病院を期待しています。		G
125	4 - 1 猪名川町、 能勢町、 豊能町との協力	私は能勢町に暮らし90歳になった要介護5の母の在宅介護を、介護保険制度でデイサービスなどを利用して続けている69歳の主婦です。川西市在住ではありませんが、能勢町、豊能町にとって、救急の場合唯一の近隣病院として大変頼りにさせて頂いています。2014年2月母はインフルエンザで予防注射を受けていたにも関わらず40度を超える熱のため救急搬送により市立川西病院に入院となりました。退院後すぐ胆管狭窄で再び入院となり、カテーテルでの治療を受けました。能勢町、豊能町、猪名川町には救急病院、手術を受けることができる病院がありません。川西市は兵庫県であり能勢町、豊能町は大阪府です。医療の仕組みは解りませんが、大阪府にも北端の医療過疎の地域に対しての責任があるのではないのでしょうか。もしなにか方法があれば大阪府も関わり広域医療センターとして役割を継続していただくことはできないのでしょうか。 能勢町でも高齢化が進み、私も自動車の免許がなく病院へは1時間に1本のバスを利用します。ご近所の方も高齢で免許を返上した方もおられます。母は車椅子利用なのでタクシーや福祉タクシーを利用するしかありません。福祉タクシーは本数も少なく、予約が必要なので、急な場合は利用できない事が多いです。能勢町の個人病院も送迎車などを出して頑張っておられ、日常の医療は助かりますが、救急、入院、手術には病院との連携が必要です。最近連携がスムーズに行われ大変安心して利用させて頂いています。長年の関係者各位のご努力が実った結果だと思います。それは私たち交通、医療過疎の地で暮らす者には、命綱のように思えます。どうか今までの努力を無駄にする事無く、地域の問題として医療を捉えて頂く方法を模索して頂けないでしょうか。新名神高速のインターも完成します。市立川西病院の場所は広域の医療センターの立地条件として決して悪くないと思います。もし予測されている東南海地震が現実のものとなれば、都市部からの避難や移転の場所として、川西市北部は重要な役割を果たすのではないのでしょうか。そして少子化の時代にこそ小児科、小児救急は必要と思われます。今後行政区域を越えた問題として医療を捉え、話し合う機関の発足に期待します。	猪名川町、豊能町、能勢町の皆さまの医療の一部を担っている現状から、経営形態の見直しを検討する際に、市立川西病院の医療圏にある他の自治体からの協力を得ることも併せて検討します。 病院の立地については、市民、利用者の利便性とスタッフの確保の両面から検討していきます。一方で、現市立川西病院を多く利用している市北部地域の住民等の安心を確保する観点からの検討も行う必要があります。	A B

番号	意見の分類	意見の内容	市の検討結果	提出者
126	4 - 1 猪名川町、 能勢町、 豊能町との協力	病院の建て替え場所は3町から支援をもらい、川西北部にて検討してほしい。現職員今後の生活と雇用の保証の説明が明確にない。不安。		CW
127	4 - 1 猪名川町、 能勢町、 豊能町との協力	市立川西病院は、川西市民のみならず猪名川町、能勢町及び豊能町の住民にとっても大変重要な病院です。この事実は、同病院の平成27年度における外来患者数や入院患者数を示した統計資料からも読み取れます。外来患者数に関しては、年間延べ人数111,215人のうち、川西市民が67.7%、猪名川町民が15.8%、能勢町民が6.2%、豊能町民が5.7%、その他4.6%です。入院患者数に関しては、全科で年間合計63,605人のうち、川西市民が57.9%、猪名川町民が16.0%、能勢町民が10.7%、豊能町民が7.9%、その他7.5%です。豊能町の上記比率を実数に換算すれば、年間で延べ約6,300人が外来患者として、及び延べ約5,000人が入院患者としてお世話になっています。また、同病院は、川西市北部及び上記3町の住民が、急病やけがで重症となった場合に、高度で専門的な緊急治療を提供できる唯一の医療拠点・救急搬送先であり、同病院に替わり得る施設はこの地域においてありません。一方、同病院の経営は、累積欠損金が61億5,000万円にも及び、大変厳しい現実に直面していることから、今般の経営改革プラン策定に至ったものと考えられますが、上記のとおり、川西市民のみならず、近隣3町の地域住民への貢献多大なる実績にも鑑み、現在地における建替えを基本に、要すれば関係3町に対する経営協力申し入れを含めて再建築を検討されるよう要望いたします。	猪名川町、豊能町、能勢町の皆さまの医療の一部を担っている現状から、新しい病院を整備する際には、市立川西病院の医療圏にある他の自治体からの協力を得ることを検討します。 病院の立地については、市民、利用者の利便性とスタッフの確保の両面から検討していきます。一方で、現市立川西病院を多く利用している市北部地域の住民等の安心を確保する観点からの検討も行う必要があります。	EU
128	4 - 1 猪名川町、 能勢町、 豊能町との協力	・地域医療構想 猪名川町・豊能町・能勢町との連携、共同？は出来ないのか？何らかの方法を検討すべきではないのか？財政的な近隣市町からの補完は出来ないのか？周辺地域を含んだ巡回バスの運行	猪名川町、豊能町、能勢町の皆さまの医療の一部を担っている現状から、経営形態の見直しを検討する際に、市立川西病院の医療圏にある他の自治体からの協力を得ることも併せて検討します。 平成20年度、21年度にかけて市立川西病院とけやき坂・清和台地区、明峰地区においてコミュニティバスの試験運行を実施しましたが、1便当たり平均乗車人数が約5人であり、持続可能性を担保出来ないとの結果を得ました。病院の立地については、市民、利用者の利便性、スタッフの確保という両面から検討していきます。一方で、現市立川西病院を多く利用している市北部地域の住民等の安心を確保する観点からの検討も行う必要があります。	AW - 3
129	4 - 1 猪名川町、 能勢町、 豊能町との協力	P10 - 下段の上2行目、「何らかの協力」については、再編・ネットワーク化の中で関係自治体が協議を行い、例えば「応分の協力金」など具体化する必要があるのではと思いますが、如何でしょうか。	再編・ネットワーク化への取り組みや経営形態の見直しを検討していく中で、市立川西病院の医療圏にある自治体からどのような協力を求めていくかを検討する必要があります。そのため、このような表現としています。	AR - 16

番号	意見の分類	意見の内容	市の検討結果	提出者
130	4 - 1 猪名川町、 能勢町、 豊能町との協力	<ul style="list-style-type: none"> ・川西市だけで運営できない。現在の利用者は川西市中部北部、猪名川町、豊能町、能勢町の住民であることから、猪名川町、豊能町、能勢町も財政負担するべきである。 ・現在の病院建物の老朽化から、新設の必要性があると思われる。 上記状況から以下案を提案いたします。 (私案) 猪名川町立中谷中学校裏の町有地に新設。新名神川西インターを利用することで宝塚、三田とのアクセスも良くなるため、川西市、猪名川町、豊能町、能勢町以外に宝塚・三田市も含めた北阪神総合医療センターとして兵庫県中部域をカバーする医療センターとする。	ご意見として賜ります。	B F
131	4 - 2 1市3町の事務 組合	医療の十分行き届いてない地域にある程度の医療を提供していけるのは、公立病院しかない、と考えます。3町への財政的な連携強化を訴えていくことで、1市3町が痛みを分け合う中で、北部地域の住民の医療を確保していく方向性を真剣に検討してほしい。組合立の病院にして、住民の力で財政難を乗り切る方向性を打ち出すことはできないか。川西市の病院ではなく、1市3町の住民みんなの病院に生まれ変わってほしい。		B P - 3
132	4 - 2 1市3町の事務 組合	1市3町で運営しているゴミ処理施設のように、人口比で4つの自治体が負担しあって、現状の広域公設公営医療機関として運営できないのですか。		B U - 3
133	4 - 2 1市3町の事務 組合	市立川西病院は、川西市民の医療機関と位置付けされ、公立の病院として運営していくのが行政の責務であると考えます。しかしながら、市立川西病院の経営が赤字で財政難は理解できる。そのため、経営形態を抜本的に見直しするのであれば、一つの方法として広域ごみ処理組合のような組織を設立して運営する広域行政を希望する。		B V - 1
134	4 - 2 1市3町の事務 組合	川西市単独ではなく近くの猪名川町、豊能町、能勢町と共同して共立の病院としては是非、同上に声をかけ、話し合いをして実行してください。(北部の地域医療の拠点として下さい)	一部事務組合で運営することも含めて、近隣他市町からどのような協力を得ることができるのか検討していきます。	C D - 2
135	4 - 2 1市3町の事務 組合	能勢町、豊能町、猪名川町からの患者が多いのでその3町と一緒に病院を作るべきではないでしょうか。		C U
136	4 - 2 1市3町の事務 組合	能勢町、豊能町、猪名川町からの患者さんも多いので、その3町から支援をもらったり、提携する事も検討に入れて頂きたいです。		D B - 3 D C - 1
137	4 - 2 1市3町の事務 組合	能勢町在住の者です。能勢町では病院がなく川西市民病院はなくてはならない存在です。示されている案では、利用者の4割近くの猪名川町、豊能町、能勢町からの財政負担を検討すべきと書かれています。しかし3町の首長には具体的な相談がないと聞きます。ごみ処理では府県をまたいで広域で取り組んでいるのに、今回はなぜ協議しないのでしょうか。ぜひ生活圈や医療圏が重なり合う1市3町ですので、川西市でプランがまとまってしまうからでは話し合いにはなりづらいと思います。		E S

番号	意見の分類	意見の内容	市の検討結果	提出者
138	4 - 2 1市3町の事務組合	<p>川西病院が、このような窮状にあることを川西市民だけでなく猪名川町、豊能町、能勢町の住民にも知らせなければなりません。そして、ごみ処理場のように一市三町広域の病院として生まれ変わるべきと考えます。病院の職員が市の職員だというのも問題があると思います。やはり数年で異動すると思えば、病院経営について深刻に考えないところがあると思います。住民から寄付を募る、ふるさと納税はすべて病院に行くようにする等対策を練り、宣伝し、外に出た子供たちからも支援を求めます。先日の話し合いでは、よい評判も聞かれましたので、それをPRすることも大切です。</p> <p>医師の数が患者の数に対して多いというのは、高度急性期の患者が少なく入院患者が少ないということかと理解しましたが、ある意味しかたないことと思いました。この辺りはベッドタウンなのですから。それはそれぞれの地域の特色を理解すべきと、国に大いに文句を言うべきだと思います。</p> <p>私は萩原家に住んでおり、川西病院は不便だし、あまり良いという評判も聞いていませんでしたので、利用したことがありません。でも本当に悪くなった時には、どっちみち車で行くのですから、評判さえよければお願いするでしょう。中身は医療です。</p>	<p>一部事務組合で運営することも含めて、近隣他市町からどのような協力を得ることができるのか検討していきます。</p> <p>病院の立地については、市民、利用者の利便性、スタッフの確保という両面から検討していきます。一方で、現市立川西病院を多く利用している市北部地域の住民等の安心を確保する観点からの検討も行う必要があります。</p>	AG - 1
139	4 - 2 1市3町の事務組合	<p>川西市だけで運営できないのであれば、一部事務組合にして1市3町で運営して欲しいです。病院事業はゴミ事業とは違い、他の町からお金をもらいにいくというのがあるそうですが（ゴミはお金を払わない町からゴミ収集を拒めばいいが、病院は患者を断れない）、そこは各首長や議員、役所の職員の方が協力して頭を絞って解決策を見つけていただきたいです。民間病院ではない不採算なことをやるのが公立病院の役目だと思います。川西市の北部に救急受付をしてもらえるような規模の病院を残して下さい。</p>		DR - 2
140	4 - 2 1市3町の事務組合	<p>14ページの経営形態から望むことは、現在の場所で1市3町が人口比で負担し合う広域の公設公営医療施設として残すべきで、市民サービスに繋がるのではと思います。</p> <p>市広報12月号の会計決算報告の箇所『引き続き、健全な経営基盤の確立に向け、経営健全化計画を着実に推進するとともに、急性期病院として安全・安心で良質な医療を提供し、地域から信頼される地域医療支援病院の役割を担う病院事業を展開します。』と記載されていました。上記の「経営健全化計画」とは改革プランのことを指しているのかわかりませんが「地域から信頼される地域医療支援病院の役割を担う病院事業を展開」と記している以上、現存の病院を残すべきだと思います。民間等は利益がなければ撤退ということをしなくてはなりません。そうしなければ益々、市民へのサービス低下となり、困るのは市民のみとなります。3町民の利用頻度からも川西市だけが財政難に陥ることなく、3町長と話し合いをしていくべきだと考えます。もう話し合いをされているかもしれませんが…。今も北の方から救急車のサイレンが聞こえます。おそらく市民病院への搬送でしょう。毎日朝早くから夜遅くまでサイレンが聞こえます。それだけ市民病院に運ばれる患者が多いことがわかります。この病院がなくなって、急病人がたらい回しされることがないことを望みます。</p>	<p>一部事務組合で運営することも含めて、近隣他市町からどのような協力を得ることができるのか検討していきます。</p> <p>また、市は一貫して公立病院の必要性を認識しており、将来にわたって市民に安心で安全な医療を提供するために、安定した経営基盤を築くという基本的な考え方に立って検討しています。</p>	BU - 5

番号	意見の分類	意見の内容	市の検討結果	提出者
141	4 - 2 1市3町の事務組合	<p>・経営形態の抜本的見直しと経営環境の向上</p> <p>審議会ではPFIは論外として独立行政法人と指定管理者が挙げられているが前者は川西病院の財政規模では適切ではないし、システム変更コストの負担と職員の身分維持に大きな課題が残る。それと独法に移管してもただちに経営状態が改善するわけではない。民間医療機関なみの大改革ができる経営管理者が絶対に不可欠だからである。一方、指定管理者は川西病院の現状をみて現実に一定期間任せられる指定管理者が見つかるか疑問であるし、さらに指定管理者は大学医局へのルートも断ち切れることは大きな問題になる。</p> <p>結論的としては、審議会では、現実に対象医療機関が存在しないので議論がされなかったが短期的かつ確実に経営改革が実現ができる一部事務組合が最適と考える（猪名川町、豊能町、能勢町との1市3町）。今まで、これらの3町に出資を求めよという意見が、たびたび審議会や市議会で出たが、行政側答弁ではいつも古い病院で赤字の現状のままで3町に財政負担は求められないとの答弁であったが、地方自治法に規定された一部事務組合でしかも病院建替えを前提にし、北部地域医療の新拠点構想ができれば3町との現実的な交渉が可能になる（3町がそれぞれ独自に病院を持つことは不可能で現実にはその計画が挫折したことも聞いている）。なんせ川西病院の利用者の40%がそれらの地域からであることを考えたら3町は町民に対して出資の必要性の説明がつかはずである。幸いこの3町とは北部ごみ焼却施設での事例があるので町民も納得できるのではと思う。一部事務組合は一般的に複数自治体にまたがる運用であるために意思決定に時間がかかるとか、構成自治体が脱退すれば他自治体に大きな負担がかかるなどが指摘されるが、意思決定の迅速さは運用の効率化で容易にクリアできるし、また、病院職員の身分保障の継続で点でも不安の解消ができる。ただし、経営能力に優れた管理者が絶対に必要であることは論を待たない。</p>	<p>市立川西病院が公立病院として、小児、周産期、救急などの不採算医療や高度・先進医療を継続的に担っていくという役割を果たしつつ、健全な経営を行い、将来にわたり市民の医療の安全・安心を確保するために、3つの選択肢のメリット、デメリットを踏まえ、最も適した経営形態の見直しを検討します。</p> <p>また、一部事務組合で運営することも含めて、近隣他市町からどのような協力を得ることができるのか検討していきます。</p>	D - 3
142	4 - 2 1市3町の事務組合	<p>P11 - 17行目の次に、列記の3選択肢以外に、例えば、建て替えはPFIで、運営管理はイとの組み合わせなどは考えられませんか。また、阪神北圏域での地方公共団体の一部事務組合の設立などはどうでしょうか。</p>	<p>ご意見を参考に検討していきます。</p>	AR - 17

番号	意見の分類	意見の内容	市の検討結果	提出者
143	4 - 2 1市3町の事務組合	<p>従来の「川西市立病院」は、その立地が、東谷地区（市の北部）にあり、川西市民病院と言うより、猪名川町、能勢町及び豊能町を含む地域（以下「1市3町」と言う。）から多くの利用者を受け入れてこられた実態があります。</p> <p>私は、現今の国情と医療の情勢を考え、利害関係人として、1市3町の枠組み（ゴミ施設と同じ）を念頭に経営基盤を拡充し、関西圏（特に大阪、京都、神戸の三大都市）を念頭に「広域にわたる大規模災害」や、「新名神供用開始後の高速道路上における災害への対応力を備えた公共施設（ドクター・ヘリの拠点を含む）」の整備に大儀があると考えます。これは、単なる病院の建て替えにとどまらず、地震国日本の宿命に立ち向かう具体的施策を誘致する提案であり、国の施策と並行、若しくは並存して整備するには、歴史的には、律令国家成立期の摂津国川辺郡北部（鉦山地帯）の復活と「清和源氏発祥の地」の名声があり、周辺に広大なゴルフ場（エリア）があり、都市近郊ダムなどの代表的事例である「一庫ダム」がある等、近畿圏における「国の防災拠点」にふさわしい事業であると考えられます。1市3町の一部事務組合方式で、従前の利用者に応えと共に、経営基盤を拡充し、その立地については、既存の用地にこだわらず、区画整理事業推進の核施設（一庫駅から、徒歩圏で、かつ如何なる計画にも対応が可能です。）としての位置づけや、生徒の減少により廃校を余儀なくされる高校の跡地活用（再開発を含む）等、住民が納得する公共施設として整備することが、肝要であると考えます。</p> <p>当職のコメントが、お役に立つかどうか、知る由もありませんが、病院の立地条件は、そうたやすいことではありません。私の提案には、多少の時間がかかると心配されるかも知れませんが、新名神開通（事実上、平成30年3月）を目標とし、広域防災について、国との協議が整えば、川西市にとって、名実共に大儀が開かれることとなります。</p>	ご意見を踏まえ、検討していきます。	F A
144	4 - 3 公立病院としての役割	私としては、今の地方公営でどんな人も受け入れる病院であってほしいです。（1市3町の公営であっても）	市立川西病院が公立病院として、小児、周産期、救急などの不採算医療や高度・先進医療を継続的に担っていくという役割を果たしつつ、健全な経営を行い、将来にわたり市民の医療の安全・安心を確保するために、3つの選択肢のメリット、デメリットを踏まえ、最も適した経営形態の見直しを検討します。	B Q - 4
145	4 - 3 公立病院としての役割	川西市民病院を独立行政法人化しないでください。川西市民病院の独立行政法人化に反対です。市民のいのちと健康を守る川西市民病院は市民病院のままであるべきです。川西市民病院は今のまま総合病院として存続してください。他の病院との統合や再編をすすめるべきではない。		F W

番号	意見の分類	意見の内容	市の検討結果	提出者
146	4 - 3 公立病院としての役割	経営形態が変更されれば、色々とおたしたちに不都合があるようなことが書いてありましたので、意見させてもらうことにしました。 結論を言わせてもらうと、川西市民病院はあってもなくても構わないと思っています。今現在使うことはありませんが、今後必要になっても行きません。この近辺では高齢者や小さい子供はこの病院に通わせたりできない、なら他をあたる・・・というのが私の周りの常識です。他と比べても仕方ないですが、高齢者や小さな子供が誤って点滴を抜いてしまうのは当たり前、最低限の拘束をして安全に点滴をする病院がほかにあります。もしその病院が川西市民病院なら、なんとしても存続させて欲しいし、出来ることに協力したいと思いますが、私一人としては、受け入れ体制の幅の狭さ、ドクターの意欲の低さ、看護師の曖昧な完全看護、今の体制で存続するくらいなら無くともうが、新しい経営形態になってもらう方が望ましいと考えてます。もし存続させるのなら、まず今の体制を見直して改善点を明確に公表していかれた方が良いでしょう。 重複致しますが、わたしにとっては必要のない病院なので、どっちでも構わないというのが正直なところですね。	市立川西病院が公立病院として、小児、周産期、救急などの不採算医療や高度・先進医療を継続的に担っていくという役割を果たしつつ、健全な経営を行い、将来にわたり市民の医療の安全・安心を確保するために、抜本的な解決策を検討します。	E
147	4 - 3 公立病院としての役割	国の社会保障や医療の改善が次々出され、市として市民の為に地方自治体の役割として守って欲しいと強く訴えます。	市立川西病院が公立病院として、小児、周産期、救急などの不採算医療や高度・先進医療を継続的に担っていくという役割を果たしつつ、健全な経営を行い、将来にわたり市民の医療の安全・安心を確保するために、最も適した経営形態の見直しを検討します。	E T - 3
148	4 - 3 公立病院としての役割	経営的には、病院の立地から、市立病院にこだわることなく周辺3自治体の共同出資による、地域総合医療センター的な地方公共企業病院として存続させる必要があると考えます。総合病院の少ない本地域における医療というのは、地域の個人医療機関との連携による、住民の安心できるインフラとして、住民が育てる総合病院として公共的なバックアップが基本で、赤字経営になったとしても、存続することが、地域住民の安心につながるものと考えます。また、救急医療や小児医療、周産期医療など、不採算医療といわれる診療科目こそが、市民目線では重要で、赤字経営につながるからなくすなどは、言語道断で住民のことを考えない、公共医療機関としては最低なことかと考えます。	市立川西病院が公立病院として、小児、周産期、救急などの不採算医療や高度・先進医療を継続的に担っていくという役割を果たしつつ、健全な経営を行い、将来にわたり市民の医療の安全・安心を確保するために、3つの選択肢のメリット、デメリットを踏まえ、最も適した経営形態の見直しを検討します。その際は、近隣他市町からどのような協力を得ることができるのかについても検討していきます。	F Q - 3
149	4 - 3 公立病院としての役割	市立病院と聞けば、誰もが安心してかかれる病院です。病院が赤字だからといって独立行政法人化や指定管理の方向に進めようとしているのはもってのほかです。営利事業ではありません。市民病院は市民の命と健康を守る為の病院です。通院・入院中に感じたことは、能勢・豊能・猪名川からの患者さんも沢山おられ、3町の病院も兼ねた市民病院です。その視点も考えて是非、現行のまま続行して下さい。職員の方も公的な身分保障として安心して働くことができると思います。		E T - 1
150	4 - 3 公立病院としての役割	(案)には、病院の経営形態に、市立(直営)の選択肢が省かれているのはおかしいと思います。現在の病院で働く職員の地方公務員としての立場はどうなるのでしょうか？地方公務員として採用した採用責任はどうするのでしょうか。地方自治体として、市民の命と健康を守るのは公としての責任があるはず。現在、特に川西市北部地域とその周辺地域住民の拠点病院となっている現実があります。今後も周辺自治体の協力を得ながら、公立病院として維持しながら建て替えて行くべきだと思います。	市立川西病院が公立病院として、小児、周産期、救急などの不採算医療や高度・先進医療を継続的に担っていくという役割を果たしつつ、健全な経営を行い、将来にわたり市民の医療の安全・安心を確保するためには、施設整備に向けた再編・ネットワーク化の取り組みを行うとともに、現在の経営形態を継続することでは乗り切れない課題があることから、最も適した経営形態の見直しを検討する必要があります。	B H

番号	意見の分類	意見の内容	市の検討結果	提出者
151	4 - 3 公立病院としての役割	<p>・経営形態の見直しの方向性</p> <p>検証されていますように、私の住む能勢町では救急対応の病院がありません。わたしの妻の母親（90歳、要介護度5、在宅介護）は3年前にインフルエンザにかかり、市立川西病院の救急で受け入れてくださり、感染症がおさまってからはリハビリ治療後、ほぼ罹病前の状態で過ごしていました。糖尿病の持病もあることから、川西病院のドクターが主治医になってくださり、介護認定の意見書も書いていただいています。</p> <p>先日自分で手すりをつたいながらトイレに行った後、座り込んで立てなくなりました。今までも本人の残存能力と夫婦の介護で車いすになんとか座ることができたのですが、今回は熱があり、インフルエンザもしくは風邪の症状から足、腕、お腹に力が入らず、救急車で川西病院に搬送されました。</p> <p>わたしたちの希望としては主治医もおられることもあり、川西病院を希望しましたが、わたしたちの意向もくみ取っていただき、川西病院に運ばれ即入院、現在感染症の治療をしていただいています。</p> <p>川西病院の立地が川西市北部に位置することから、猪名川町、豊能町もそうでしょうが、能勢町の住民にとって行政区域が違って心よく受け入れてくださる川西病院があることでとても安心できるのです。</p> <p>医療技術、患者および家族への対応もとても誠実で、特に今回の妻の母親のケースは適切な治療でなんとか回復の方向に向かっている（ドクターからはまだ予断を許さないとされています）状態ですが、もし、川西病院に搬送されなければ命に影響したかもしれません。ドクターが3年前から見守ってくださっていることも的確な処置につながり、家族も安心できます。</p> <p>全国的に地方独立行政法人化が進んでいますが、施設長に経営の権限が与えられ、採算部門の見直しや職員の雇用形態、人員配置などが迅速に行われ、公共性を維持した上で民間の経営手法を導入することで持続可能な経営を目指すことができるとされています。</p> <p>市立川西病院もおそらくその方向で検討されているのでしょうか、救急医療や小児科などの不採算部門の見直しなど、結局のところ「無駄をなくす」という名目で経営効率を上げることが目的なのでしょう。</p> <p>実際のところ、能勢町など市外の患者の割合や、その場合の当該市町村の負担などがどのようにされているのかはわかりませんが、経営困難な理由のひとつとされる不採算部門と言われる救急医療や小児科医療はもっとも病院の存在意義を示すものであると思います。地方独立行政法人になることで、結局のところ経営の効率化に伴う不採算部門の見直しがされるのならば、病院の存在意義を棄てることになるのではないのでしょうか。</p> <p>すでに多数の自治体で公立病院が地方独立行政法人化し、救急医療や小児科医療を担う病院が少なくなっている現実がある中で、市立川西病院の存在意義はますます高まっていると思います。</p> <p>その分、ますます赤字が増えるのであれば、とくに救急医療の担い手として能勢町をはじめ近隣の自治体が相応の負担をし、行政区域をまたがって共同経営する仕組みがないのでしょうか。</p> <p>その意味で、地方独立行政法人になることで近隣自治体との協働、連携が強化され、人員削減ではなく、行政にしばられないで人員を増強することが本当に担保されるのであればそれもやむをえないのかも知れません。</p> <p>公立の施設の運営に民間の経営理念や手法を導入するという、ここ30年ばかりの流れは、結局のところ経営コストを下げるためでしかなく、言い方を変えれば職員の犠牲によって経営成果を上げたに過ぎない面も多々あると思うのです。</p> <p>社会全体はすでに新自由主義では成り立たなくなりつつある中、公か私ではなく、「共」のサービスが求められ、地方独立行政法人もまたその流れから来ているのかも知れませんが、あくまでも公共サービスが低下しないだけでなく、その担い手の職員の犠牲が強まらないようにお願いします。</p>	<p>市立川西病院が公立病院として、小児、周産期、救急などの不採算医療や高度・先進医療を継続的に担っていくという役割を果たしつつ、健全な経営を行い、将来にわたり市民の医療の安全・安心を確保するために、3つの選択肢のメリット、デメリットを踏まえ、最も適した経営形態の見直しを検討します。その際は、近隣他市町村からどのような協力を得ることができるのかについても検討していきます。</p> <p>また、民間的経営手法の導入を選択する場合でも、公的医療について市が求める水準を守ることになります。また、市はすべてを任せきりにするのではなく、パートナーとして事業運営にかかわっていく必要があると考えています。</p> <p>病院の立地については、市民、利用者の利便性とスタッフの確保の両面から検討します。一方で、現市立川西病院を多く利用している市北部地域の住民等の安心を確保する観点からの検討も行う必要があります。</p>	B G - 1

番号	意見の分類	意見の内容	市の検討結果	提出者
152	4 - 3 公立病院としての役割	川西病院を独立行政法人化しないで下さい。川西市に公立の病院がないのは市民にとっては、大変困ります。他市の病院にたよらない公立の最高の病院にしてください。	市は一貫して公立病院の必要性を認識しております。市立川西病院が公立病院として、小児、周産期、救急などの不採算医療や高度・先進医療を継続的に担っていくという役割を果たしつつ、健全な経営を行い、将来にわたり市民の医療の安全・安心を確保するために、3つの選択肢のメリット、デメリットを踏まえ、最も適した経営形態の見直しを検討します。	A D
153	4 - 3 公立病院としての役割	川西病院を独立行政法人にするのは反対です。川西に住んでよかった。市民病院があるから遠くに行かなくてすむ。病気をしても安心できる。どうか公立の総合病院として、市民が安心できるようにお願いします。		A E
154	4 - 3 公立病院としての役割	私は2014年2月直腸癌、2015年7月大腿骨骨折の治療で川西市民病院でお世話になりました。医師も看護師さん達も皆様良くしてくださいました。市民として本当にありがたく思いました。この度の改革プランを見て驚きました。経営が苦しいのは本当でしょう。でも、市民が安心して暮らすためには、市民病院は必要です。市の色々な行政がありますが、お金をかけるところをしっかりと考えていただきたいと思ひます。大塩市長も市民の為の市政を思って市長になられたはず。もっと目線を下げたところを見せて頂きたいと思ひます。	市は一貫して公立病院の必要性を認識しております。将来にわたり、市民に安心で安全な医療を提供するために、経営形態の見直しを含めた抜本的な解決策を検討することとしています。	B
155	4 - 3 公立病院としての役割	市立川西病院は、市民の財産です。答申を一読して、患者や地域のニーズ、医師や職員の実態や要望に全く触れられず、貴重な財産を手放すことの重大性や緊張感が感じられない。こんな改革案は撤回し、市と病院関係者、市民が、一丸となって市民病院をまもりぬく病院改革をつくるべきです。赤字部門も抱える市立病院が、努力してもなお出る赤字は、一定の範囲で市が援助するのは当然です。関係者の一段の奮起を期待します。	市は一貫して公立病院の必要性を認識しております。当プラン案は、市立川西病院が将来にわたり、市民に安心で安全な医療を提供していくためには、安定した経営基盤を築く必要があり、現状を考えると、経営形態の見直しを含めた抜本的な改革が必要であると考え、作成しているものです。	U
156	4 - 3 公立病院としての役割	今回の「新改革プラン案」は、川西病院の経営実態の一端を示しているが、それは「経営形態の見直しが必要であること、したがって独立行政法人化、指定管理者制度は避けられない」という結論に誘導する内容となっている。そこには公立病院としての位置と役割、自治体の任務についての立脚点が欠落している。よって、独立行政法人化、指定管理者制度などへの移行には強く反対する。	市は一貫して公立病院の必要性を認識しております。公立病院の役割は、小児、周産期、救急などの不採算医療や高度・先進医療を継続的に担っていくことと考えています。 当プラン案は、将来にわたり、市民に安心で安全な医療を提供するために、安定した経営基盤を築くという基本的な考え方に立って作成しており、3つの選択肢のそれぞれのメリット、デメリットを踏まえ、最も適した経営形態の見直しを検討します。	Y - 1
157	4 - 3 公立病院としての役割	公的病院としての役割を果たしてほしい。 なぜ、赤字が続いているのか、立地条件の問題、患者の足としての交通の問題等、経営の努力をしたのか、検討してゆく必要がある。	市は一貫して公立病院の必要性を認識しております。経営形態の見直しについては、市立川西病院が公立病院として、小児、周産期、救急などの不採算医療や高度・先進医療を継続的に担っていくという役割を果たしつつ、将来にわたり市民の医療の安全・安心を確保するために、最も適した経営形態の見直しを検討します。 当プラン案は、過去に策定した改革プラン及び経営健全化計画における様々な分析を踏まえ、市立川西病院の現状をみとうえで、作成しています。	A F - 4
158	4 - 3 公立病院としての役割	経営形態が変わった場合も、救急・小児・周産期医療はなくさないよう。	市は一貫して公立病院の必要性を認識しており、その果たすべき役割は、民間病院には担うことが難しい、不採算医療や高度・先進医療を継続的に担っていくことと考えています。	C P - 2

番号	意見の分類	意見の内容	市の検討結果	提出者
159	4 - 3 公立病院としての役割	そもそも市民病院というのは利益を出すために存在するのではなく、市民のためにあるものです。病院経営をビジネスとして成功させたいのであれば、利益率の高い患者ばかりを入院させれば良いということになります。理解力があり、治療の結果がすぐに出る若い患者の治療にだけ取り組み、逆に手が非常にかかるのもうけにつながらない高齢者（特に認知症）や小児への医療をやめればとても効率的に利益が上がりますよ。しかし、そんな病院しかない町に住みたいですか？長く川西市の発展に貢献してきた人々が年老いた時、自分たちを受け入れてくれる病院がないなんて。病院経営で利益を出すとはそういうことです。当院は特に高齢の患者さんが多いです。ここでの医療はこの地域を支えるためと病院職員は日々努力しています。私もそして高齢の両親もここ川西にずっと住みたいと思っています。川西に市民病院は必要です。住民の高齢化著しいこの川西で市民病院の存続を強く希望します。	市は一貫して公立病院の必要性を認識しております。当プラン案は、将来にわたり、市民に安心して安全な医療を提供するために、安定した経営基盤を築くという基本的な考え方に立って作成しており、3つの選択肢のそれぞれのメリット、デメリットを踏まえ、最も適した経営形態の見直しを検討します。	F P
160	4 - 3 公立病院としての役割	多額の経費が必要になると思いますが、医療や福祉、教育にかかる費用は行政がしっかりと責任を持って維持・推進するべきことで、決して民間などに丸投げしてはなりません。そのための行政であるべきです。	市は一貫して公立病院の必要性を認識しております。将来にわたり、市民に安心して安全な医療を提供していくためには、安定した経営基盤を築く必要があり、現状を考えると、経営形態の見直しを含めた抜本的な改革が必要であると考えています。	C L - 3
161	4 - 3 公立病院としての役割	新「改革案」を答申した審議会のメンバーならびに市当局の現在の陣容のみなさんは、5年後、10年後の市民・住民の医療ニーズに責任を負う立場ではなくなるでしょう。それだけに、市民の意見を汲み上げることなく、取り急いで結論を出すことは無責任です。今の公立病院の形態を維持することを前提にした、市民参加による「健全化計画」を作り直してください。	パブリックコメントでご提出いただいた皆さまの意見を踏まえ、最終的な改革プランをまとめます。市立川西病院が公立病院として、小児、周産期、救急などの不採算医療や高度・先進医療を継続的に担っていくという役割を果たしつつ、健全な経営を行い、将来にわたり市民の医療の安全・安心を確保するために、最も適した経営形態の見直しを検討します。	Y - 4
162	4 - 3 公立病院としての役割	市は、諮問した市立川西病院事業経営改革審議会から答申を受け、市立川西病院事業新経営改革プランを作成されましたが、その答申には、二つの重たい意見が付されています。設置者であります市長におかれては、これら貴重な意見を踏まえ、市民病院の存続のため、多くの課題に果敢に挑戦され、重大なかじ取りを見誤ることなく、適切かつ着実に推進されますようお願いいたしております。		A R - 1
163	4 - 3 公立病院としての役割	市民への周知がしっかり行われていない中で、急な決定であることは、信頼を損なうことである。赤字であるが、公共の病院として、市北部および猪名川町、能勢町、豊能町における重要な病院である。指定管理者制度やPFIでの事業では、利益の得られない小児・産婦人科の縮小および廃止をまねく恐れがある。市内に公立病院があることは大きな安心を与えます。人口減少をいわれる中で、それを無くするのは大きな損失です。何より市民アンケートで、川西病院存続を希望した市民に対し、大きな裏切り行為であります。断固として、地方公営企業であることを望み、他の経営形態への変更を反対します。このような議論が市民に周知されないまま進んでいること事体がおかしいと思います。	パブリックコメントの実施にあたっては、市広報誌12月号への案内掲載や市ホームページへの掲示のほか、公民館などにも設置し、周知を図ってきたところです。皆さまの意見を踏まえ、プランを策定し、市立川西病院が公立病院として、小児、周産期、救急などの不採算医療や高度・先進医療を継続的に担っていくという役割を果たしつつ、健全な経営を行い、将来にわたり市民の医療の安全・安心を確保するために、最も適した経営形態の見直しを検討します。 また、民間的経営手法の導入を選択する場合でも、公的医療について市が求める水準を守ることになります。また、市はすべてを任せきりにするのではなく、パートナーとして事業運営にかかわっていく必要があると考えています。 病院の立地については、市民、利用者の利便性とスタッフの確保の両面から検討します。一方で、現市立川西病院を多く利用している市北部地域の住民等の安心を確保する観点からの検討も行う必要があります。	D M

番号	意見の分類	意見の内容	市の検討結果	提出者
164	4 - 3 公立病院としての役割	経営形態の見直しを行えば、必ず財務状況は良くなる確信があるのか。	市立川西病院が公立病院として、小児、周産期、救急などの不採算医療や高度・先進医療を継続的に担っていくという役割を果たしつつ、健全な経営を行い、将来にわたり市民の医療の安全・安心を確保するために、3つの選択肢のそれぞれのメリット、デメリットを踏まえ、最も適した経営形態の見直しを検討します。 また、民間的経営手法の導入を選択する場合でも、公的医療部分について、市はすべてを任せきりにするのではなく、パートナーとして事業運営にかかわっていく必要があると考えています。	D J - 2
165	4 - 3 公立病院としての役割	市民病院の経営形態の見直しで、地方独立行政法人化、指定管理者制度の導入、P F I の導入が提案されていますが、何れの案にも反対を表明します。市民病院の運営については、国の援助がなくなきびしいことは承知していますが、市民のための病院として最善の努力をはかるべきです。民営化の方向にもっていくことは避けるべきです。	市立川西病院が公立病院として、小児、周産期、救急などの不採算医療や高度・先進医療を継続的に担っていくという役割を果たしつつ、健全な経営を行い、将来にわたり市民の医療の安全・安心を確保するために、3つの選択肢のそれぞれのメリット、デメリットを踏まえ、最も適した経営形態の見直しを検討します。	A A - 1
166	4 - 3 公立病院としての役割	市は、ひとたび重要な公の施設として当病院事業を設置した以上、設置者の市長は、調整権をもとの確かな指示を病院に出し、何が何でも、この事業を健全化させなければなりません。仮に、それができなければ、市は、財政状況がどんなに逼迫していても、財政の支援をしなければなりません。さらに今後、民間手法を導入しても採算に合わなければ、それに見合った経費は市が負担することになるでしょう。この事業の健全化が見通せないと判断されるならば、民意を聞き取り、大混乱は必至であろうと、残念ながらこの事業から撤退を決断すべきが道理と思料します。如何お考えでしょうか。	将来にわたり、市民に安心で安全な医療を提供するために、安定した経営基盤を築くという基本的な考え方に立ち、経営形態の見直しを含めた抜本的な改革が必要であると考えています。	A R - 4
167	4 - 3 公立病院としての役割	4頁(1)ア 市立川西病院の赤字経営と市の支援 市では、できることであれば今後も支え続けたい思いはありますが、市を取り巻く環境がそれを許さない状況となってきています。...今後も市税収入が減少していく中で...市として10億円を超える病院への補助は継続できないこととあわせ、返済めどが立たない貸付金もこれ以上の増額には対応できない状況です。となっています。それでは今回のプランで出されている3つの新しい経営プランでは市の補助がなくなっても患者にとってマイナスにならない医療が受けられる保障があるのですか。この頁のはじめにある、市は市立川西病院設立から一貫して公立病院の必要性を認識し、病院経営に対する支援を実施しており...。この認識を持ち続けるべきです。	将来にわたり、市民に安心で安全な医療を提供するために、安定した経営基盤を築くという基本的な考え方に立って当プラン案を策定しています。この考え方に最も適した経営形態の検討を進めていきます。	B T - 2
168	4 - 3 公立病院としての役割	改革プラン(案)で示された課題解決策の確実な実行と、さらに必要に応じた柔軟かつ実効性のある対策を追加実施いただくことで、「新病院の基本構想」実現を期待します。また、病院経営がいくら黒字になっても、「北部圏域の住民が求める医療需要や利用環境」にそぐわない新病院では意味がありません。本末転倒とならぬよう、また、北部圏域の住民が他の病院を頼らなくてよいう、一日も早い信頼できる新病院の建設をお願いします。	将来にわたり、市民に安心で安全な医療を提供していくためには、安定した経営基盤を築くという基本的な考え方に立って検討を進めます。また、一方で現市立川西病院を多く利用している市北部地域の住民等の安心を確保する観点からの検討も行う必要があります。	A X - 6
169	4 - 3 公立病院としての役割	新病院の建て替え計画にあたり、「経営形態の見直し」や「再編、ネットワーク化」を含め、次世代の子ども達に引き継げるような方向性を具体化してください。	P12の「(2)今後の検討事項」のとおり、検討します。	C H - 4

番号	意見の分類	意見の内容	市の検討結果	提出者
170	4 - 3 公立病院としての役割	提示された改革プランのうち職務については大変立派な提案が出ております。特に外科手術症例数のアップと高度急性期病床数の確保は現在の市民病院の弱点であるため、この点を補完していただく案が出ているのは大変ありがたい話です。ただ現在の診療体制ではなかなか難しいと思います。医師の確保、看護師の確保ではありません。高度急性期病床を運用するためには、薬剤師、医療系技師、高度医療を維持する機材や消耗品を適宜運用するバックヤードのスタッフもちゃんとそろえることが重要です。プランにはこれらの職員を確保するための大学などの医局とのつながりも指摘されていますが、既存の医療機関との関係性を考慮するという指摘も有、プランが実施されても積極的な人事確保に動けない懸念をうかがわれます。市役所の方や市議会の先生方も、プランを掲げるならちゃんとした目算と妥当性をもって市民病院を再建していただきたいと思います。医師の点だけで考えても周辺の大学医局と人事交流がちゃんとしているわけではなく、かつ、現在の医師数ではとても賄えないような職務内容がプランには含まれます。この点はどう改善する予定でしょうか。	ご意見をいただいた点を踏まえ、最も適した経営形態の見直しを検討します。	F X - 2
171	4 - 3 公立病院としての役割	新経営改革プランに反対します。経営形態を変えれば安心安全の地域の医療がおびやかされます。私は市立川西病院に父も母もそして私も大変お世話になってきました。手厚い看護姿勢にどれだけありがたく感謝してきたことか…。先生も看護師さんも親切でしかも信頼できる対応をとられてきました。それもこれも公立という利益のみに走ることなく患者の立場優先で働くことができたからだと思っています。「赤字だから民間に」という市の姿勢は市民の健康とあわせを築く態度ではありません。医療は安心安全を求める市民のため、お金（予算）を使えばよいと考えます。子どもの教育が赤字だから民間へとならないのと同じです。	当プラン案は、将来にわたり、市民に安心で安全な医療を提供するために、安定した経営基盤を築くという基本的な考え方に立って作成しており、3つの選択肢のそれぞれのメリット、デメリットを踏まえ、最も適した経営形態の見直しを検討します。	A Y - 1
172	4 - 3 公立病院としての役割	公共から民営化（民間委託）になるかもしれないという選択は、新自由主義の第一歩。命や健康より、営利が先立つものになりかねないという危惧があります。慎重に検討すべきで、最終は住民投票などの直接的な住民の判断にゆだねるべきである。		B Q - 3
173	4 - 3 公立病院としての役割	独立行政法人化はせずに市立病院を存続する形で時間をかけて住民や患者の意見も聞き、病院の在り方を考えていただければ本当にありがたいと思います。	経営形態の見直しについては、市立川西病院が公立病院として、小児、周産期、救急などの不採算医療や高度・先進医療を継続的に担っていくという役割を果たしつつ、健全な経営を行い、将来にわたり市民の医療の安全・安心を確保するために、最も適した経営形態の見直しを検討します。	A C - 2

番号	意見の分類	意見の内容	市の検討結果	提出者
174	4 - 3 公立病院としての役割	<p>6年ほど前に社内の医療部門の監査をしたことがある。医療部門といっても配下に工場の4診療所を統括する保健センターで、医療機関の位置付けではないが、6診療科を持ち医師・看護師・保健師・検査技師・事務スタッフの総勢60名程の組織である。監査対応後は、従業員から「医療部門の対応が変わった。大変良くなった。」との声が聞こえるようになった。この時の経験を踏まえての気付きを書かせていただく。</p> <p>・「看護師の退職が多い。」との記載について</p> <p>理由は様々と記載されているが、恐らく色々な不満をもっていると思われる。患者数の増加には、重要な役割を担う人々であり、退職理由の十分な把握・分析は重要である。また、気に掛かるのが、1月12日に市立川西病院労働組合の新聞折込チラシが配布されたことである。そこには「市立川西病院は、不採算医療といわれる利益を出しにくい救急医療や、小児科、小児救急、周産期医療に取り組んでいますが、経営形態が変更されると不採算医療の継続が困難になるかもしれません。」との記載がある。確かに、魅力ある市民病院構築には、これらを切捨てることは絶対にあってはならないと思うが、これらの具体対応内容はあまり改革プランには記載されていない。そして、このようなチラシが配布されるということは、病院スタッフに改革の取組み内容が十分理解されていない、あるいは、重要な改善課題や問題点が十分出し切れておらず、それらの共有化が図れていない結果だと思う。先の社内の医療部門の監査の際も同様な傾向があり、医師・看護師・保健師・検査技師・事務スタッフのそれぞれのグループ間、また、それぞれのグループ内の色々な思いがあり、会議などではそれらが出てこず、色々な手法を用いて個人の本当の思いを集約するのに大変苦労した。しかし、この現状の問題点・課題をしっかりと抽出し、対応課題を明確にしないと本当の改革はできない。改革が成功するには、職種を問わず全職員が共通の課題認識を持って、一丸となって改革に取り組み、来院される患者さんから「病院が変わったね。また、来よう。」と言われるようにならないといけない。</p>	<p>ご意見を踏まえ、公立病院の担うべき役割を明記するため、P10の19行目「さら」以降を次のように改めます。</p> <p>「さらに、病院が抱える40億円を超える累積債務の解消と毎年10億円以上の補助金が必要となっています。そのため、市立川西病院が公立病院として、小児、周産期、救急などの不採算医療や高度・先進医療を継続的に担っていくという役割を果たしつつ、健全な経営を行い、将来にわたっても市民の医療の安全・安心を確保するためには、民間的経営手法の導入等、抜本的な解決策を講じることが必要となっています。一方で、阪神北圏域に属する伊丹市、宝塚市との連携や猪名川町、豊能町、能勢町から何らかの協力を求めていくことが必要となります。民間的経営手法の導入等の観点から行う経営形態の見直しに関し、考えられる選択肢は次のとおりです。」</p>	F C - 5
175	4 - 3 公立病院としての役割	<p>改革プランを纏める観点（目線）が少し違うように思う。</p> <p>・理由</p> <p>将来的に財政健全化を進めるには、患者数を増やすことが絶対である。一般的に改革の成果は、スタート点の捉らえ方で大きく変わってくる。改革を進めるには、どこをスタート点にするかによって、スパイラルアップで改善の成果が大きく現れる場合と、その逆で負のスパイラルに陥り成果が出るところか、より一層悪い状況になる場合がある。今回の経営改革プラン(案)を見た場合、経営の効率化施策は見られるが患者を増やす施策（市民ファーストの施策）が殆ど見られない。平成21年3月策定の効率化を中心とする改革プラン実施で、収入が大幅に落ち込み改革プランの見直しが必要になったが、今回も、この状況の二の舞にならないかと大変懸念している。一度失った信頼の回復には、並大抵の努力では済まないことを十分認識されたい。確かに、効率化は大切であるが、改革を進めるにはお金の支出が伴う。その為には財務状況の改善、すなわち、魅力ある市民病院にして患者数を増やさなければ、本来あるべき健全な姿での改革はできない。収入を増やしつつ、指標の改善を進めるのがあるべき姿だと思う。特に近年は、サービス業（医療も医療サービスの一種である）のサービス内容の充実が、過剰と思われるほど進んでおり、いかに消費者（=患者）を取り込むか、リピーターになって貰えるようにするかといった点に重点を置く必要がある。</p>	<p>公立病院改革の目的は、それぞれの地域において必要な医療提供体制の確保を図ることにあります。P13に掲げている市内各医療機関との連携、さらには近隣他市町との協力体制をどのように図ることで、将来にわたって市民に安心で安全な医療を提供することができるのかを念頭に置いて、改革に取り組みたいと考えています。</p>	F C - 1
176	4 - 3 公立病院としての役割	<p>公立病院であることのメリット、デメリットをわかりやすく説明した上で、同意を得た方がよいと思います。（わかりやすい説明をして下さい）</p>	<p>公立病院の役割は、民間病院との適切な役割分担の下で、地域において必要な医療提供体制の確保を図ることにあります。具体的には、民間病院では担っていくことが難しい不採算医療や高度・先進医療を提供するという役割を継続的に担っていくことと考えております。</p>	F J

番号	意見の分類	意見の内容	市の検討結果	提出者
177	4 - 3 公立病院としての役割	高齢化に向けての地域包括ケアシステムの重要性を考え、「市立川西病院は地域の基幹病院として在宅療養、患者や施設利用者の急変時受け入れ体制の確保に努めてゆく」とあるようにこの部分については賛成ですが、市民病院は市民の健康と命を守ることを主体としているので、独立採算性には無理があると思える。	病院経営は本来、独立採算制を基本原則としていますが、公的医療を展開する公立病院は、医療収入を充てることが適当でない経費や困難な経費に対しては、国が定める地方公営企業繰出基準をもとに補助を行うことができるとなっています。今後、経営形態の見直しを検討する際には、独立採算性を前提として、公的医療部分の繰出基準をベースにした負担を検討します。	A F - 2
178	4 - 3 公立病院としての役割	<p>全て否定からの要項コメントと思われる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現立地場所の変更否定 ・全て市民のみなさまに期待されている科に注力している ・苦しいです <p>川西市の地形を改めて再考する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口比の調査 ・交通の便（何処行っているのか：池田、伊丹、宝塚市民へ） ・北地区への心使い（町×3町、川西市北部人口減少） <p>苦しい経営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業のためなまい努力をされている企業内で研修等々 ・客数の想定、利便の科作り ・人は、南～北～ 動きにくい、北～南～ 動く <p>北部への問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現病院の有効利用（科等々の選別） ・経営は診療所（市+3町経営） ・空いた室内リフォーム（市+3町ふれあいセンター設立、箕面市等々を参考に） ・市民投票にて市民病院立地場所（市の分室をまとめ利用、キセラ空地等々） 	<p>病院の立地については、市民、利用者の利便性とスタッフの確保という両面から検討していきます。一方で、現市立川西病院を多く利用している市北部地域の住民等の安心を確保する観点からの検討も行う必要があります。</p> <p>また、市立川西病院が公立病院として、小児、周産期、救急などの不採算医療や高度・先進医療を継続的に担っていくという役割を果たしつつ、健全な経営を行い、将来にわたり市民の医療の安全・安心を確保するために、最も適した経営形態の見直しを検討していきます。新しい病院を整備する際には、他の自治体からの協力を得ることを検討します。</p>	Q
179	4 - 3 公立病院としての役割	国に対して地方の市民病院の経営にもっと財政的な援助を図るよう、強く働きかけて頂きたいと思えます。	市が実施している約10億円の補助金のうち、公的医療を担ううえで必要な支援として、地方交付税で約2.5億円が措置されています。	A A - 2
180	4 - 3 公立病院としての役割	<p>この4項「経営形態の見直しの方向性」が、結論にある「建て替えありき」「経営形態の見直しありき」を前提に、都合のいいデータだけに基づくもので非常に危惧を感じました。確かに病院の運営は困難で、市の財政事情も厳しいなかであると思われませんが、せっかく見直しをするのであれば、できるだけ多くの市民・住民が納得し、「改革されて良かった」と思う内容にして欲しい。</p> <p>今後、市民や学識経験者等の参加する審議会で点検・評価が行われるとあり、市民・住民の要望に即した「公立病院の在り方」がしっかりと議論された改善が行われることを切に願います。</p>	<p>市立川西病院事業経営改革審議会には、過去に策定した改革プラン及び経営健全化計画を踏まえた、市立川西病院の現状を説明したうえで、実効性のあるご意見をいただいたところです。</p> <p>また、市立川西病院では、これまでの意見を受けて、様々な改善策を講じてきましたが、現状では計画は達成できない可能性があります。</p> <p>今回の改革プラン案は、市立川西病院が将来にわたり、市民に安心で安全な医療を提供していくためには、安定した経営基盤を築く必要があり、現状を考えると、経営形態の見直しを含めた抜本的な改革が必要であると考え、作成しているものです。</p> <p>今後は、皆さまから頂いたご意見も踏まえ、最も適した経営形態の見直しを検討します。</p>	G A - 1 4

番号	意見の分類	意見の内容	市の検討結果	提出者
181	4 - 3 公立病院としての役割	<p>安全に安心して暮らしていくために、公立病院はなくてはならないものです。なくなつては困ります。川西病院の職員の皆さんは市民のために一生懸命頑張ってこられたと思います。その結果改善が見られ、今の川西病院は1日当たり患者数、患者1人当たり診療収入、病床利用率については、公立病院の全国平均と比較しても高い状態にありますから、赤字の大きな原因となっている問題点を改善する努力を続け、また患者さんの多い能勢町、豊能町、猪名川町からの支援をもらったり提携することも検討に入れ、現在の経営形態を維持することを希望します。特にPFIの導入については強く反対します。PFIは病院にはなじまないと思います。「民間の資金、能力を活用し効率的かつ効果的な公共サービス」とありますが、これについては大いに疑問をもっています。医療行為に関して「効率的かつ効果的」とはどういうことなのでしょう。わかりません。民営はどうしても利潤、利益の追求を優先しがちになるため、患者本位の診療が受けられるかどうか非常に不安です。例えば、小児科、婦人科などの不採算医療を中止したり、不必要な検査等を行う可能性があります。実際、民間の病院で不必要な検査をされて嫌な思いをしたことが何度かありました。今後とも安全で安心できる医療を受けられるように、公立病院という形態が存続されることを強く望みます。</p>	<p>猪名川町、豊能町、能勢町の皆さまの医療の一部を担っている現状から、経営形態の見直しを検討する際に、市立川西病院の医療圏にある他の自治体からの協力を得ることも併せて検討します。</p> <p>「民間の資金、能力を活用し効率的かつ効果的な公共サービス」の表現については、PFIの一般的な説明をさせていただいております。</p> <p>市立川西病院が公立病院として、小児、周産期、救急などの不採算医療や高度・先進医療を継続的に担っていくという役割を果たしつつ、健全な経営を行い、将来にわたり市民の医療の安全・安心を確保するために、3つの選択肢のそれぞれのメリット、デメリットを踏まえ、最も適した経営形態の見直しを検討します。</p>	DL - 2
182	4 - 3 公立病院としての役割	<p>10頁 川西病院の独立行政法人化に反対です</p> <p>市立川西病院は昨年度策定した経営健全化計画に基づき、健全化に取り組んでおり、病床利用率は回復傾向にあります。しかしながら、診療報酬の改定の方向性、公営企業の高コスト体質などを考えると、経営健全化計画の達成ができない可能性があります。さらに、病院が抱える40億円を超える累積債務の解消と毎年10億円以上の補助金が必要となっている現状を考えると抜本的な解決策を講じることが必要となっているとして、経営形態の見直しに関し、考えられる選択肢は、ア地方独立行政法人化、イ指定管理者制度の導入、ウPFIの導入しかないとしています。</p> <p>これは毎年10億円以上の補助金が必要な川西病院を市の直接運営からきりはなすと、公的病院としての役割が果たせず、採算重視、経営優先の病院に変質するのではないですか。</p> <p>川西病院がどうしても赤字続きなのかの分析が行われておらず、ア地方独立行政法人化、イ指定管理者制度の導入により、なぜ経営が改善する保障はないのではないですか。</p> <p>PFI方式の病院はあいついで経営破綻していることなどをあげて、第3回の川西病院改革審議会では、病院のPFIは専門的ノウハウが必要で、川西では無理とされたのではないのですか。どうして改革プランでPFI方式を選択肢に復活させたのですか。</p>	<p>民間的経営手法の導入を選択する場合でも、公的医療について市が求める水準を守ることとなります。また、市はすべてを任せきりにするのではなく、パートナーとして事業運営にかかわっていく必要があると考えています。</p> <p>当該プラン案は、過去に策定した改革プラン及び経営健全化計画における様々な分析を踏まえ、市立川西病院の現状をみたくうえで、作成しています。</p> <p>将来にわたり、市民に安心で安全な医療を提供していくためには、安定した経営基盤を築く必要があり、現状を考えると、経営形態の見直しを含めた抜本的な改革が必要であると考えています。</p> <p>選択肢として掲げた民間的経営手法の中から、最も適した経営形態の見直しを検討します。</p>	O - 7
183	4 - 4 市立川西病院（市の支援）を継続	<p>川西病院の独立行政法人化に反対です。病床利用率は回復傾向にあると聞いています。川西病院は市立病院のままでも市民の健康を守ってほしいと思います。</p>		CF
184	4 - 4 市立川西病院（市の支援）を継続	<p>経営形態の変更にも反対します。病院内での発症とはいえ、急を要する救急医療が適切に受けられない事は、今後（川西市で生活するうえで）の生活にも大きな不安となります。何としても継続を望んでいます。また、2人とも入院していて忙しい毎日ですが、1人でも多くの声を届けなければと思いつき取りました。また私はこうして主張する手立てをもちますが、病院が移転してしまうことで不便を余儀なくされ、訴えたくても訴えられない多くの方（おそらく高齢者の方は特に）がいる事に目を向けて頂けたらと思います。</p>	<p>市立川西病院が公立病院として、小児、周産期、救急などの不採算医療や高度・先進医療を継続的に担っていくという役割を果たしつつ、健全な経営を行い、将来にわたり市民の医療の安全・安心を確保するために、3つの選択肢のメリット、デメリットを踏まえ、最も適した経営形態の見直しを検討します。</p>	CI - 2

番号	意見の分類	意見の内容	市の検討結果	提出者
185	4 - 4 市立川西病院 (市の支援) を継続	市立のまま、今の形態を維持してください。市立病院をなくさないでください。	市立川西病院が公立病院として、小児、周産期、救急などの不採算医療や高度・先進医療を継続的に担っていくという役割を果たしつつ、健全な経営を行い、将来にわたり市民の医療の安全・安心を確保するために、3つの選択肢のメリット、デメリットを踏まえ、最も適した経営形態の見直しを検討します。	E V
186	4 - 4 市立川西病院 (市の支援) を継続	市立病院の利益はどうしたら出るのかわかりませんが、市立病院は利益の出にくいものだと思います。私も長い間、川西の中央の病院に勤めていましたが、地域医療のためと病院はうたっていますが、経営の採算が一番で何事も行われていた様に思います。市民病院は市民病院らしく取り組んでほしいと思います。		F R - 2
187	4 - 4 市立川西病院 (市の支援) を継続	川西市立病院を独立行政法人にしないで！！反対です。市の責任で今のままで、市民病院を続けて下さい。		F U
188	4 - 4 市立川西病院 (市の支援) を継続	今の市民病院を無くさないでください。		C C
189	4 - 4 市立川西病院 (市の支援) を継続	川西病院の独立行政法人化に反対です。これからも川西へ住み続けたいのに、市民病院が、財政的に厳しいからといって市から切り離されることに大きな不安を感じます。採算重視や経営優先の病院になってしまうのではないのでしょうか。市民のいのちを守る病院が地域にあることが、住みやすい川西市へとつながっていくと思います。総合病院を市立病院として存続させるべきだと思います。		B C
190	4 - 4 市立川西病院 (市の支援) を継続	川西病院を独立行政法人化することに反対します。市民の生命、安全を守るとは市政の基本だと思います。その責任を放棄することなく、公立の総合病院の一層の充実を図ってください。		B S
191	4 - 4 市立川西病院 (市の支援) を継続	自治体の公的サービスの多くは市民・住民の要望、ニーズに基づいて営々と運営されているもの。ましてや市民の命と健康に直接かかわる公立病院の『民営化』など、総務省通知に従って自治体の基本的な責務を安易に投げ出すべきではない。今の国の医療報酬制度・薬価制度のもとで経営を「民営化」すれば、問題が解決するという単純なものではない。「効率化」追及のあまり病院職員へのしわ寄せ、医療サービスの低下や「採算割れ」の不安が付きまとう。数年後の事態なら、それに対して市は責任を負わなくて済むのか。やはり「財政支援」が必要になるのではないか。	市立川西病院が公立病院として、小児、周産期、救急などの不採算医療や高度・先進医療を継続的に担っていくという役割を果たしつつ、健全な経営を行い、将来にわたり市民の医療の安全・安心を確保するために、検討を進めています。不安があると指摘いただいている点も含めて検討していきます。	Y - 3
192	4 - 4 市立川西病院 (市の支援) を継続	北部から公立総合病院をなくさないで下さい。少しずつ産婦人科や整形外科など充実してきて医師や看護師さん達もがんばっておられます。毎年10億円の赤字...との事ですが医療や介護には赤字はつきものと思います。命も守る病院、是非残してください。	将来にわたり、市民に安心で安全な医療を提供するために、経営形態の見直しを含めた抜本的な解決策を検討します。	B A - 2

番号	意見の分類	意見の内容	市の検討結果	提出者
193	4 - 4 市立川西病院 (市の支援) を継続	存続希望！	ご意見として賜ります。	G C
194	4 - 4 市立川西病院 (市の支援) を継続	11頁の経営形態の見直しの方向性の部分で「現状のままで存続させ改善を行っていく」という項目がないのでしょうか。1市3町に及び利用者や病院関係者の意見は調査されていないのでしょうか。民意を含めた方向性を作成したほうが良い。	現在の病院事業の経営形態を継続することでは乗り切れない課題があり、その課題を克服するためには、思い切った方向転換をする必要があります。その際は、近隣他市町からどのような協力を得ることができるのかについても検討していきます。	C G - 3
195	4 - 4 市立川西病院 (市の支援)を 継続	経営健全化計画が達成できないからといって経営形態を独立行政法人化などに変更する事には反対です。市立病院として市民の健康・命に市が責任を持つべきです。周辺の市立病院との連携は必要ですが、それぞれが総合病院として機能しながらそれぞれの特徴を生かすべく協力しあう事が必要です。	市立川西病院が公立病院として、小児、周産期、救急などの不採算医療や高度・先進医療を継続的に担っていくという役割を果たしつつ、健全な経営を行い、将来にわたり市民の医療の安全・安心を確保するために、3つの選択肢のメリット、デメリットを踏まえ、最も適した経営形態の見直しを検討します。	C R
196	4 - 4 市立川西病院 (市の支援)を 継続	「平成27年度～30年度を計画期間とする経営健全化計画を平成28年3月策定したところですが」であるのに、国が要請してきたとして現在進行中の改革計画を止めて市立病院を継続することを放棄し、出来ない理由を並べ、1.地方独立行政法人化、2.指定管理制度の導入、3.P F Iの導入いずれかだというひどいものです。なぜ民間なら可能なのか、最初から市立病院を継続する考えがない。市民の命・健康を第一に自治体の果たす役割を放棄するものです。市立病院は市立病院として継続すべきです。	市立川西病院は経営健全化計画に取り組み、病床利用率において前年度を大きく上回ることが予想されます。しかし、平成29年度以降の新たな具体的な改善策が少くないことなどから、計画は達成できない可能性があります。今回の改革プラン案は、市立川西病院が将来にわたり、市民に安心で安全な医療を提供していくためには、安定した経営基盤を築く必要があり、現状を考えると、経営形態の見直しを含めた抜本的な改革が必要であると考え、作成しているものです。また、市は一貫して公立病院の必要性を認識しております。	A U - 1
197	4 - 4 市立川西病院 (市の支援)を 継続	赤字経営は以前より続いており、私たちはつい最近まで川西北部に新病院を建設する予定と聞いていました。今回、急な病院事業新経営改革プランに戸惑い驚いています。今回の病院事業新経営改革プランを出す前にもっとするべきこと、できることがあると考えます。医師や看護師の確保においても、もっと改善する取り組みはあり、可能なことはたくさんあると思います。看護師の離職率は近隣病院と比較して決して高いとは思えません。経営形態の見直しについて、独立法人化・指定管理者制度・P F Iの導入と記載されていますが、直営のプランはほぼ記載されていません。経営状態が悪いからと即座に直営をなくす考えではなく、存続していく努力、取り組みが必要であると思います。今回、急な病院事業新経営改革プランを突き付けられ、職員は不安な気持ちでいっぱいです。公務員の身分にも影響が出るため、それぞれ立てている人生設計に狂いが生じてきます。またそれぞれの今後を考え、離職する職員も予想されます。それは安全で安心した医療に支障をきたす事につながります。私たちは「断らない救急」や入院稼働率を常に把握し地域医療支援病院としての役目を果たすため日々取り組んでいます。経営形態見直しについて直営プランの立案と、直営を堅持することを懇願します。	市立川西病院が職員一丸となって、経営健全化計画に取り組み、病床利用率において前年度を大きく上回ることが予想されることは承知しています。しかし、平成29年度以降の新たな具体的な改善策が少くないことなどから、計画は達成できない可能性があります。今回の改革プラン案は、市立川西病院が将来にわたり、市民に安心で安全な医療を提供していくためには、安定した経営基盤を築く必要があり、現状を考えると、経営形態の見直しを含めた抜本的な改革が必要であると考え、作成しているものです。	D P - 2
198	4 - 4 市立川西病院 (市の支援)を 継続	この病院は公務員であるという安定が職員にとっては大きな強みである。赤字の原因が医師の経費が高いことと、長年にわたる累積赤字によるものだと聞いているが、その尻ぬぐいをなぜ現職員が追わなければならないのか。もっと早くに対処していれば、ここまでにはならなかったのではないかと。納得がいかない。このまま、市の直営として維持させてほしい。	今回の改革プラン案は、市立川西病院が将来にわたり、市民に安心で安全な医療を提供していくためには、安定した経営基盤を築く必要があり、現状を考えると、経営形態の見直しを含めた抜本的な改革が必要であると考え、作成しているものです。	F L

番号	意見の分類	意見の内容	市の検討結果	提出者
199	4 - 4 市立川西病院 (市の支援)を 継続	<p>現在のままで川西市立病院をなくさないで下さい。市立川西病院事業新経営改革プラン(案)を読みましたが、なぜ市民の命を守る病院が収益を上げなければいけないのですか。小児医療や周産期医療等は不採算になることが多いのはあたり前です。その為に税金を使うことが市民の為になります。中央北地区再開発に多額の税金を使うよりこちらに使って下さい。</p> <p>又今の北部に立地されている市民病院がなくなると遠くの病院に行かねばならずとても市民の命を守るとは言えません。又経営形態が変わることになれば勤務する医師、看護師さん等の雇用形態が変わり不安定になると懸念されています。この(案)を見る限り民間に移せば利益優先で不採算部門は切られるでしょう。やっと子や孫が川西に帰って来て安心にかかれる様になってきているのにこの(案)は承認できません。撤回してください。</p>	<p>経営形態の見直しについては、将来にわたり、市民に安心で安全な医療を提供するために、安定した経営基盤を築くという基本的な考え方に立って検討しています。</p> <p>また、病院の立地については、市民、利用者の利便性とスタッフの確保という両面から検討していきます。一方で、現市立川西病院を多く利用している市北部地域の住民等の安心を確保する観点からの検討も行う必要があります。</p>	A N
200	4 - 5 民間活用反対 (不採算医療の 縮小につながる)	<p>全体的な感想としては、民間に移行すれば、川西市としての経費削減になるが市民のための病院としてはそうならない。例えば、産婦人科や小児科の科目はまず削減されるであろう。</p>	<p>民間的経営手法の導入を選択する場合でも、公的医療について市が求める水準を守ることになります。また、市はすべてを任せきりにするのではなく、パートナーとして事業運営にかかわっていく必要があると考えています。</p>	A F - 7
201	4 - 5 民間活用反対 (不採算医療の 縮小につながる)	<p>現在、近隣市町村からの入院を多く受け入れている現状のなかで、経営形態が変化し救急などの受入れがなくなった場合、患者からの厳しい意見が出るのではないかと。</p>		D T - 2
202	4 - 5 民間活用反対 (不採算医療の 縮小につながる)	<p>経営形態の変更は不採算部門の切り捨てや職員の人材流出にもつながりかねない。職員と市民が納得できるようもっと議論すべきではないのか。</p>		E N - 2
203	4 - 5 民間活用反対 (不採算医療の 縮小につながる)	<p>改革プランでは拳がっていませんが、市民に必要な小児科、婦人科などの不採算医療を継続するため、病院形態は直営にするべきです。病院の経営形態の変更には反対します。</p>		E Q - 1

番号	意見の分類	意見の内容	市の検討結果	提出者
204	4 - 5 民間活用反対 (不採算医療の縮小につながる)	<p>救急時の対応ができる(救急車が患者を運び込める)病院が近くにあることは大きな安心につながります。色々な病院をたらいまわしにされ手遅れになることは一番避けねばならないことです。これから高齢化が進み若者以上に怪我や、熱中症など緊急を要する事態が増えることが予想されます。その対応を今からすべきです。小児科、産婦人科、救急部門は採算をとるのが難しく、新しく開業する小児科、産婦人科は少なく、逆に閉鎖するところが多いと聞いています。民間に任せればこれら不採算部門が削減される可能性が高くなります。しかし、そうなれば、若い人には住みにくい、魅力のない街になるのではないのでしょうか?小児科の無い、子どもを産むのに近くに病院の無い、また、子供が夜に熱を出したときに駆け込める病院が近くにないとしたら、若い夫婦は川西に来るのでしょうか?川西市を若返らせ、魅力のある市にするためにも、不採算であったとしても将来のために維持してください。経営を効率することは重要な事ですが、それでも解決できない時は、私はその為に私たちの税金が使われることに賛成です。友人が末期がんで川西病院のケアハウスに入院していました。昨年秋に数回、見舞いに行きましたが、駐車場は車でいっぱいでした。1回は病院裏の駐車場も満車で道路上に駐車せざるを得ませんでした。これほど患者が多いのにどうして経営赤字になるのでしょうか?はやっているのに赤字になるのは不採算部門があるからだというのであれば、もし、民間経営になればそれらの部署は切り捨てられるのではないのでしょうか?その場合は上記の理由で民間委託に反対です。</p>	<p>民間的経営手法の導入を選択する場合でも、公的医療について市が求める水準を守るようになります。また、市はすべてを任せきりにするのではなく、パートナーとして事業運営にかかわっていく必要があると考えています。</p>	FY - 2
205	4 - 5 民間活用反対 (不採算医療の縮小につながる)	<p>・「市立川西病院の独立行政法人化反対」、「総合病院を市立病院として存続させるべきである」</p> <p>市立川西病院は通常の医療法人とは異なる使命と役割が存在すると考えます。阪神北医療圏の住民のいのちと健康を守るために、地域に根差す医療機関の果たす役割は重要です。つまり、民間医療機関が手を出しにくい不採算医療、具体的には医療施設の少ない阪神北医療圏(僻地・広域)での医療、小児医療、産科医療、救急・災害医療、高度医療等不採算になる事が明らかな特殊事情をかかえています。病院は、公園・教育・文化・上下水道などのインフラ(社会資本)でいう生活基盤の分類です。他にも交通基盤、通信基盤、国土保全基盤、エネルギー関連基盤等ありますが、不採算でも維持していくべきものでしょう。特に、不採算でも公共的役割を果たすべき市立川西病院は、その果たす役割を十分に発揮できるようにしていくことがより求められています。自治体病院の存続が危うい状況は全国的に広がっていると聞きます。「地域医療の崩壊」現象の象徴ともなっていると聞きます。しかし、単純に「赤字だから・・・」と言って切り捨てていけば、社会に未来を描けない暗い影を落とすだけで、「未来社会」に対し夢も希望も失っていくのではないのでしょうか。赤字だったら公共機関は無くすべきなんではないでしょうか。弱肉強食、勝ち組・負け組のレッテル張り、昨今評判の悪い「新自由主義の弊害」の最たるものだと思います。</p>	<p>市は一貫して公立病院の必要性を認識しております。公立病院の役割は、小児、周産期、救急などの不採算医療や高度・先進医療を継続的に担っていくことと考えています。</p> <p>当プラン案は、将来にわたり、市民に安心して安全な医療を提供するために、安定した経営基盤を築くという基本的な考え方に立って作成しており、3つの選択肢のそれぞれのメリット、デメリットを踏まえ、最も適した経営形態の見直しを検討します。</p>	A S - 1

番号	意見の分類	意見の内容	市の検討結果	提出者
206	4 - 5 民間活用反対 (不採算医療の縮小につながる)	・新経営改革プランの4ページの2.経営の効率化(1)現状における経営上の課題 ア市立川西病院の赤字経営と市の支援の部分において 「市は市立川西病院設立から一貫して公立病院の必要性を認識し、病院経営に対する支援を実施しており…」と述べているにもかかわらず、様々な理由を挙げ、財政破綻をきたすため公立病院としての役割を放棄する(10ページ)経営形態の見直し(ア地方独立行政法人化、イ指定管理者制度の導入、ウPFIの導入)を行なうことは矛盾している。いずれの形態にしても採算の合わない部門、例えば小児科や産婦人科などは削減される可能性があるのではないのでしょうか。経営を優先させるのではなく、公立病院として住民の健康・医療を優先させ、採算の合わない部分は市が支える必要があると思います。	市は一貫して公立病院の必要性を認識しております。経営形態の見直しについては、市立川西病院が公立病院として、小児、周産期、救急などの不採算医療や高度・先進医療を継続的に担っていくという役割を果たしつつ、健全な経営を行い、将来にわたり市民の医療の安全・安心を確保するために、川西市にとって最も適した経営形態の見直しを検討します。民間的経営手法の導入を選択する場合でも、公的医療について市が求める水準を守ることになります。また、市はすべてを任せきりにするのではなく、パートナーとして事業運営にかかわっていく必要があると考えています。	FD - 1
207	4 - 5 民間活用反対 (不採算医療の縮小につながる)	プランでは推奨されていませんが、市民に必要な小児科、婦人科などの不採算部門を継続するため病院形態は直営を希望します。		A - 4
208	4 - 5 民間活用反対 (不採算医療の縮小につながる)	市立川西病院は、市民、特に市の北部に住む私達にとって大変大切な病院です。産科や小児科という不採算部門もかかえられるのは、公立病院の良さです。若い人たちが住めるように、又赤字ということですが市民の健康のための税金を使うのは当たり前のことです。どうか独立行政法人化にせず、市立川西病院としての役割を果たせるようにしてください。		I
209	4 - 5 民間活用反対 (不採算医療の縮小につながる)	・経営形態について 現在の川西病院医療体制については、公立病院でありながら、診療科目は大部不足しています(他地域公立病院に比べて)。市として一番大切な人の命を預かる病院が利益が出せないと不採算医療切り捨てはあまりにも残酷であり、理解できません。	市立川西病院が公立病院として、小児、周産期、救急などの不採算医療や高度・先進医療を継続的に担っていくという役割を果たしつつ、健全な経営を行い、将来にわたり市民の医療の安全・安心を確保するために、3つの選択肢のそれぞれのメリット、デメリットを踏まえ、最も適した経営形態の見直しを検討します。	K - 1
210	4 - 5 民間活用反対 (不採算医療の縮小につながる)	子育てをしている私にとって川西の北部から病院がなくなるのであれば非常に困ります。経営形態が変わって、小児科、産婦人科がなくなるかもとなると川西市の北部では安心して暮らせません。		DA - 1
211	4 - 5 民間活用反対 (不採算医療の縮小につながる)	市民に必要な小児科、婦人科などの不採算医療を継続するため、病院形態は直営を希望します。猪名川町に暮らす私達にとっては、北部に大きな病院がなくなるのは不安です。		CZ

番号	意見の分類	意見の内容	市の検討結果	提出者
212	4 - 5 民間活用反対 (不採算医療の縮小につながる)	<p>やはり、川西市北部地区において、市立川西病院はなくてはならない病院である。患者さんの中には、市民病院だからと信頼し、安心して受診、入院されている患者さんも多いと聞いている。医療機能や経営形態を見直す場合には、病院で働く職員や住民の理解と納得が必要であり、病院の耐用年数のこともあります。焦らずじっくりと論議していくべきだと思う。経営形態によっては、公共サービスの提供は義務付けられていないため、経済性を優先するあまり不採算部門の切り捨てによる公的医療水準の低下を招く恐れがあるため、市民に必要な小児科、産婦人科などの不採算医療の継続するため病院形態は、市直営でなければならない。また、経済性を優先するために最悪北部地区からの撤退という事態がないとは限らない。</p> <p>また、川西病院は川西市北部および猪名川町、能勢町、豊能町の医療需要を担っていくため、猪名川町、豊能町、能勢町からの支援(補助金/協力金)をもらうことも積極的に検討し、市民病院を現状のままの経営形態で運営していただきたい。</p>	<p>市立川西病院が公立病院として、小児、周産期、救急などの不採算部門や高度・先進医療を継続的に担っていくという役割を果たしつつ、健全な経営を行い、将来にわたり市民の医療の安全・安心を確保するために、3つの選択肢のメリット、デメリットを踏まえ、最も適した経営形態の見直しを検討します。その際は、近隣他市町からどのような協力を得ることができるのかについても検討していきます。</p>	B E
214	4 - 5 民間活用反対 (不採算医療の縮小につながる)	<p>猪名川町の住民です。子供たちは貴院で生まれ、父親、母親も内科にてお世話になり、私自身も約6~7年前から内科を毎月受診、4~5年前には、眼科で両眼白内障の手術を、最近では整形外科も定期的に受診しており、私たち一家にとっては、貴院が切っても切れない存在になっています。</p> <p>新経営改革プランを拝読させていただき、公的医療機関として阪神間北部の地域医療を見据え、高度急性期から高齢化社会に対応しうる病院を存在させるためのプランを模索されていると受け止めましたが、独立行政法人化はともかく、他の二つのプランは郵政、国鉄等の民営化と同じく、将来的には不採算部門を切り捨てて行くように感じられ、大変不安を覚えます。財政的な問題があることから、阪神間北部を形成する能勢町、豊能町、猪名川町、川西市で共同で病院維持に係る資金を出し合い、新病院建設地については、新名神川西ICから近くの日生中央駅付近、日本生命が猪名川町に寄付をしたといわれている広大な土地を猪名川町に供出させ、その地に建設するということはできないのでしょうか。医療機関が集中する川西市南部に新病院が移転すれば、足の便が悪くなる能勢、豊能、猪名川町の高齢者たちの受診率は減少し、その地域の死亡率が上昇するのでは?と、危惧されます。わざわざ、医療機関が集中する市南部へ行く必要はないと思います。急性期、高度急性期も目指すなら、また災害拠点(支援)病院として、ドクターヘリ、ドクターカー等が受け入れ易い、新名神川西ICからのアクセスの良い場所に病院を建設すべきだと考えます。</p>	<p>市立川西病院が公立病院として、小児、周産期、救急などの不採算部門や高度・先進医療を継続的に担っていくという役割を果たしつつ、健全な経営を行い、将来にわたり市民の医療の安全・安心を確保するために、3つの選択肢のメリット、デメリットを踏まえ、川西市にとって最も適した経営形態の見直しを検討します。</p> <p>また、民間の経営手法の導入を選択する場合でも、公的医療について市が求める水準を守ることになります。また、市はすべてを任せきりにするのではなく、パートナーとして事業運営にかかわっていく必要があると考えています。</p>	A T
213	4 - 5 民間活用反対 (不採算医療の縮小につながる)	<p>市民の健康を衛る事にこそ税金を使って下さい。乱脈な開発のつけを市民病院経営に持ち込まないで下さい。自治体の公立病院は命を守る砦です。「赤字を理由に民間に移譲する」そんな安直な案を出さないでください。命は尊いものです。市民の命を守る事を最優先に取り組む姿勢を見せて下さい。民営化になれば不採算部門の縮小、廃止は現実のものとなるでしょう。とにかく川西から公立の総合病院を無くさないでください。</p>	<p>市立川西病院が公立病院として、小児、周産期、救急などの不採算医療や高度・先進医療を継続的に担っていくという役割を果たしつつ、健全な経営を行い、将来にわたり市民の医療の安全・安心を確保するために、3つの選択肢のメリット、デメリットを踏まえ、川西市にとって最も適した経営形態の見直しを検討します。</p> <p>民間の経営手法の導入を選択する場合でも、公的医療について市が求める水準を守ることになります。また、市はすべてを任せきりにするのではなく、パートナーとして事業運営にかかわっていく必要があると考えています。</p>	C O

番号	意見の分類	意見の内容	市の検討結果	提出者
215	4 - 5 民間活用反対 (不採算医療の縮小につながる)	10頁 川西病院の独立行政法人化に反対です 市立川西病院は昨年度策定した経営健全化計画に基づき、健全化に取り組んでおり、病床利用率は回復傾向にあります。しかしながら、診療報酬の改定の方向性、公営企業の高コスト体質などを考えると、経営健全化計画の達成ができない可能性があります。さらに、病院が抱える40億円を超える累積債務の解消と毎年10億円以上の補助金が必要となっている現状を考えると抜本的な解決策を講じることが必要となっているとして、経営形態の見直しに関し、考えられる選択肢は、ア地方独立行政法人化、イ指定管理者制度の導入、ウPFIの導入しかないとしています。毎年10億円以上の補助金が必要な川西病院を市の直接運営からきりはなすと、公的病院としての役割が果たせず、採算重視、経営優先の病院に変質するのではないですか。小児科や産婦人科など住民にとってはなくてはならない診療科目を安定的に維持していくためにも、独立行政法人化には反対です。	将来にわたり、市民に安心で安全な医療を提供していくためには、安定した経営基盤を築く必要があり、現状を考えると、経営形態の見直しを含めた抜本的な改革が必要であると考えています。 民間的経営手法の導入を選択する場合でも、公的医療について市が求める水準を守ることになります。また、市はすべてを任せきりにするのではなく、パートナーとして事業運営にかかわっていく必要があると考えています。	T - 3
216	4 - 6 民間活用反対 (利益優先になる)	民間経営では営利・効率化が優先される恐れがあり、利益が出ない部門・治療がないがしるにされることが危惧する。民間は反対である。	民間的経営手法の導入を選択する場合でも、公的医療について市が求める水準を守ることになります。また、市はすべてを任せきりにするのではなく、パートナーとして事業運営にかかわっていく必要があると考えています。	AQ - 2
217	4 - 6 民間活用反対 (利益優先になる)	10頁4(1) 経営形態の見直しの方向性 病院が抱える40億円を超える累積債務の解消と毎年10億円以上の補助金が必要となっている現状を考えると抜本的な解決策を講じることが必要となっています。経営健全化計画に基づき、進められている現在、40億円の債務、毎年10億円の補助金を理由に抜本的な解決策として経営形態の見直しとして三つの形態が出ています。しかしどの形態をとるにしても市の補助金をなくして市の直接経営から切り離されれば、採算重視、経営優先になっていきませんか。そうなれば患者にとってマイナスになることは目に見えていると思います。	民間的経営手法の導入を選択する場合でも、公的医療について市が求める水準を守ることになります。また、市はすべてを任せきりにするのではなく、パートナーとして事業運営にかかわっていく必要があると考えています。 また、市の支援については、P2の「(3)一般会計負担の考え方」にもありますとおり、公的医療(不採算)部分の法定繰出基準をベースとした負担を検討していきます。	BT - 3
218	4 - 6 民間活用反対 (利益優先になる)	川西病院の独立行政法人化に反対します。独立行政法人になれば、採算重視が前面に出て、公的病院としての役割が果たせず、病院で働く労働者の労働条件低下につながりかねない。	市立川西病院が公立病院として、小児、周産期、救急などの不採算医療や高度・先進医療を継続的に担っていくという役割を果たしつつ、健全な経営を行い、将来にわたり市民の医療の安全・安心を確保するために、3つの選択肢のそれぞれのメリット、デメリットを踏まえ、最も適した経営形態の見直しを検討します。	H
219	4 - 6 民間活用反対 (利益優先になる)	4頁 川西病院への市の財政支援を引き上げるべきではない 今後も市税収入が減少していく中で、増大するこれらの社会保障経費への対応や計画的に取り組まなければならない公共施設の更新を考えると、市として10億円を超える病院への補助は継続できないことにあわせ、返済めどが立たない貸付金もこれ以上の増額には対応できない状況ですとしています。川西病院の独立行政法人化で、こうした市の財政支援を縮小することになれば、採算重視、採算優先の経営になり公的病院としての役割が果たせなくなるのではないですか。	経営形態の見直しに関して、考えられる選択肢として、P11に3つの経営形態を記していますが、いずれの民間的経営手法を選択する場合でも、市が求める一定の水準は守ることになるとともに、市はすべてを任せきりにするのではなく、パートナーとして事業運営にかかわっていく必要があると考えています。	O - 4

番号	意見の分類	意見の内容	市の検討結果	提出者
220	4 - 6 民間活用反対 (利益優先になる)	病院のおかれている状況(赤字の問題や建物の老朽化等)も厳しいうえに、国の方針もあってその対応は難しいところもあるかと思いますが、法人化することで利益優先になり、患者や職員へしわ寄せがいかないよう、知恵をしばっていただきたいです。	市立川西病院が公立病院として、小児、周産期、救急などの不採算医療や高度・先進医療を継続的に担っていくという役割を果たしつつ、健全な経営を行い、将来にわたり市民の医療の安全・安心を確保するために、3つの選択肢のメリット、デメリットを踏まえ、最も適した経営形態の見直しを検討します。 民間的経営手法の導入を選択する場合でも、公的医療について市が求める水準を守ることになります。また、市はすべてを任せきりにするのではなく、パートナーとして事業運営にかかわっていく必要があると考えています。	D F
221	4 - 6 民間活用反対 (利益優先になる)	「経営形態の見直し、考えられる選択肢は次の通り」として、突然ア「地方独立行政法人化」、イ「指定管理者制度の導入」、ウ「P F Iの導入」と3つに縛られ、現状形態における見直しが外されています。これらの在り方では、市(市民)の責任・主導権が損なわれ、採算重視、経営優先の病院へと変質してしまいかねません。	市立川西病院は経営健全化計画に取り組み、病床利用率において前年度を大きく上回ることが予想されます。しかし、平成29年度以降の新たな具体的な改善策が少ないことなどから、計画は達成できない可能性があります。 今回の改革プラン案は、市立川西病院が将来にわたり、市民に安心で安全な医療を提供していくためには、安定した経営基盤を築く必要があり、現状を考えると、経営形態の見直しを含めた抜本的な改革が必要であると考え、作成しているものです。 また、民間的経営手法の導入を選択する場合でも、公的医療について市が求める水準を守ることになります。また、市はすべてを任せきりにするのではなく、パートナーとして事業運営にかかわっていく必要があると考えています。	G A - 1 3
222	4 - 7 民間活用賛成	ズバリ民間委託してはどうでしょうか。それとも大学の付属川西病院への誘致は如何でしょうか？		V
223	4 - 7 民間活用賛成	民間の管理者をいれる指定管理者制度の市民病院は大阪南部にあります。大学医局との関係がなくなり、医師不足になり、(失礼な言い方になりますが)レベルの低い病院になっています。大阪府内の独法化した病院は、医局との関係も継続し、病院のレベルは高いままで継続しています。病院レベルを保つうえでも、指定管理者制度ではなく、独法化にすべきです。	市立川西病院が公立病院として、小児、周産期、救急などの不採算医療や高度・先進医療を継続的に担っていくという役割を果たしつつ、健全な経営を行い、将来にわたり市民の医療の安全・安心を確保するために、3つの選択肢のそれぞれのメリット、デメリットを踏まえ、最も適した経営形態の見直しを検討します。	A M - 2

番号	意見の分類	意見の内容	市の検討結果	提出者
224	4 - 7 民間活用賛成	<p>清和台に住んで40数年が過ぎましたが、川西市民病院は交通の便は清和台からバスの乗り継ぎを入れると1時間以上かかります。能勢口駅近くの病院の倍以上です。40年前の市民病院には切断された指をつなぐという整形外科の名医があられましたが、今はそんな話も聞きません。以上より残念ながらやむをえなおい場合を除き、今後も川西市民病院を利用したいと思う状況にはありません。この考えは川西市民の多くが持っているのではないのでしょうか。いかなる業態であれ市営という名の元に、長年年間10億円近い補助が必要ということは、緊迫した市の財政上赦されることではありません。何らかの抜本策が必要と考えます。財政の苦しい川西市が毎年10億近い赤字を垂れ流しの病院経営する意義を原点に立ち返って検討すべきです。企業論理からすれば当然ですが、この状態では縮小、統合を考えるべきです。</p> <p>【縮小案】北部にある市民病院近隣の猪名川町、能勢町等利用患者人数の割合に応じてなんらかを負担してもらい、採算の取れる状態に病院そのものを縮小する。</p> <p>【統合案】近隣市町村の同意が得られず縮小が無理ならば今の市民病院をキセラで計画中の病院と統合する。経営形態は種々考えられ、当然統合相手の病院との調整が必要だが、地方独立行政法人を目標とするのも良いと思う。</p> <p>40数年前に川西市清和台に転居しましたが、しばらくして駅近くにあった市民病院があの地に移転しました。なぜあの辺鄙な地にと不思議でしようがなかった。誰が考えてもあの地（現在地）では患者が減り赤字が予想されたはずですが、当時の財政状況がよかったから赤字覚悟で移転したのでしょうか。企業は工場立地を決める時、涙ぐましい調査と努力を重ねます。縮小、統合案には近隣住民の反対がつき物ですが、アメリカ等と違い川西市には医療機関がいくつでもあります。もともと市民病院は現在の市役所のところにあったのではないのか。現在の病院の建物が古くなり、建て替とかの話がちらほらありますが、縮小、統合案にも合致します。</p>	ご意見を踏まえ、検討していきます。	C K
225	4 - 8 黒字の公立病院	全国的に見て公立病院でも黒字化した病院があります。その病院の運営方針を最重要方針として取り組んでください。そうすれば黒字化できます（全日紙に掲載されておりました）。黒字化した仕掛け人、本人様に川西市に来ていただき、病院の最高のトップになっていただき、直接やっていただくようにご提案します。やる気、本気の問題です。上記の項目をぜひ実行してください。	黒字化の公立病院の状況も踏まえ、検討していきます。	C D - 3
226	4 - 8 黒字の公立病院	川西市に居住して30年、個人病院では対応できない医療を求めて、川西病院を利用させていただいています。ここ4～5年前から人間ドックも利用しています。今回、長期にわたり財政赤字がつづく同病院の現状や経営環境を知るため新経営改革プランならびに同答申を読みました。同時に28年3月に策定された「市立川西病院経営健全化計画書」も見て、感じましたことについて一住民として意見を述べさせていただきます。全国に展開する公立病院の内「経営健全化基準」をクリアしている病院が3割前後もあります。黒字を達成している病院の多くは医療の質、経営の質の両輪がうまく回転しているように思われます。医療需要の戦略性や、徹底したコスト管理を実行している事も共通しています。特に輪代謝「病床稼働率」に注目しています。中規模の病院で、病床稼働率を1%改善すると、1000万円の収支改善につながるとすれば、きわめて重要な指標となります。	病床利用率につきましては、市といたしましても重要な要素であると考えており、現在も職員が一丸となってその向上に取り組んでいます。	C H - 1

番号	意見の分類	意見の内容	市の検討結果	提出者
227	4 - 8 黒字の公立病院	経営形態を見直すことで、医療品質が維持できるのかが疑問。そもそも民間に委託することありきで作成された案のように見える。黒字の公立病院と比較しているが、黒字の病院はどれくらいの割合なのか。黒字病院の経営方法を参考にするなど、他にもやることはあるのではないかと思う。	平成25年度の経常収支が黒字である公立病院の割合は、約46%です。これは、一般会計からの支援を受けた結果の数字であることに留意する必要があります。	D N
228	5 - 1 赤字の原因	経営改革について、何故赤字なのかよく考えて頂きたい。看護師やクラーク、事務方も赤字に対して何をすればいいのか明確に提示してほしい。何より医師達のコスト意識をもっと高めて欲しい。D P C を理解しているのか、入院中の不必要な他科受診が多すぎる。実際に病院に収益をあげるのは経営企画での戦略や医師たちです。事業管理者や院長はそのことをおざなりにしすぎだと思います。医師教育が足りてません。内科に院長と複数のクラークは必要ですか。人件費を自ら上げてます。	医師不足が顕著となった平成16年度以降、地域医療を確保するため、医師の確保を最優先に取り組んできました。 この医師の確保・充実と合わせて、病院経営に必須となる的確な医師のマネジメントによる受入患者数及び診療報酬単価の増加策により医業収益確保を展開したものの、十分な対策が取れなかったことが、現状の経営状況になったものと認識しています。	D O - 1
229	5 - 1 赤字の原因	・経営改革プランに書かれている60億の累積赤字は誰の責任なのか プラン案にある経営形態の変更は、病院で働く医療職の分限処分を伴う大規模な変更になるものと予想されるが、その原因である60億の累積赤字の責任は誰にあるのか明確にしたい。長年にかけて経営状況の回復ができなかった責任を医療職の解雇という手段で終わらすことは、あまりにも無責任ではないか。経営側の責任は一切なく、医療職だけが今後の生活の保障がなくなってしまう内容は納得できるものではない。	医師不足が顕著となった平成16年度以後、地域医療を確保するため、医師の確保を最優先に取り組んできました。 この医師の確保・充実と合わせて、病院経営に必須となる的確な医師のマネジメントによる受入患者数及び診療報酬単価の増加策により医業収益確保を展開したものの、十分な対策が取れなかったことが、現状の経営状況になったものと認識しています。	D S - 1
230	5 - 1 赤字の原因	60億の赤字責任。なぜ赤字に至ったか原因を明確にしてほしい。現職員が解雇・不利益をこうむる結果に納得がいかない。今日も現場で一生懸命働いているのにモチベーションがあがらない。北部地域の病院がなくなってしまうのは、患者様にも不利益となる。	医師不足が顕著となった平成16年度以後、地域医療を確保するため、医師の確保を最優先に取り組んできました。 この医師の確保・充実と合わせて、病院経営に必須となる的確な医師のマネジメントによる受入患者数及び診療報酬単価の増加策により医業収益確保を展開したものの、十分な対策が取れなかったことが、現状の経営状況になったものと認識しています。 病院の立地については、市民、利用者の利便性、スタッフの確保という両面から検討します。一方で現市立川西病院の利用者が多い市北部地域の住民等の安心を確保する観点からの検討も行う必要があります。	D V
231	5 - 1 赤字の原因	60億の累積赤字の責任は誰にあるか、原因は何かははっきりしてほしい。現在、働いている医療職者が責任を追及され解雇されるのは納得がいかない。経営形態の変更は反対です。現職員の今後の生活の保障はどうなるのでしょうか。不安で仕事が手につきません。	医師不足が顕著となった平成16年度以後、地域医療を確保するため、医師の確保を最優先に取り組んできました。 この医師の確保・充実と合わせて、病院経営に必須となる的確な医師のマネジメントによる受入患者数及び診療報酬単価の増加策により医業収益確保を展開したものの、十分な対策が取れなかったことが、現状の経営状況になったものと認識しています。 今回の改革プラン案は、市立川西病院が将来にわたり、市民に安心して安全な医療を提供していくためには、安定した経営基盤を築く必要があり、現状を考えると、経営形態の見直しを含めた抜本的な改革が必要であると考え、作成しているものです。	D W

番号	意見の分類	意見の内容	市の検討結果	提出者
232	5 - 1 赤字の原因	赤字の原因は、2項記載の「医師不足による患者不足」と「医師確保と医療機器導入」であるならば、は過去の負債、は先行投資によるもの（今後回収が見込める）と思われるが、その評価がなく実態が分からない。赤字原因を時系列を含めて明らかにすべきでは。	収支不足は過去の負債、先行投資と呼べるものだけではなく、P10「経営形態の見直しの方向性」にも記載しているように、そもそも公営企業の高コスト体質が課題となっているため、抜本的な解決策を講じる必要があります。	G A - 7
233	5 - 1 赤字の原因	医療費の増大は高額な医療機器によるものではありませんか。	患者に安全・安心な医療を提供するためには、医療機器の更新は必要であり、このことは、患者数の増、医療収益の増につながるものと考えています。	C P - 4
234	5 - 2 赤字に対する これまでの対策	赤字の原因、責任の所在は？医療職の解雇で終わらせるのは無責任。経営側も責任を取るべき。建設する病院の立地は患者が来やすいのか。通勤しやすい場所なのか。何の説明もなく決まってしまうのは、川西市在住の者としても勤務している者としても納得できない。		E B
235	5 - 2 赤字に対する これまでの対策	昔から赤字だと言われているがそこに至る原因がよくわからない。現在はスタッフの頑張りで改善・良くなっているのではないか。節約に努めているのはすごく感じながら働いているのに、私達が不利益をこうむる結果になるのは不満である。そもそも川西北部に病院が必要なのは地域的（高齢化）にも賛同する人が多いと思う。建替えるにも場所をよく考えてほしいし、職員のことをもう少し大事に考えていただきたい。	医師不足が顕著となった平成16年度以後、地域医療を確保するため、医師の確保を最優先に取り組んできました。 この医師の確保・充実と合わせて、病院経営に必須となる的確な医師のマネジメントによる受入患者数及び診療報酬単価の増加策により医業収益確保を展開したものの、十分な対策が取れなかったことが、現状の経営状況になったものと認識しています。 病院の立地については、市民、利用者の利便性、スタッフの確保という両面から検討します。一方で、現市立川西病院を多く利用している市北部地域の住民等の安心を確保する観点からの検討も行つ必要があります。	E J
236	5 - 2 赤字に対する これまでの対策	公立でなくなればすぐに転職をしたいと思う。このような状況になる前に経営企画室は対策をしていたのかと疑問に思う。交通の便が悪いため患者の集客が難しい事は分かっていたのではないかとと思う。		E M - 1
237	5 - 2 赤字に対する これまでの対策	プラン案にある経営形態の変更は病院で働く医療職の方だけに処方されるように思うのですが、60億円の赤字は誰に責任があるのですか？働いている方に責任をおわすのはいかがでしょうか。経営側の責任は一切ないのは納得いきません。 川西市に住まいをきめたのは近くに病院があり、子育てを安心してできると思ったからです。なくなるのなら子供への手当も十分ある猪名川町に住まいを変更も考えたいと思っています。	医師不足が顕著となった平成16年度以後、地域医療を確保するため、医師の確保を最優先に取り組んできました。 この医師の確保・充実と合わせて、病院経営に必須となる的確な医師のマネジメントによる受入患者数及び診療報酬単価の増加策により医業収益確保を展開したものの、十分な対策が取れなかったことが、現状の経営状況になったものと認識しています。 市としましては、将来にわたり、市民に安心で安全な医療を提供していくためには、安定した経営基盤を築く必要があり、現状を考えると、経営形態の見直しを含めた抜本的な改革が必要であるとと考えています。	E F

番号	意見の分類	意見の内容	市の検討結果	提出者
238	5 - 2 赤字に対する これまでの対策	60億の赤字になるまでどんな対策をたてて経営を見直ししてきたのですか？この責任は働いている人にあるのですか？市、市議会、病院の経営を考えてきた人（経営企画課）の方は責任はどうとるのですか？病院をてばなす、なくすのが責任のとり方ですか？それで市として考えているといえるのかすごく疑問に思います。 小児科、婦人科は利益がないからなくす？老人病院は他にもたくさんあるのにこのプランを考えた人は市民の事を考えて立案したと思えません。	医師不足が顕著となった平成16年度以後、地域医療を確保するため、医師の確保を最優先に取り組んできました。 この医師の確保・充実と合わせて、病院経営に必須となる的確な医師のマネジメントによる受入患者数及び診療報酬単価の増加策により医業収益確保を展開したものの、十分な対策が取れなかったことが、現状の経営状況になったものと認識しています。 市は一貫して公立病院の必要性を認識しており、経営形態の見直しについては、市立川西病院が公立病院として、小児、周産期、救急などの不採算医療や高度・先進医療を継続的に担っていくという役割を果たしつつ、健全な経営を行い、将来にわたり市民の医療の安全・安心を確保するために、最も適した経営形態の見直しを検討します。	E C
239	5 - 2 赤字に対する これまでの対策	60億の赤字の責任は誰にあるのか明確にしていきたい。私たち職員は赤字解消のために一生懸命働いてきました。経営状況の回復できなかった責任を医療職の解雇ということをするのには納得がいかない。川西市の北部にあるという立地は確かに条件は悪いが、周辺の市町村には、大規模な医療機関はない。それこそ、公的な手段で病院を存続させるべきではないかと思う。職員(今までまじめに働いてきた)、市民に対して納得のいく説明をしていただきたいと思います。	医師不足が顕著となった平成16年度以後、地域医療を確保するため、医師の確保を最優先に取り組んできました。 この医師の確保・充実と合わせて、病院経営に必須となる的確な医師のマネジメントによる受入患者数及び診療報酬単価の増加策により医業収益確保を展開したものの、十分な対策が取れなかったことが、現状の経営状況になったものと認識しています。 病院の立地については、市民、利用者の利便性、スタッフの確保という両面から検討します。一方で現市立川西病院の利用者が多い市北部地域の住民等の安心を確保する観点からの検討も行う必要があります。 市としましては、将来にわたり、市民に安心で安全な医療を提供していくためには、安定した経営基盤を築く必要があり、現状を考えると、経営形態の見直しを含めた抜本的な改革が必要であると考えています。	D X
240	5 - 2 赤字に対する これまでの対策	補助金10億円内訳が不明確である。公立病院の必要性を認識し支援してきたとあるが、必要性に応じた補助金であれば問題ないのではないか。	市が実施している約10億円の補助金のうち、地方交付税措置されている額（公的医療を担ううえで必要な支援と国が評価している額）は約2.5億円であり、7.5億円は病院事業の収支不足に対する市独自の補てんです。また、これだけでは足りないことから長期の貸付金26億円、短期貸付金6億円を実施している状況にあります。	G A - 6
241	5 - 2 赤字に対する これまでの対策	・経営形態の見直しの方向性 累積赤字40億円の赤字について、市はどう処置するつもりでしょうか？また、毎年10億円以上の補助金とことさら強調しているが、国からの補助金もあり、且つこの地域に医療体制を維持するために必要な補助金もあるはず。民間がやらないことを市民の為に公立病院が担わなければならないケースもあり、それらは「必要な補助金」です。大切な市税の使用用途は、十把一絡げにせず明確にすべきです。	市が実施している約10億円の補助金のうち、地方交付税措置されている額（公的医療を担ううえで必要な支援と国が評価している額）は約2.5億円であり、7.5億円は病院事業の収支不足に対する市独自の補てんです。また、これだけでは足りないことから長期の貸付金26億円、短期貸付金6億円を実施している状況にあります。 市としましては、将来にわたり、市民に安心で安全な医療を提供していくためには、安定した経営基盤を築く必要があり、現状を考えると、経営形態の見直しを含めた抜本的な改革が必要であると考えています。	G A - 1 1

番号	意見の分類	意見の内容	市の検討結果	提出者
242	5 - 2 赤字に対する これまでの対策	市をとりまく環境として、市税収入の減少と基金の減少がここで挙げられているが、病院への赤字補てんだけが原因ではないはず。特に基金の減少をここに記載するのであれば、その主たる原因をはっきりと明示すべきです。また、「市として10億円を超える補助は継続できない」と決めつけてあるが、市民のニーズが「病院維持」であれば、優先すべき課題となってくるはず。ここで「継続できない」と、決まったことのように記載するのはおかしいのでは。	基金については、歳入が伸び悩んでいる中でも、取り組まなくてはならない都市整備、学校耐震化、社会保障費等の増加や病院、国保への支援によって減少してきたものです。しかし、病院に対する10億円の補助のうち、国からの支援は約2.5億円であり、市にとって非常に大きな負担となっています。 また、市の「公立病院の維持」という考えは、一貫して変わっていません。 市としましては、将来にわたり、市民に安心で安全な医療を提供していくためには、安定した経営基盤を築く必要があり、現状を考えると、経営形態の見直しを含めた抜本的な改革が必要であると考えています。	G A - 8
243	5 - 2 赤字に対する これまでの対策	現在、経営健全計画に基づいて努力中にもかかわらず、経営形態の見直しは早急すぎる、それも地方独立行政法人化や指定管理者制度の導入やP F Iの導入など、民間企業等の導入に対しては反対である。これらは、採算重視・経営重視になれば、市民のための病院にはならない。	市立川西病院が職員一丸となって、経営健全化計画に取り組み、病床利用率において前年度を大きく上回ることが予想されることは承知しています。しかし、平成29年度以降の新たな具体的な改善策が少ないことなどから、計画は達成できない可能性があります。 今回の改革プラン案は、市立川西病院が将来にわたり、市民に安心で安全な医療を提供していくためには、安定した経営基盤を築く必要があり、現状を考えると、経営形態の見直しを含めた抜本的な改革が必要であると考え、作成しているものです。	A F - 6
244	5 - 2 赤字に対する これまでの対策	病院赤字の原因は病院経営をしっかりと考えてこなかった経営企画方の責任が大きいとおもいます。病院という特殊な環境で、医師、看護師、コメディカル、事務職員に平等にはっきりと、経営戦略を伝え指導し定期的な見直しをもっともっと早い段階で行うべきだったのでは。	地域医療を確保するため、医師確保を最優先に取り組んできましたが、的確な医師のマネジメントによる医業収益の増加策の展開に必要な対策が十分に取れなかったことが現状の経営状況に至ったものと認識しております。P5の「工 事務スタッフの充実」について、しっかりと検討していきます。	A - 3
245	5 - 2 赤字に対する これまでの対策	川西市でずっと暮らしてきました。小さい頃から住み慣れた土地、また子育てを考えると病院が近くにある事はここで住んでいこうと考えたおおきな理由の1つです。子供達3人、川西病院で生まれました。とても安心して出産できたと妻は言っていました。その病院の今後を考えるのに4回の審議会だけで決定されるのは、市民に対してすごく失礼だと思わないのですか。病院の赤字は病院経営をしっかりと考えてこなかった経営企画課に責任はあると思うのですが、そのあたりはどうなっているのですか。	市立川西病院事業経営改革審議会には、過去に策定した改革プラン及び経営健全化計画を踏まえた、市立川西病院の現状を説明したうえで、実効性のあるご意見をいただいたところです。 また、市立川西病院では、これまでの意見を受けて、様々な改善策を講じてきましたが、現状では計画は達成できない可能性があります。 市としましては、将来にわたり、市民に安心で安全な医療を提供していくためには、安定した経営基盤を築く必要があり、現状を考えると、経営形態の見直しを含めた抜本的な改革が必要であると考えています。	D Z - 1
246	5 - 2 赤字に対する これまでの対策	高齢化、人口減少の進むことが予想されるなか、川西市北部の医療を担う目的で設置された病院であることは、設立当初から分かっていたはずである。市民病院で働きたいと志を持って勤めてきたのに、あまりにも早計な対応に、働く意欲をそがれてしまう。職員も不安でたくさん辞職してしまう可能性もあり、今まで患者様、病院をより良くしようと頑張ってきたのに、残った職員だけでは満足な医療ができず、疲弊してしまうだろう。私達、毎日一生懸命働いています。	昭和58年10月の病院開設時は、病床利用率も高く、市からの一定の協力を得る中で、その役割を果たしてきました。しかし、医師や看護師の不足が続く中で、平成26年度決算において経営健全化団体になりました。市立川西病院が、経営健全化計画の達成に向け、様々な改善を実施していることは、病床利用率の向上からも承知していますが、平成29年度以降の新たな具体的な改善策が少ないことなどから、経営健全化計画は達成できない可能性があります。 市としましては、将来にわたり、市民に安心で安全な医療を提供していくためには、安定した経営基盤を築く必要があり、現状を考えると、経営形態の見直しを含めた抜本的な改革が必要であると考えています。	D Q

番号	意見の分類	意見の内容	市の検討結果	提出者
247	5 - 2 赤字に対する これまでの対策	<p>突然の経営改革プランにとまどっている。川西病院近隣で生まれ育ち、貢献しようと思っていた所、突然の解雇通告の様なことをされ、今迄のものは何だったのかと憤りを感じる。病床管理も改善できてきている中で、全ての責任を医療職に押しつけるのはいかなものか。累積赤字も今までの経営企画が悪かったからではないのか。納得がいく様に説明をして頂きたい。</p> <p>又、川西市だけの話になっている様で、川西病院に関わりのある近隣市町村への援助の申し出等されていないのか。利用されている市民にも、きちんと説明されていないのかもしれないかと思う。医療職の生活保障は誰がしてくれるのか。直営を経営改革プランから外してしまうのは、自分達が強制解雇の様な扱いを受けないからできることではないか。長年、病院に貢献し、病床利用率をあげてきた職員に対して、何とも思われないのか。もう1度考えて頂きたい。納得がいく説明と改善を望みます。直営を外す前に、改善しないといけない点は多々あるはずです。医師が替わるたびにリース機材を変更したのも、高い賃金を払って、能力のない医師を呼んできたのも経営企画の方ではないか。その尻ぬぐいが何故私達なのか、全くわからない。</p> <p>又、川西南部へ移転すると、北摂地域の患者の通院ができなくなる。北摂地域の患者をしっかりと確保する為、シャトルバスの運行等考えても良いのではないかと。単に経営母体を変えてしまうよりも、もっと改善するべき点は沢山あるはずです。</p>	<p>市立川西病院が職員一丸となって、経営健全化計画に取り組み、病床利用率において前年度を大きく上回ることが予想されることは承知しています。しかし、平成29年度以降の新たな改善策が少ないことなどから、計画は達成できない可能性があります。</p> <p>今回の改革プラン案は、市立川西病院が将来にわたり、市民に安心して安全な医療を提供していくためには、安定した経営基盤を築く必要があり、現状を考えると、経営形態の見直しを含めた抜本的な改革が必要であると考え、作成しているものです。</p> <p>また、猪名川町、豊能町、能勢町の皆さまの医療の一部を担っている現状から、経営形態の見直しを検討する際に、市立川西病院の医療圏にある他の自治体からの協力を得ることも併せて検討します。</p> <p>平成20年度、21年度にかけて市立川西病院とけやき坂・清和台地区、明峰地区においてコミュニティバスの試験運行を実施しましたが、1便当たり平均乗車人数が約5人であり、持続可能性を担保出来ないとの結果を得ました。病院の立地については、市民、利用者の利便性、スタッフの確保という両面から検討していきます。一方で、現市立川西病院を多く利用している市北部地域の住民等の安心を確保する観点からの検討も行う必要があります。</p>	F O
248	5 - 3 病院経営に対して	<p>経営困難の中、病院スタッフは改善を求めて、日々努力し、急性期救急をうけたり、病床を満たしたりと頑張ってきているが、たった1つの案で経営形態が変わるといわれ、正直モチベーションが下がっている。説明会の時に経営企画の方が「今すぐではないです。4月からとかでもないと思います」と、私達をなだめたかもしれませんが、なぜ、同じ土台で頑張ってきたのに、事務職と医療職の置かれる場所は分かれてしまうのか。経営企画の人は、公務員として変わらないので、私達の危機感とはちがう。家族があり、保障を求めて就職している。安易な説明で納得はできない。そのような心境で、今ももっとがんばれと言われてもモチベーションは上がらない。</p>	<p>病院スタッフが経営健全化に向けて努力されていることは、病床利用率などからも承知しています。</p>	E K
249	5 - 3 病院経営に対して	<p>一部の医師の横柄な態度や言葉により評判が悪化、また、過剰な医療により、赤字は拡大しているように思う。医師がいないと病院は成り立たないことはわかるが、そのような医師に対し、教育をして欲しい(マナー、医療制度についてなど)医師に対する各個人の評価をして欲しい。いい医師も多いが一部のひととしてどうかと思うような発言をする医師もいる。赤字を改善するには、医療者が一丸とならなければならないのにもいつも考えている。また、市民病院は基本的にもうけを重視する場所ではないので、赤字をゼロにするのは難しいのではないかと。思う。</p>	<p>前段のご意見については、P8の「イ 経営感覚に富む人材の登用及び事務職員の人材開発の強化」に記載しているとおり認識しています。後段については、公的医療を担うために、P2の「(3)一般会計負担の考え方」に記載している繰入があるわけですから、公立病院であっても経常黒字を目指すことが原則であると考えています。</p>	F N - 2

番号	意見の分類	意見の内容	市の検討結果	提出者
250	5 - 3 病院経営に対して	病院の経営が良好でないのは誰の責任とかそういう問題ではなく、病院で働いている者として、毎日必死に仕事をしています。忙しくても患者様の命を守るために年休も充分にとれず人員不足の中でも働いています。どんな状況であっても毎日必死なもの伝わらずこういったプランが立ったことにとても動揺します。この病院が市立病院でなくなる時、経営企画の方々は市役所に戻るのので良いと思いますが、私達のメリットは何ですか...。このプランが立案した時、たくさんの看護師内で辞める話も聞きました。その辺も十分に考えた上で今後の方針を進めていった方がいいと思います。	病院スタッフが経営健全化に向けて努力されていることは、病床利用率などからも承知しています。後段については、ご意見を踏まえて検討を進めていきます。	F H - 1
251	5 - 3 病院経営に対して	4ページの2、経営の効率化「現状における経営上の課題」の中に、事務スタッフの充実に記載された論述に違和感を覚え、異議をと냅니다。 (理由) 「病院職員をコントロールして最適化を図る人材がいらない」という記載がありました。単に事務系職員の資質の改善や、機能発揮が出来ていないという視点で取り上げたようにも見えます。だが、病床利用率の向上や診療科ごとの収益分析は、病院経営に直結するきわめて重要な柱です。人材はもらうものではなく、育てることが大切です。本件は病院事業管理者、経営企画部長等病院のトップが直接的に指揮管理すべき課題ではないかと思えます。統括管理すべき方がこのような問題意識と現状認識をしていることに、驚きと失望を覚えました。院内の責任ある立場の方々が、今後公立病院として生き残りをかけながら、どのように新改革プランを具体化されるのか多くの市民が目撃し、期待しています。	地域医療を確保するため、医師確保を最優先に取り組んできましたが、的確な医師のマネジメントによる医業収益の増加策の展開に必要な対策が十分に取れなかったことが現状の経営状況に至ったものと認識しております。P5の「工 事務スタッフの充実」について、しっかりと検討していきます。	C H - 3
252	5 - 3 病院経営に対して	市民病院では小児科で大変お世話になり、急な診察のお願いでも快く診察していただき、スタッフの皆様もとても親切でした。医師の確保に病院の立地条件が関係しているようですが、それはもっと以前からわかっていることであり、北部へ建てた時点で考えておくべき問題だったと思います。経営の悪化は病院事業管理者、スタッフのみの責任ではなく、市の責任です。病院関係者のみに責任を押し付け、市から切り離すような案はいかがなものでしょうか。	医師の確保につきましては、これまで処遇改善を行うなどの投資を行ってまいりましたが、十分な成果を上げるまでには至っていません。病院の立地については、市民、利用者の利便性、スタッフの確保という両面から検討していきます。一方で、現市立川西病院を多く利用している市北部地域の住民等の安心を確保する観点からの検討も行う必要があります。	D D - 2
253	5 - 3 病院経営に対して	看護師宿舎をもっと改善してほしい。お湯が出なかったり、風呂の湯が出なくなって数ヶ月寮の風呂が使えない時もあったり、不便なことが多々あった。この状況ですぐに退寮してしまうと思った。	看護師の確保という観点で、ご指摘の意見を踏まえ、検討していきます。	E M - 2
254	5 - 3 病院経営に対して	看護師寮ですが、住むのには充分だと思いますが、お湯（キッチン）が出ないのは、早めの対処等をしていく必要があったと思います。		F H - 2
255	5 - 3 病院経営に対して	・病院事業管理者 改革プランにもあるが、事務スタッフの人材育成ができていないし、育成できる人材もなしとのことなので、現場の人材育成だけでなく経営改革ができる民間指導者を期間限定でも是非採用すべきです。現状のような病院事業管理者に医療業務と人事と経営などすべてを広範囲にまかせるのは絶対に無理である。	ご意見については、P5「工 事務スタッフの充実」のとおり、大きな課題であると認識しています。	D - 7

番号	意見の分類	意見の内容	市の検討結果	提出者
256	5 - 3 病院経営に対して	市立川西病院事業新経営改革プラン（案）で現状はしっかりと述べられていると思われるが、2経営の効率化の中の（1）現状における経営上の課題と（2）課題解決の手段で述べられている解決策に対する具体的な案が、4経営形態の見直しとなっており、安直な人件費削減（しかも医師を除く看護師やメディカル、補助者や事務）としか見受けられない。申し少し具体的に述べると、地方独立行政法人や指定管理者制度、PFI導入を行っても医師の人件費が削減されるとは到底考えられず、（医師の人件費まで削減されればさらに医師の確保に難渋する）課題解決の手段になっていない。2（3）経営指標に係る数値目標設定において、イ経費削減にかかるものとウ収入確保にかかるもの、エ経営の安定性にかかるものを見るだけで、いかに川西病院に収益を上げていない医師がいるかということは一目瞭然である。そういった現状分析せずに（していたとしても具体的な対策を取らずに）経営形態の見直しをしては何の問題解決になるのか理解できない。具体的な市の検討結果を望む。そもそも、2（1）現状における経営上の課題でキ病院施設の老朽化において県の地域構想に沿っての再編・ネットワーク化が述べられているにもかかわらず、（2）課題解決の手段の中には具体的な案が盛り込まれていない。3（2）再編・ネットワーク化に係る留意事項の中に阪神北圏域に属する伊丹市、宝塚市との連携や猪名川町、豊能町、能勢町からの何らかの協力を求めていくことが必要とまで述べられているのに、4経営形態の見直しになぜ一部事務組合の設立や近隣町との連携が入っていないのか。 安易な経営形態の見直しはさらなる地域医療の混乱のもとになるのは明白であり、公平・公正なプラン策定を望む。	ご意見のとおり、P6～P8の各表から非効率的な職員配置になっていると思われるが、この解決にあたっては、現在の病院事業の経営形態を継続することでは乗り切れないと考えており、ついでに、思い切った方向転換について検討する必要がありますと考えております。	E P
257	5 - 3 病院経営に対して	新たな人事制度の導入、改定により現スタッフの不安、人材確保など負担が大きいのではないかと思います。	ご意見を参考に検討していきます。	DB - 2 ER - 2
258	5 - 3 病院経営に対して	・経営の効率化 全国の公立病院、民間病院との比較 川西市と環境が似通った市町（規模・人口等）との比較が必要		AW - 4
259	5 - 3 病院経営に対して	・効率的な人材配置 診察と検査部門の人材配置は適切であるが、正面窓口と地域医療連携室は職員が多すぎる。現在は解消されているかも知れないが、以前、薬局宛FAX担当などは典型的な非効率配置で他病院ではあまり見たことがない。それと、初診患者への案内はボランティアを活用すればよい。宝塚市立病院ではずいぶん前から活用しており好評である。	ご意見を踏まえ、効果的で効率的な人材配置に努めます。	D - 8
260	5 - 3 病院経営に対して	川西市北部の医療は、市としての責務です。病院経営状況が悪い理由は明らかにすべき。市の広報等の数行説明では分かりにくい。経営責任も明らかでない。	市立川西病院では、過去に策定した改革プランや経営健全化計画を受けて、様々な改善策を講じてきましたが、現状では計画は達成できない可能性があります。その大きな原因は、P6からP8の各表で示されているとおり、公営企業の高コスト体質にあると考えています。	DI

番号	意見の分類	意見の内容	市の検討結果	提出者
261	5 - 3 病院経営に対して	建て替えるのであれば、どこになるのか場所を早く決めてほしい。今よりも通勤（バス、電車）が不便になるのであれば通勤できない。働く側からすれば公務員は大きな利点だと思う。累積赤字を全て職員のせいにし解雇というのは毎日忙しく働いている職員に対して失礼。赤字だから切りすてる様な感じがする。一番働いている医療職を解雇するのはどうなのか。自分達は公務員のままで害があるわけではないから他人事なのか不思議で仕方ない。	病院の立地については、市民、利用者の利便性、スタッフの確保という両面から検討します。一方で、現市立川西病院を多く利用している市北部地域の住民等の安心を確保する観点からの検討も行う必要があります。 また、病院スタッフが経営健全化に向けて努力されていることは、病床利用率などからも承知しています。	F M
262	5 - 3 病院経営に対して	経営改革は必要だと思います。市の財政が悪化しているのは指摘があります。赤字を前提とした組織は維持できないと考えています。また、勤務している医師、例えば外科部長や副院長といった上級の指導者クラスの医師が「病院の将来はない」という類の悲観的な将来像を持っております。こういう中級以下の勤務意欲を削ぐような雰囲気は漫然と維持されているからかかか事態になったのかはよくわかりませんが、現行のまま維持することは難しいと考えています。しかし、提示された経営の改革案には不安があります。いずれの選択肢も経営母体が変わります。市の提案の根本が「金がないので何とかする」ということであるため、経営母体が変わることで提供する医療の質を劣化または大幅に変更することもありうるためです。自分たちが今まで行ってきた、少なくともevidenceとして間違っていないことも含めて医療の内容を問われかねないことになり、現在行っている日々の診療も含めて、大変不安な日々を送っております。	経営形態の見直しに関して、考えられる選択肢として、P11に3つの経営形態を記していますが、いずれの民間的経営手法を選択する場合でも、公的医療については市が求める一定の水準は守ることになるとともに、市はすべてを任せるとはならず、パートナーとして事業運営にかかわっていく必要があると考えています。	F X - 1
263	5 - 3 病院経営に対して	新公立病院改革ガイドラインによると全公立病院892病院中約5割が黒字になっているなか、川西病院の新経営改革プラン案では、医療内容のどこが問題で、川西病院の赤字が続いているのか、何が問題なのか明らかになっておらず、単に収支を黒字化するための計画と思える。これでは、経営者が変わっても、赤字が続くか、現在よりも医療の質が落ちる可能性がある。 地域住民の医療を将来にわたって支えるためにも、現在の川西病院の医療内容における問題点を検討し、医療内容についての改革プランを考える必要があるのではないのでしょうか。特に、地域医療構想にあるように、阪神北地域に不足している高度急性期医療、回復期医療の充実等も考慮した医療改革プランが、長期的に経営を改善するためには必要であると思います。	将来にわたり、市民に安心で安全な医療を提供していくためには、安定した経営基盤を築く必要があり、現状を考えると、経営形態の見直しを含めた抜本的な改革が必要であると考えています。 また、市立川西病院が公立病院として具体的に担っていく役割等については、民間病院も巻き込んだ中で検討していく必要があると考えています。	A P
264	5 - 4 これまでの計画等との整合性	1頁 経過を無視して独立行政法人化するべきではない 平成21年3月に「市立川西病院事業経営改革プラン」を策定し、平成23年3月に同プランの改定を行い、川西病院の改革を続けてきましたが、平成28年3月には市議会の承認を得て経営健全化計画が策定されたばかりです。これまでは、市立病院としての改革を目指してきました。なぜ急に川西市が直接責任をもつ市立病院ではなく、独立行政法人化や指定管理、PFIの方向をたすのですか。	市立川西病院が職員一丸となって、経営健全化計画に取り組み、病床利用率において前年度を大きく上回ることが予想されることは承知しています。しかし、平成29年度以降の新たな具体的な改善策が少ないことなどから、計画は達成できない可能性があります。 今回の改革プラン案は、市立川西病院が将来にわたり、市民に安心で安全な医療を提供していくためには、安定した経営基盤を築く必要があり、現状を考えると、経営形態の見直しを含めた抜本的な改革が必要であると考え、作成しているものです。	O - 1

番号	意見の分類	意見の内容	市の検討結果	提出者
265	5 - 4 これまでの計画等との整合性	「平成27年度から平成28年度を計画期間とする経営健全化計画を平成28年3月に策定した」と書かれているように現在努力中なのになぜ急いで新たな「市立川西病院事業新経営プラン」(案)を出すのですか?経過を無視しているといえます。		A F - 1
266	5 - 4 これまでの計画等との整合性	1頁 はじめに 市議会の承認を得て、平成27年度から平成30年度を計画期間とする経営健全化計画を平成28年3月に策定したところです。この計画がスタートしたばかりであり、その結果も出ていない段階でなぜ今回のプランの作成を急ぐのですか。理解できません。	市立川西病院が職員一丸となって、経営健全化計画に取り組み、病床利用率において前年度を大きく上回ることが予想されることは承知しています。しかし、平成29年度以降の新たな具体的な改善策が少ないことなどから、計画は達成できない可能性があります。 今回の改革プラン案は、市立川西病院が将来にわたり、市民に安心して安全な医療を提供していくためには、安定した経営基盤を築く必要があり、現状を考えると、経営形態の見直しを含めた抜本的な改革が必要であると考え、作成しているものです。	B T - 1
267	5 - 4 これまでの計画等との整合性	市立川西病院はまず市民、住民のためにあるべきであり、そのためには公立病院として残すべきです。昨年3月には市議会の承認を得て経営健全化計画が策定されたばかりではありませんか。それを独立行政法人化や指定管理、PFIの方向をなぜ出すのですか。そうすれば採算重視、採算優先の経営になり、公的病院としての役割は果たせなくなるのではないのですか。市民、住民の健康・命を考えるのが第一です。		E E - 1
268	5 - 4 これまでの計画等との整合性	平成21年3月病院改革プラン、平成23年3月改訂版の策定と計画的実施が有ったと思うが、にも関わらず健全化計画の指定を受けることになったことについての責任問題と総括を十分行わずに、この建て替えのリミット(法定耐用年数39年)が、目前に見えるようになったからと言って、拙速に経営形態の変更を議論する姿勢に不信感を抱く。いままでは一体なんやったんですか。公営企業として改革できる展望があったので、様々な取り組みを行い、職員にはいろいろな忍耐をしてもらってきたのではないか。お尻に火が付いたからと言って、いきなり独法化、指定管理者制の導入議論はないのではないか。まず総括、計画の失敗の原因追及と責任問題を明らかにするべきです。それから古い話になるが、そもそもこの地に、なぜ市民病院を持ってきたのか。市役所の横にあった旧病院の時から赤字の体質であったと聞くが、十分なマーケットリサーチをやったのか、北部に移転するにあたって、どういう調査をしたのか、商売としてやっていけるかの確認は十分やったのか。展望もないのに、この地に病院を移転したのか。これら過去からの現在に至る負の歴史の検証を徹底して実施してほしい。そしてそれを開示してほしい。未来の方向性を語るのはいずれからである。	平成26年度決算において経営健全化団体となった経過については、平成28年3月に策定した経営健全化計画に記載されているとおりです。市立川西病院では、経営健全化計画に基づき、様々な改善策を講じてきました。平成28年度は病床利用率において、対前年度比で大きく伸ばすなど一定の成果をあげましたが、平成29年度以降の新たな具体的な改善策が少ないことなどから、現状では計画は達成できない可能性があります。 また、現状では、市立川西病院は市内北部地域、猪名川町、豊能町、能勢町の入院機能提供の中心的な役割を担っています。昭和58年10月の病院開設以降、約20年間は病床利用率も高く、市からの一定の協力を得る中で、その役割を果たしてきましたが、現在では医師や看護師の不足、診療体制の縮小とともに、診療報酬改定の影響などにより、経営赤字が深刻化しています。	B P - 1
269	5 - 4 これまでの計画等との整合性	前段では、経営健全化計画を策定したというこれまでの経緯が記載され、中段以降に本プランを策定する理由(国のガイドラインによる)とある。経営健全化を喫緊の課題として計画を策定し取り組んできたのであれば、まずはその計画を検証し不足あれば補う内容にすべきではありませんか。	市立川西病院は経営健全化計画に取り組み、病床利用率において前年度を大きく上回ることが予想されます。しかし、平成29年度以降の新たな具体的な改善策が少ないことなどから、計画は達成できない可能性があります。 今回の改革プラン案は、市立川西病院が将来にわたり、市民に安心して安全な医療を提供していくためには、安定した経営基盤を築く必要があり、現状を考えると、経営形態の見直しを含めた抜本的な改革が必要であると考え、作成しているものです。	G A - 1

番号	意見の分類	意見の内容	市の検討結果	提出者
270	5 - 4 これまでの計画等との整合性	<p>そもそも経営形態については、平成28年3月に公立病院としての「経営健全化計画」が策定されているのに、新「改革案」ではその経緯が無視されており、広く市民からの意見・要望を募った形跡もない。「経営形態の見直し」論拠の中心は、「市からの財政支援の限界」であるが、病院会計だけを取り出して「採算割れ」だから『放棄』を云々することはマトはずれである。川西市の全体の財政規模のうち病院への『10億円財政支援』が、どれほど他の行政活動を圧迫しているのか、説明がない。中央北地区開発・キセラ開発での失政、ムダ遣いを聖域扱いすべきではない。病院の老朽化による建て替え事業も差し迫っての課題ではなく、当面の補強・改装で対応できる問題である。</p>	<p>当プラン案は、過去に策定した改革プラン及び経営健全化計画における様々な分析を踏まえ、市立川西病院の現状をみたくうえで、作成しています。</p> <p>市の支援の状況については、P4の「ア 市立川西病院の赤字経営と市の支援」に記載しているとおりです。</p> <p>また、市立川西病院は開設以来33年が経過し、法定耐用年数である39年に近づきつつあります。配管・空調系統をはじめとした施設の老朽化も進み、医療機器の更新や手術室の新たな整備に対して、設備上の対応が困難となっていることから、将来にわたり、市民に安心で安全な医療を提供していくために、建て替えを行う必要があります。</p>	Y - 2
271	5 - 4 これまでの計画等との整合性	<p>・全体について 24～25年度川西病院あり方検討委員会、25年度、28年度の川西病院事業経営改革審議会、答申内容、および、ここ数年間の市議会の川西病院に関する議事録をすべて閲覧して改めて以下のように感じた。</p> <p>審議会答申内容は今までの審議会等で議論されてきた課題を再掲したものに過ぎず、あとは行政側が決定せよとのことだった。今まで行政側は具体的な改革プラン作成の繰り返しで、方向性を何も決められないし、また、再編、連携先候補の医療機関との仲介者がない川西病院の現状から、経営形態も含めて答申にはこの方策しかないというズバリの結論を期待していた小生は少なからず落胆を覚えた（しがらみや責任問題が影響したのか、行政側から断定的な表現を避けよという要請が事前にあったのかは定かではないがおそらく全部が該当するのであろう）。これなら経営改革プランの具体的な方向づけは数年前に結論が得られたはずで、結局、審議会の答申に行政側の背中を押してもらった効果があったことは評価ができるが、時間とコスト（人件費やコンサル費用など）が無駄になったのは否めない。最終の新公立病院改革ガイドラインが27年3月に発表されたが、この内容は以前から関係者には周知されていたもので、おそらく病院関係者には特段目新しいものではなかったのではないかと推察する。医師の退職もあり関係者には経営改革プランどころではなかった状況は理解できるが、国の改革ガイドラインや県の地域医療構想が発表されるまで経営改革プランが策定できないとの市議会での行政側の先送り答弁に見られるスピード感のなさには失望した。</p> <p>以上大変厳しい意見を述べましたが、行政側には決断力を備えた強力なリーダーシップとスピード感を持っていただきたい。</p>	<p>ご意見を踏まえ、検討を進めていきます。</p>	D - 1
272	6 - 1 医師の確保策	<p>・収益の減少 理由として：患者数の減少。医師の給与と医療機器の充実。 これらの事柄は特に今始まったものでなく今後も努力を続ける必須項目です。医師の確保について、どのような病院が魅力ある病院かサーチして積極的にアピールをしているのかお伺いしたい。緊急で入院手術は紹介で別の病院へ搬送。手術を終えて回復時期を見るような患者が増えています。このような行為は開業医の分野だと思います。</p> <p>・地域医療構想 緊急病院を川西市内で見ると、南部：協立病院、中部：ペリタス病院、北部：市立川西病院となっています。北部の市民病院は猪名川町、豊能町、能勢町に接し地域の医療としての役割があります。</p>	<p>医師の確保につきましては、これまで給与面での処遇改善等を実施してきましたが、病院の利便性の向上、高度医療の提供、手術件数の増、医療機器の充実等を図る必要があると考えています。また、ご意見のとおり、それぞれの医療機関が担うべき役割の明確化も進める必要があります。</p>	F B - 1

番号	意見の分類	意見の内容	市の検討結果	提出者
273	6 - 1 医師の確保策	大学医局から医師を派遣しやすい環境にも配慮した立地を検討する必要があるとあるが、具体的な条件がわからない。立地を変更すれば、本当に医師が派遣されるのか。	医師の確保につきましては、これまで給与面での処遇改善等を実施してきましたが、病院の利便性の向上、高度医療の提供、手術件数の増、医療機器の充実等を検討する必要があると考えています。病院の建て替えにあたっては、大学医局から医師を派遣しやすい環境に配慮することも必要であると考えています。	D J - 1
274	6 - 1 医師の確保策	・医者募集 市議会で医者獲得にはアクセスの悪い北部では駄目だと主張する市議がいるが、車社会の現在はあまり関係ない。そのようなことより、世間並の待遇であれば優れた専門指導医と医療機器環境が最優先されるもの。それと、川西近隣出身者で遠方勤務の医者の中でも郷里近くで勤務したいという医者もあるということも聞く、このような医者へのアプローチ手段も有効である。	ご意見を踏まえた医師の確保も検討してまいります。	D - 1 0
275	6 - 1 医師の確保策	・医療収益アップのために外科医の補充 一定規模の病院なのに手術件数が少ないのは一貫した治療が期待できないとはじめから敬遠されるのでは是非外科部門を充実してほしい。	手術件数の増加を図り、外科系医師の確保につなげる必要があります。	D - 6
276	6 - 2 医師数、医師一人あたりの収入	・P6およびP7の表において 「職員給与費対医療収益率」が全国平均より高いことや、「入院患者数や外来患者1人1日当たりの診療収入」が全国平均以上なのに「医師や看護師1人1日当たりの診療収入」が少ないことは、医師や看護師が過度に待遇されているか人数がダブついているということ？ 課題解決策に挙げられている職員の勤務条件優遇や増員のみで、有用な人材確保が可能とは思えません。実効性のない経費の無駄使いなのでは？	ご意見のとおり、医師・看護師の1人1日当たりの診療報酬については、全国平均を下回っており、効率的な職員配置になっていない状況です。	A X - 5
277	6 - 2 医師数、医師一人あたりの収入	病床100床当たり医師数は、26年度において全国平均を大きく上回っているのに本当に医師不足なのか。	平成27年度においては、整形外科診療体制の充実もあり、医師不足は概ね解消したものと考えています。	D J - 3
278	6 - 2 医師数、医師一人あたりの収入	医師1人1日当たりの診療収入が全国平均より約20%低いのが、赤字の大きな原因ではないのか。	ご意見のとおりと考えております。	D J - 4
279	6 - 2 医師数、医師一人あたりの収入	医師1人当たりの診療収入の少なさが気になりました。医師が働かないのは病院に働かなくてもいいという雰囲気があるからではないでしょうか。経営形態の見直しの前に、院長だったり経営部門の職員だたりが指導をして、医師がより多くの診療収入を得るような働きをさせるのが先だと感じます。最近患者が多く、特に月曜、木曜は病院駐車場が満杯で路上駐車をしている人が目立ちます。本当にこの立地がダメなのか疑問です。市立川西病院がなくなれば川西市北部の住民だけではなく、周りの町の方も困ります。	医師1人当たりの収入の少なさのご意見については、原因を探っていきます。病院の立地については、ご意見を踏まえ、検討していきます。	D R - 1

番号	意見の分類	意見の内容	市の検討結果	提出者
280	6 - 2 医師数、医師一人あたりの収入	川西病院で医者的人数は全国平均より多いと聞きました。高い給与で事業管理者を呼んだにも関わらず、当局が連れてくる医者は、1人あたり稼ぎが少ないようです。医者の人件費ばかりかかり収益がないのはいかがなものか。まず、事業管理者を含め、医者の年収開示及び1人あたりの収益を開示するべきと考える。当局のしわ寄せを一生懸命働いているスタッフ、市民病院をたよりにきている患者だけに責任を取らせるのはおかしいと思う。北部にはなくてはならない病院であるため、早急に見直し願いたい。	医師1人あたりの収入の少なさのご意見については、原因を探っていきます。	D U
281	6 - 3 建て替えの必要性	財政が厳しいなら急いで建て替え計画をつくる必要はないと考えます。		A C - 1
282	6 - 3 建て替えの必要性	赤字の中で病院の建て替えは必要かどうか。鉄筋コンクリート造りは60～80年の耐用年数があるといわれている、なぜ急ぐのかもっと住民参加で川西病院のあり方を考えるべきです。		A F - 5
283	6 - 3 建て替えの必要性	建築学会によると鉄骨・鉄筋コンクリート造りの寿命は、一般的には、80年前後が平均寿命と言われています。60～68年の説もありますが、大阪市の住吉市民病院は、1950年設立で築68年を耐用年数としていました。1981年5月以降の建物は、新耐震基準となっており、従って、39年（固定資産税、経済的側面から見た一つの目安に過ぎない）の耐用年数を流布することは妥当ではありません。建て替え案は、財政不足の中、二重に不要です。		A S - 5
284	6 - 3 建て替えの必要性	まず川西の財政が厳しいことは判っているので、今ある問題点・改善点を広く集約、職員、市民、行政が一体となって、実行可能な事から即進め、建て替えにかかる費用（税金）を改善点へ使う方が少なく無駄を省けるのではと思います。	市立川西病院は開設以来33年が経過し、法定耐用年数である39年に近づきつつあります。配管・空調系統をはじめとした施設の老朽化も進み、医療機器の更新や手術室の新たな整備に対して、設備上の対応が困難となっていることから、将来にわたり、市民に安心で安全な医療を提供していくために、建て替えを行う必要があります。	A Z - 1
285	6 - 3 建て替えの必要性	市民病院の施設の老朽化について、法定耐用年数に近づいたので建替えるという点について、病院に行って建物を見てみました。壁の一部の塗装がはがれている程度で、改修等の処置でまだまだ使えるのではないかと感じました。専門家に依頼して調査し、意見を聞いてはいかがでしょうか。		C G - 1
286	6 - 3 建て替えの必要性	・築後 30 年で老朽化？ 耐用年数はまだまだあると思いますが、それでも老朽化で設置移転を考えるには如何でしょうか。耐用年数以上は補強などで凌ぎ、耐用年数以上は利用するのが当然の行為と判断します。		F B - 2
287	6 - 3 建て替えの必要性	財政を圧迫する理由として病院施設の老朽化に伴う病院の建て替えがあげられていますが、法定耐用年数の39年が近づいているため建て替えなければならないように強調されています。しかし、日本建築学会の見解では鉄筋コンクリートの建造物は耐用年数は60～80年を目標とすべきとしており、建て替えは喫緊の課題ではありません。財政健全化を問題にするならば当面現在の施設を活用すべきではないでしょうか。		F D - 2

番号	意見の分類	意見の内容	市の検討結果	提出者
288	6 - 3 建て替えの必要性	建物の老朽化に伴う立て替えの必要性は、どの程度急がれるものかわからないが、現状外観と内部の状況から見る限り、現状のままでも十分使用可能と考えます。もし耐震補強の必要性があるのであれば、それを優先して改修を行えば良いのではないのでしょうか。また病室数等を増やすことについて、経営上から必要と判断するのであれば、耐震補強と共に増築の検討をすればよいと考えます。	市立川西病院は開設以来33年が経過し、法定耐用年数である39年に近づきつつあります。配管・空調系統をはじめとした施設の老朽化も進み、医療機器の更新や手術室の新たな整備に対して、設備上の対応が困難となっていることから、将来にわたり、市民に安心して安全な医療を提供していくために、建て替えを行う必要があります。	F Q - 1
289	6 - 3 建て替えの必要性	老朽化に伴う施設の更新とあるが、後述を見るとまだ33年しか経っていない。他の自治体の公立病院では、50年、60年を超えても健在な施設も多々ある。なぜ「更新が不可避」と決めつけるのでしょうか？市の財政も厳しいなか、「建て替えありき」はおかしい。「長寿命化あるいは更新などの対策が必要」とすべき。		GA - 2
290	6 - 3 建て替えの必要性	「住民の理解」との名目で、突如「立地や再編を考える」とある。現在地は失敗だったとの暗黙の了解となっているのか。前項でも指摘したが、財政難であれば「建て替えありき」の考えがおかしい。		GA - 5
291	6 - 3 建て替えの必要性	財政が厳しいなか、「建て替えによる整備を基本」と考えるのが異常です。建て替えなければならぬ理由（建築品質に問題）があるのでしょうか？民間企業での考え方が、原価償却期間を越えてうまく利用することで収支改善を図ります。身の丈に合わせ「長寿命化」などに切りかえるべきでは。		GA - 9
292	6 - 3 建て替えの必要性	・病院施設の立地 建て替え、移転の意図が前面に表れています。今回のプランが「建て替え」が前提とされていることが、この項ではっきりとしてくる。財政難であれば、「建て替えありき」の考えを改めるべき。		GA - 10
293	6 - 3 建て替えの必要性	市立川西病院は建物の耐用年数が近づきつつあり、建て替える必要があるとしています。川西市は財政が厳しいと言いながら、急いで建て替える必要があるのでしょうか。また、建て替えることについてはPFI方式を考えているのでしょうか。第3回の川西病院改革審議会では、病院のPFIは専門的ノウハウが必要で川西では無理とされていたのではないですか。全国でもPFI方式の病院が相次いで経営破たんしているではありませんか。どうして改革プランでPFI方式を選択肢に復活させたのですか。市立川西病院の建て替えは急ぐ必要はなく、もっと住民の声を聞き、反映すべきです。		EE - 2

番号	意見の分類	意見の内容	市の検討結果	提出者
294	6 - 3 建て替えの必要性	5頁 財政が厳しい中で急いで建て替える必要はない 川西病院は法定耐用年数である39年に近づきつつある病院を建て替え、公立病院の存続を図るためには、県の地域構想に沿って医療機関の再編・ネットワーク化などの抜本的な病院経営改革を行って、地方債、地方交付税支援などの財源対策を講じていく必要があるとされています。しかし、鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄骨造などの構造の建築物は、普通の品質の場合であれば60年から80年が目標とすべき耐用年数とされています（日本建築学会「建築物の耐久計画に関する考え方」）。川西市は財政が厳しいといながら急いで建て替え計画をつくり、運営方式も独立行政法人に変えるなどというのは矛盾しています。もっと時間をかけて、住民参加で川西病院のありかたを検討するべきです。	鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造のうち病院の場合は法定耐用年数が39年であり、開設以来33年が経過し、配管・空調系統をはじめとした施設の老朽化も進み、医療機器の更新や手術室の新たな整備に対して、設備上の対応が困難となっていることから、将来にわたり、市民に安心で安全な医療を提供していくために、建て替えを行う必要があります。	O - 5
295	6 - 3 建て替えの必要性	老朽化による病院の建て替えは、病院事業の命運を握る最重要一大プロジェクト事業であろうと思います。将来を見据え英知を結集し、適時な整備方針の決定のもと、市民の十分な理解をも得て、着実に整備されるよう強く願っています。	ご意見を踏まえ検討していきます。	A R - 6
296	6 - 4 地域包括ケアシステム	地域包括ケアシステムの構築について、十分な準備がされず、実行に移されることを心配します。	地域包括ケアシステムの構築に向けては、公立病院として、介護保険事業者との整合性を図りつつ、在宅医療に関する役割、住民の健康づくりの強化にあたっての具体的な機能、緊急時における後方病床の確保などについて検討していきます。	C P - 3
297	6 - 5 経営の方針	この改革プランの策定・着実な展開には、当病院事業の今後の存在意義、経営理念、経営方針など基本的な経営の有り様について、改めて明確化が緊要と思います。市では、今後、病院事業経営理念等の明文化とその啓発についてどのようにお考えか伺います。	市立川西病院は、昭和58年10月の開設以降、本市の基幹的な公的医療機関として、当院の存在意義を示す理念と基本方針を以下のとおり定めており、引き続き啓発に取り組んでいきます。 ・理念 市民及び地域住民の安心と信頼が得られる病院づくりと、良質な医療の提供をめざします。 ・基本方針 1．患者様の立場に立った医療を行います。 2．医療の質の向上に努めます。 3．病状と治療方法について十分な説明を行います。 4．保健・医療・福祉の連携強化に努めます。 5．病院のアメニティの向上に努めます。 6．患者様から信頼される病院づくりを基本に経営の健全化をめざします。	A R - 3
298	6 - 5 経営の方針	当病院事業の経営改善は、根幹である医業収支の不採算となっている部分の扱いをどう的確に対処し、改善するにかかかっており、この部分にメスを入れなければなりません。また、併せて、今日的な課題である他の医療機関との再編・ネットワーク化などの抜本的な病院経営改革も推進しなければなりません。人は健康体に戻る強い希望で、手術のどんな痛みにも耐え抜けます。市立川西病院でも同様で、存続するためには、痛みもある大胆な改善案・抜本的な経営改革案も改革プランに組み入れなければと思いますが、どのようにお考えでしょうか。	ご意見のとおり、抜本的な解決策を講じるが必要であり、再編・ネットワーク化の取り組みを行うとともに、経営形態の見直しをはじめとした思い切った方向転換について検討する必要があると考えております。	A R - 5

番号	意見の分類	意見の内容	市の検討結果	提出者
299	6 - 5 経営の方針	川西市は南北に細長い地形であり、南部には利用できる病院が多数あるのに対して、北部にはありません。この川西病院を北部地域の拠点にすることは必然になると思います。公立病院はどこの市も不便な場所に立地しているものが多いので、それは赤字の理由にはならないと考えます。今こそ、きちんと経営責任を問ひ、この病院としての組織を正しく運営し、存続できる方向へ真剣に考えて頂きたいです。	当プラン案は、過去に策定した改革プラン及び経営健全化計画における様々な分析を踏まえ、市立川西病院の現状をみたうえで、作成しています。病院の建て替えにあたっては、市民、利用者の利便性、スタッフの確保という両面から検討していく必要があると考えています。 また、市立川西病院では、経営健全化計画に基づき、様々な改善策を講じてきました。平成28年度は病床利用率において、対前年度比で大きく伸ばすなど一定の成果をあげましたが、平成29年度以降の新たな具体的な改善策が少ないことなどから、現状では計画は達成できない可能性があります。市としましては、将来にわたり、市民に安心して安全な医療を提供していくためには、安定した経営基盤を築く必要があり、現状を考えると、経営形態の見直しを含めた抜本的な改革が必要であるとと考えています。	D E
300	6 - 6 プラン内容への 質問・要望	P2 下段の上2行目、「基本原則を前提として、公的医療部分の繰出基準をベースにした負担」とありますが、例えば後者の基準は、前者の原則とどう違い、今までの取り扱いとどう変わるのですか。その変更理由は。	現行の繰り出し基準は、国が定める地方公営企業繰り出し基準をもとにして市が独自に定めており、病院の経営を支えてきました。病院の今後は運営体制の見直しにあたっては、基本原則を前提として、その基準の見直しを検討しようとするものです。	A R - 8
301	6 - 6 プラン内容への 質問・要望	P5 - 18行目、「市立川西病院の整備に向けた考え方」、、、、とありますが、それはどのような組織で決められ、また、その経緯は公表されたのでしょうか。更に、それをこのプランに先駆けて決められたのは、急ぐ病院の健全化計画書の策定に当たっての前整理のためでしょうかお伺いします。	平成24年度から2か年をかけ市立川西病院の建て替えも視野に入れた市立川西病院あり方検討委員会を設置し検討を行いました。平成27年3月に国から新たな病院改革プランの策定を求めることが示されたため、平成27年5月時点での市の考え方を「市立川西病院の整備に向けた考え方」として議員協議会で説明したものです。あり方検討委員会の委員には、学識経験者、医師会、市民代表、県民局等7名で構成されていました。	A R - 10
302	6 - 6 プラン内容への 質問・要望	P9 - 下段の上2行目、「後方病床」とは別表1のどの欄のことですか。	急性期以上の病院を想定しています。	A R - 15
303	6 - 6 プラン内容への 質問・要望	P11、3選択肢を調べますと、例えば病院への各民間手法導入における事業可能範囲が異なりますが、資料にその記載がなく、全体説明の精査をお願いします。	各経営形態を比較するときには、P11の記載内容やP14の別表2に記載しているメリット、デメリット以外にもさまざまな点において検討の必要があると考えておりますが、当プラン案の記載としては原案のとおりとし、今後、その点も踏まえて最も適した経営形態の見直しを早急に検討していきます。	A R - 18

番号	意見の分類	意見の内容	市の検討結果	提出者
304	6 - 6 プラン内容への 質問・要望	P15 別表中、計画期間中の医業収益の料金収入にかなりの伸びが見られますが、その根拠・理由と実現可能性 参考に、26年度の巨額な特別損失約16億円の内容とその原因と27年度退職給付費0円 についてお尋ねします。	<p>期間中の医業収益増加の見込みについては、課題であった整形外科の診療体制が整ったことと、患者受入の前提となる病床について、休床中の病棟を再開するなどし35床を増床できたことによるものです。</p> <p>実績として、入院・外来の収益合計で、平成26年度から平成27年度で4億5千万円の増になったところであり、平成27年度から平成28年度では2億8千万円の増と見込んでいます。</p> <p>現時点においては、患者数の増は見込めるものの、国による診療報酬の改定の動向もあり、収益見込額を確保することが厳しい状況となっています。巨額の特別損失については、会計基準の見直しによるもので、賞与引当金約1億3千万円、法定福利費引当金約2千3百万円、退職給付引当金約14億8千万円、貸倒引当金約4百万円を計上したものです。</p> <p>平成27年度の退職給付費については、直接退職金を支払う退職手当組合との関係において、団塊世代の職員の退職との関連などから、実際の負担増が生じなかったことによるものです。</p>	A R - 2 0
305	6 - 6 プラン内容への 質問・要望	別表第3、収支計画の収益的収支の支出について、医師の確保が課題としながら30 - 32年度の職員給与費は同額、しかも、それは29年度より約26百万円の減となっていますが、どんな特別な理由があるのでしょうか。将来見込みといえ、充分な点検と精査をお願いします。	定年退職者（医師：65歳、その他の職員：60歳）の補充を再任用や嘱託により行うことや、看護師業務の一部を正職看護師から嘱託看護師が担うことにより抑制する予定です。また、平成29年度から本格稼働する電子カルテシステムによる人員体制の見直しを予定しています。	A R - 2 1
306	6 - 6 プラン内容への 質問・要望	・今後の手順 意見集約 住民説明会 公聴会 議会審議で進めて下さい。	当プラン案は、提出いただいたパブリックコメントに市の検討結果を加えて、市議会の意見を反映させて、市のホームページや公民館等で公表します。	A S - 6
307	6 - 6 プラン内容への 質問・要望	当初、川西市民病院が川西市中心部（中央町？）から現在地に移転した目的は何であったのか？それが何故現在の状況になったのか？まず、その推移と原因の説明を市民に判り易く説明してほしい。30年前・20年前・10年前？ 川西市（近隣市町）人口・病院数（病床数）・来院者数・・・どのように変わってきたのか？市民病院利用者の地域別推移？（それぞれ人口、世帯数推移） 川西市（北部・中部・南部）、猪名川町、豊能町、能勢町、その他	人口急増に伴い病院・開業医の開設が見られたものの、医療需要の増加に対応する必要があった中において、能勢電鉄の高架事業の関係から病床数の減少が必至の状態となり、慎重な審議を経て、昭和58年10月に現在の場所に移転したものです。その後、平成16年の研修医制度の導入などによって、全国の公立病院で医師の確保が難しい状況となったもので、市立川西病院においても前後して、医師不足が顕在化し診療体制が弱くなったものです。	A W - 1
308	6 - 6 プラン内容への 質問・要望	平成21年3月のプラン、平成23年の改定プランを再度説明してほしい。	平成21年3月に市立川西病院事業経営改革プランを策定し、消化器内視鏡センター新設、地域連携の強化、患者給食調理業務委託、診療材料の購入調整などに取り組みました。しかし、医師の減少が続いたことから、平成23年3月には、市立川西病院事業経営改革プランを改定し、消化器系疾患に対する取組み強化、緩和ケアへの取組み、経営マネジメント強化、医師確保の取組み、病床規模の見直しなどに取り組みました。	A W - 2
309	6 - 6 プラン内容への 質問・要望	・改革プラン（案）の疑問点等 改革プラン（案）の実施期間に関し、各所の表中に「平成32年目標値」が記載されているが、P12の最後に簡単なコメントのみで具体的な計画案になっていない。P3の表における「平成32年度目標値」の設定根拠は？	新公立病院改革ガイドラインにおいて、経営効率化に係る数値目標の設定が示されており、平成28年3月に策定した経営健全化計画に掲げた収支計画、数値目標などをもとに平成32年度までの数値に置き換えたものです。	A X - 2

番号	意見の分類	意見の内容	市の検討結果	提出者
310	6 - 6 プラン内容への 質問・要望	<ul style="list-style-type: none"> ・P6およびP7の表において「H32年目標値」は経営改善のための目標数値のようですが、その根拠は？「黒字病院、民間病院と大きな隔たりがあります」云々とありますが、そのような目標設定で経営改善が見込めるのでしょうか？ 	P6、P7の「H32目標数値」は、当プラン案にも記載していますとおり、市立川西病院経営健全化計画を参考に設定しているもので、全国の公立病院、民間病院の状況と比較し、市立川西病院における経営上の問題点を整理するものです。	A X - 4
311	6 - 6 プラン内容への 質問・要望	<p>オルタナティブな考え方をしてほしい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営形態を変えるという4つの選択肢以外にも積極的に考えるべき。 ・なぜ、市民病院に足を運ばない人が増えたのか？また、市民病院に通院するのか？という、市民病院の短所・長所が検証がなされていない。 ・市立であるメリットを十分に生かしてはいないのではないか？（他の病院では出来ない市民サービスと抱き合わせるとか・・・） ・単に病気を治すだけでなく、心のケアや健康維持に向けた施設としての（ボランティアで支え合うような？）利用はできないか？ ・人口が減少していく未来に向けてのビジョンがない。 ・建て替えをリフォームに出来ないか？ ・建て替えるのならCITなど、環境にいいものにしてほしい。（余談かもしれませんが、魅力ある市民病院にしてほしい。それが、経営改善にも繋がるはずです。） ・経営面だけで公営病院の存続を決めるべきではない。 	過去に策定した市立川西病院事業経営改革プランや経営健全化計画において様々な検討がされ、医師の確保、医療の充実などについても検討がなされ、現在患者数は増加している状況にありますが、それでも計画は達成できない可能性があります。安定した経営基盤のもとで、将来にわたって安心で安全な医療を提供するためには、経営形態の見直しを早急に検討する必要があります。	B Q - 2
312	6 - 6 プラン内容への 質問・要望	12頁5 計画の対象期間 このプランの対象期間は、平成28年度から平成32年度までの5年間です。こうなっていますが、対象期間が過ぎればその後はどうするのですか。	現時点においては、計画期間内に当該経営改革を行う必要があると考えています。	B T - 4
313	6 - 6 プラン内容への 質問・要望	地域医療構想を述べる前に、現状の利用実態を明らかにして欲しい。病院の利用率（川西市北部、中部、南部、および他自治体）を明らかにし、それに即した「あり方」を提示すべきでは。	平成19年度退院患者数とその割合は、川西市北部52%、中部7%、南部1%、他市町40%となっており、その割合は現在も大きく変わっていないと考えています。このようなことも踏まえ、検討を進めています。	G A - 4
314	6 - 7 語句の追加・修正	P6 - 2行目、外科系医師の「魅力」には少し違和感。別の表現がありませんか。		A R - 1 1
315	6 - 7 語句の追加・修正	<ul style="list-style-type: none"> ・「手術件数の増加を図り、外科系医師の魅力の向上につなげます。」の記載について改革プランにこのような記載がされると、何の為の経営改革かを疑う。医師の魅力向上の為に患者が手術をされたらたまったものではない。患者はモルモットではない。発想が全く可笑しい。充実した医療行為を行えば、来院患者数が増え、それに伴って必然的に手術数も増えるのであり、医師の立場からも患者治療を通して職業的魅力を感じ、また、病院としても財政の健全化が図れるのである。 	「魅力の向上」を「確保」に改めます。	F C - 7

番号	意見の分類	意見の内容	市の検討結果	提出者
316	6 - 7 語句の追加・修正	P2 - 7行目、「豊能町住民の医療需要を担っていくことを考えたとき」とありますが、地域広域医療の必要性は痛感していますが、町から応分の費用負担がない中で、川西市がそこまで言い切らず、P10 - 13行目の文言を参考に、例えば「医療の一部を担っている現実を考えたとき」ではどうでしょうか。	猪名川町、豊能町、能勢町の皆さまの医療の一部を担っている現状から、経営形態の見直しを検討する際に、市立川西病院の医療圏にある他の自治体からの協力を得ることも併せて検討します。	A R - 7
317	6 - 7 語句の追加・修正	P5 - 3行目、「できる人材がおらず」は、適切な表現とは思えず、例えば「できる経験豊かで専門性の高い人材に欠け」では如何ですか。	「できる人材がおらず」を「できる専門性の高い人材がおらず」に改めます。	A R - 9
318	6 - 7 語句の追加・修正	P8 - (5)-イの5行目、例えば「また、任命権のもと、市と協議し的確なる人事配置に努めます。」を追加すべきと考えます。経営に当たっては、法的な任命権の強力な行使が肝要です。	選択する経営形態によって異なりますので、原文のとおりとします。	A R - 13
319	6 - 7 語句の追加・修正	P9 - 2行目、「その果たすべき役割を踏まえ」とありますが、その役割を全ての関係職員が共通認識されていますか。前述2 - (2)明文化の必要性を痛感します。	公立病院として果たすべき役割である、安心で安全な医療を提供するということは、病院職員をはじめ関係職員が共通の認識を持っており、市立川西病院の理念と基本方針に定めています。	A R - 14
320	6 - 7 語句の追加・修正	P12 - 22行目、市民にとっても関心事であり、事業の円滑な推進のためにも、例えば「必要によっては、その結果を市民に公表します。」の追記を望みます。	市立川西病院事業経営改革審議会における資料や会議録は、市ホームページにて公開することとなっているため、このような表現にしています。	A R - 19
321	6 - 8 審議会の回数、委員数	当審議会の委員は、5名と少なく、しかも学識的な経験者4名ですが、如何お考えでしょうか。今後は、より広く多くの市民の意見を反映すべく、この改革プランの点検・評価をなされる審議会には、委員構成に配慮し、規則上限10名に増員されますよう切望します。	過去に策定した改革プラン及び経営健全化計画の策定に当たり多くの方々からご意見をいただくとともに現状分析を実施してきました。今回の市立川西病院事業経営改革審議会の委員には、特に専門的な知識、経験を有する方々に就任いただき、課題克服に向けた、実効性のあるご意見をいただきました。当プランの点検・評価についても同様の委員構成を考えています。	A R - 2
322	6 - 8 審議会の回数、委員数	今回の答申の短さ、簡単さに不信感を持つ。なんで新改革プランなるものの答申が、紙切れ一枚なのですか。市民の貴重な医療資産を、経営を全面に出す者に委ねることになるかもしれないのに、そして病院で働く労働者の重大な労働条件・身分の変更を伴うものであるのに、あの短さはなんですか。もっと資料とか、その答申を出すに至った理由とかを書き添えるべきではないか。H20年11月の答申においては、それなりに体裁を整えていたではないか。さらに審議時間の短さも不信感を抱く。もっと市民全体に議論を投げかけていくことはできなかったのか。数人の学識経験者のたった4回にわたる会議だけで独法化や、病院立地の変更など、の議論を結論付けるのは拙速すぎる。利害関係人は川西市民のほか3町にまたがるのに、それらの人々の意見も十分聴取しないまま、結論を出すのはいかがなものか。もちろんこれから市議会で議論していくことになるのではあるが、もっと議論の輪を広げてほしい。	市立川西病院事業経営改革審議会では、市立川西病院事業新経営改革プラン案をご議論いただき、答申書の中で特に意見を付すという形で最終の答申をいただいたものです。 また、過去に策定した改革プラン及び経営健全化計画の策定に当たり多くの方々からご意見をいただくとともに現状分析を実施してきました。市立川西病院では、それらの意見を受け、様々な改善策を講じてきましたが、現状では、計画は達成できない可能性があります。今回作成しました市立川西病院事業新経営改革プラン案は、このような状況の中で、民間病院等との比較を行うなど、4回の審議会の議論を経てきたものです。	B P - 2
323	6 - 9 パブリックコメント	このようなパブリックコメントを募集していること、改革プランの答申があることを市民の方がどれくらい把握しているのか疑問です。どのように広報したのですか。	パブリックコメントの実施にあたっては、市広報誌12月号への案内掲載や市ホームページへの掲示のほか、公民館などにも設置し、周知を図ってきたところです。	B V - 2

番号	意見の分類	意見の内容	市の検討結果	提出者
324	6 - 9 パブリックコメント	今回の件は市報に載せていたのでしょうか？	パブリックコメントの実施にあたっては、市広報誌12月号への案内掲載や市ホームページへの掲示のほか、公民館などにも設置し、周知を図ってきたところです。	E T - 2
325	6 - 9 パブリックコメント	・パブリックコメント記入にあたってとてもわかりにくく、不親切な案内だと思いました。多くの市民の皆さんの意見をきくために、工夫が必要だとも思います。	パブリックコメントの実施にあたっては、市広報誌12月号への案内掲載や市ホームページへの掲示のほか、公民館などにも設置し、周知を図ってきたところです。今後ともわかりやすい情報提供に努めます。	A - 1
326	6 - 9 パブリックコメント	昨年1年間と今年の1月号の市広報を読み直しましたが、改革プランそのものの掲載はありませんでした。病院の経営悪化を知るのには、過去の広報12月号の会計決算報告のみでしたが、決算報告からではプランの内容を知ることができませんし、市のホームページで閲覧する方は限られています。やはり、意見募集前に市広報にプランを掲載すべきだったのではありませんか。		B U - 2
327	6 - 9 パブリックコメント	川西市民病院の改革プラン（案）について、パブリックコメントを募集している事は、最近まで知りませんでした。こういう事はインターネットだけでなく書面で宣伝する等の対策をお願いしたいと思います。パソコンを扱えない方も多いと思いますので。		C G - 5
328	6 - 9 パブリックコメント	パブリックコメントの案内がとてもわかりにくく、市民に対して不親切だと思います。今、キセラ川西事業を大きく進めており、大きく掲示しているのはわかりますが、市民病院の今後も同じくらい市民にとって大事なことでないでしょうか。		D D - 1
329	6 - 9 パブリックコメント	<p>・このパブコメについて広く行うべきである。 意見提出者を「市内在勤、市内在学、当該案件に係る利害関係人のいずれか」に限定するべきではない。「当該案件に係る利害関係人」というのは、ハードルを感じる。「その他」にすべきだ。「当該案件に係る利害関係人」の多くは、猪名川町・豊能町・能勢町の住民でもあるので、各町でも意見を求めるべき。患者・その家族やお見舞いに来る人の意見も反映されるように、病院内に意見を書ける（または、代筆できる）場所を設けるべき。</p> <p>・わかりにくい 1～2枚のわかりやすいフロー図がほしい。特に、P14の内容。「高度急性期病床」など、一般の人が知らない言葉の説明がない。学生の意見も求めるのなら、もっと、分かりやすくすべきだ。P13の上下の表は何を比較しているのか分からない。（大体は察しはつくが・・・）川西市民以外の利用の割合などのデータもほしい。</p> <p>様々な意見を募集するということが、4つの選択肢しかないようなイメージを受けかねない。</p> <p>・期間が短すぎる</p> <p>上記を踏まえて、再度パブコメを募集するべきである。</p>	<p>パブリックコメントは、川西市参画と協働のまちづくり推進条例に基づき、川西市の行政活動に対する市民参画の手法の一つとして、川西市以外にお住いの方は、市内在勤、市内在学、当該案件に係る利害関係人のいずれかに該当する方を対象とさせていただきます。また、市立川西病院においても設置し、周知を図ってきたところです。</p> <p>わかりやすい用語の使用に努めましたが、県の示した地域医療構想などを受けたプラン案となっており、一部に難しい用語が含まれています。しかし、同様の意見が多く寄せられている状況にはありませんので、再募集は致しません。</p>	B Q - 1
330	6 - 9 パブリックコメント	なぜ4回の審議だけでこうも変わってしまうのか頭の中にハテナがたくさんあります。時間外勤務をし、年休をけずり日々労働していることへの報いが、このような改革結果というのは、大変遺憾です。私たち病院職員、利用されている患者さまはどうなるんですか？川西市の経営に関わる方々なら皆が何を求めているかもっと理解すべきだと思います。	パブリックコメントでご提出いただいた皆さまの意見を踏まえ、最終的な改革プランをまとめます。市立川西病院が公立病院として、小児、周産期、救急などの不採算医療や高度・先進医療を継続的に担っていくという役割を果たしつつ、健全な経営を行い、将来にわたり市民の医療の安全・安心を確保するために、最も適した経営形態の見直しを検討します。	E L

番号	意見の分類	意見の内容	市の検討結果	提出者
331	6 - 9 パブリックコメント	パブリックコメントのすべてを公表し、様々な意見に対して、行政内部の判断と、経営改革審議会での判断について、透明性のある公表を切に願うものであります。	ご提出いただいた意見は原則としてすべて公表していますが、個人等が特定される箇所や内容が募集対象に合致しない意見については、記載していない場合があります。	F Q - 5
332	6 - 1 0 市立川西病院の充実、PR	・診療科の充実 人口減、少子化対策のためには小児科と産科を優先的にさらに充実してほしい。若者は医療や保育所環境などを最優先に考えることをよく認識すべき。		D - 5
333	6 - 1 0 市立川西病院の充実、PR	・利用者増への対策 病院の危機の要点は、医療者不足、費用不足でもありました。近年、利用者の生活の疲弊がもたらしていると思います。時代は変わってきています。高齢者の18%は貧困状態で、16.8%は貯蓄ゼロ世帯。若者層とえば20年ほど前に非正規雇用を増やし始め世代は40歳代になり4割に達する中、膨大な数の低賃金労働者が後に続いています。国民年金は4割が未納、貧困状態が長く続けば健康に影響するので医療費も増える。従って、おのずと病院の受診回数、服薬回数を減らします。高齢者と若者世代が共倒れしかねない社会となっていると認識しています。いろんなものがマイナスで絡み合って、どうやって出口を見つけるかわからない状況と言えます。「貧困に陥ることは自己責任、がんばれば防げる」などと言えたものではありません。病院にも連鎖してきている時代の背景をシビアに問題にしなければなりません。その利用者減の視点が改革プランに出て来ていません。時代を正しく、住民ニーズを汲み取る必要があります。 当該病院の医療関係者の定着は、利用者増と密接不可分の関係にあると思います。現場の様々な政策会議・医療経営改革委員会・始業前ミーティングはありますが、現場の第一線で働くひとが参加していませんね。肩書のある人たちが集まっていますが、医療サービス・改善するべきところは第一線の人が一番よく知っています。そこに依拠して燃える集団づくりを図らなければなりません。現場レベルでは、魅力的な職場づくりが大切だと思います。事業経営改革審議会にも病院長や労働組合長も参加すべきです。富裕層のみの審議委員では不足です。明るく・元気に・生き生きとした職場は利用者には好印象・高評価に成っていくでしょう。「モラル、モチベーションの輝く職場」にすべきです。	ご意見として賜ります。	A S - 3
334	6 - 1 0 市立川西病院の充実、PR	病院と老人ホームを一緒にしてみてもどうですか。公営の、安い。		E W
335	6 - 1 0 市立川西病院の充実、PR	・経営形態の変更について 現状に加えて、ホスピスと共に老人医療施設を増設して頂きたい。現場所だからこそ、土地を広げる事が出来ると思う。団塊世代が70才になります。利用者は多い筈です。		E Z - 2

番号	意見の分類	意見の内容	市の検討結果	提出者
336	6 - 10 市立川西病院の 充実、PR	<ul style="list-style-type: none"> ・改革推進に必要なこと（思いつくままに） 患者(市民)が市民病院に何を期待するかを明確にすること。市民が期待するのは、安心感。何かあれば市民病院に行けば良いとの思い。 具体内容(めざす姿) 診療科目が充実している 治療実績が豊富で、患者からの口コミでの高い評価がある マスメディアでの高い評価。昔、市民病院の整形外科はテレビニュースで報道され(切断した指の縫合手術成功)大変注目された。遠方からも患者を集めていた。 開業医からの紹介状発行が豊富 救急医療にも対応できる 		FC - 2
337	6 - 10 市立川西病院の 充実、PR	<ul style="list-style-type: none"> ・患者数増加には何が必要か？ 市民病院に行きたいという気持ちにさせること。現状は、これが低い。 具体内容 患者からの口コミで、高い評価が広まること。 受診した人が、再度受診したいor人に紹介したい気持ちにさせること 医療内容、相談対応、スタッフ対応などが的確であることがベースに必要。来院者に安心感を感じさせること。再来院者には、良い意味で変わったと思われること。何故か、協立病院は一度行くと、何かあるとまた来ようと思ってしまう。 ホームページなどのPR方法の工夫 市民病院に行きたい気持ちを起こさせる表現&情報提供。例えば、何の予備知識なしに市立池田病院や協立病院のHPと比較すると、何となくこれらの病院を選択したくなる。特に市立池田病院との比較では、実態は然程変わらないのかもしれないが、何故か市立池田病院のほうが充実している様に思える。実際、市立池田病院の良い評価はよく耳にする。 アクセスの改善 病院の評価が高ければ、立地が悪くても患者は集まってくるので、然程重要とは思われないが、改善の余地はあると思う。平野地区で車での来院者が多く、交通障害を起こしている病院もある。ペリタス病院は、多田グリーンハイツ、湯山台の送迎バスコースを設け利用者も多い。自治会の「お出掛け支援のバス(西友多田店行き)」の利用促進活動の中で、「市民病院に行って貰えれば助かるのだけど…」といった意見もある。 	ご意見を踏まえ、検討していきます。	FC - 3
338	6 - 10 市立川西病院の 充実、PR	<p>市立池田病院のHPによると、入院、外来患者の20%が川西内居住者だといっています。私の周辺住民の中に、複数の住民が時間や交通費をかけて周辺の公立病院を利用しています。その理由を聞くと、医療の質、内容、信頼性、そして病院のイメージを上げる方が多い。このこと自体は、具体性に欠け、かつ根拠が希薄と思われることもあるので、テーブルで議論する内容ではないかもしれない。しかしながら現実には重視しなければなりません。長期的ビジョンで医療需要を論ずる前にこの「負のイメージ」を取り除くことが必要です。</p>	ご意見のとおり、病院のイメージは大切です。この点も踏まえ検討していきます。	CH - 2

番号	意見の分類	意見の内容	市の検討結果	提出者
339	6 - 1 0 市立川西病院の 充実、PR	<ul style="list-style-type: none"> ・病院施設 病院新築時はぜひ、受付、会計、案内等は広くスペースを取り、会計精算機等を設置。病室は6人部屋廃止（4人部屋まで）にし、個室を増やす。各診療室は2F、3Fに設置。1Fは売店、食堂、の施設の充実。エレベーター、エスカレーターを増やす。床はじゅうたんを敷く。放射線課を充実。 ・他施設の見学・視察 大阪八尾市の市立病院、大阪成人病センター（4月以降は大阪国際がんセンター）にぜひ職員を。 ・経営形態 最近、問題になっている長時間の時間外勤務の無い様な人員確保。 	ご意見を参考に検討していきます。	CT - 2
340	6 - 1 0 市立川西病院の 充実、PR	市立川西病院の名を世間にもっと広げて下さい。市報だけでなく、新聞各社に声掛けし、記事にしてもらい宣伝して下さい。	ご意見を踏まえ、市立川西病院の魅力向上を図る広報に努めてまいります。	EZ - 3
341	6 - 1 0 市立川西病院の 充実、PR	病院経営の基本は、病院の魅力向上につながる、医療科目数、医師の数、看護師の数等を増やし、医療治療実績を増やし、大学病院等との関係ネットワーク等の構築などをPRし、信頼できて安心感のある医療機関として認識を持たれ、病院の評価向上が病院経営の向上につながるものと考えます。また、そのPRの中に広域の地域医療拠点になっているということもPRの要素になると考えます。		FQ - 4
342	6 - 1 0 市立川西病院の 充実、PR	<ul style="list-style-type: none"> ・情報開示 新病院事業管理者が赴任されてから、広報面もずいぶん充実してきたが近隣病院と比較するともう少し充実させていただきたい。特に、医療情報（詳しい治療実績データ、医師の経歴、さらに病院機能評価機構の審査結果など）。初診時には、口コミとこのような情報を最初にチェックする患者が多くなっている。 	ご意見を踏まえ、市民の皆さまにわかりやすい広報に努めてまいります。	D - 9

番号	意見の分類	意見の内容	市の検討結果	提出者
343	6 - 10 市立川西病院の 充実、PR	<p>利用者が少ない事も大きな要因。高齢化で増々病院の役割は重要です。どうしたら利用者が増えるのか対策を真剣に考えると、まず病院迄の利便が悪すぎる。私は鼓が滝に住んでいます(26年間)が、一度も市民病院に行ったことがありません。</p> <p>(対策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山下駅から市民病院へのシャトルバス30分毎に巡回する。財政的にむずかしければ、100円/回自己負担することも検討。 ・病院の特色をすみ分けも考えながら市民病院ならこんな治療ができる、ホスピス病棟、小児医療、救急医療、各種相談医療etc、市民に毎回広報でアピールする。 <p>今まで自家用車での来院が多かったと思いますが、これからは高齢化でどんどん車離れ(免許返上)が増え、いずれ電車、バス、公共交通に頼らざる得ません。付添え、見舞客も病院へ行きます。シャトルバスは必要です。早急にバス手配をと考えます。</p> <p>以上、より多くの方の意見を参考に市民にとって頼れる病院に期待しています。</p>	<p>ご意見として承りますが、より多くの皆さまにご利用していただけるよう、病院の立地については、市民、利用者の利便性、スタッフの確保という両面から検討していきます。一方で、現市立川西病院を多く利用している市北部地域の住民等の安心を確保する観点からの検討も行う必要があります。</p>	A Z - 2
344	6 - 10 市立川西病院の 充実、PR	<ul style="list-style-type: none"> ・経営形態の変更 <p>経営においての不採算性の高い部署は、企業としてはどこもあると思います。それを改善、改革は必要と思います。ただ、その前に病院については、風評であまり良くない(現状は若干改善されていると思いますが)時間が経っているように思います(クライアントの減少要因もあるのでは?)。目安箱の意見書の回答を見ても、きれいごとで終わっているようなところもありました。不採算医療の見直しは急務なのでしょうが、風評の改善も検討されては如何と思います。</p>	<p>利用者の皆さまに満足していただき、市立川西病院のイメージアップに努めてまいります。</p>	P - 1
345	6 - 10 市立川西病院の 充実、PR	<ul style="list-style-type: none"> ・「事務スタッフに病院関係者をコントロールして最適化を図ることが出来る人材がおらず十分な取組みができていない状況です。」との記載について <p>民間企業でも専門家はいないのが一般的である。改革を進めるという強い意志とマネジメント能力のある人であれば、その人を中心に医療関係者をコントロールして最適化は図っていきける。それを実行するには、先に述べた対応課題の洗い出しとその課題解消に向けた全員が一丸となった取組みの徹底が必要である。また、ヤル気の無い・課題を無視して自分の意見のみを主張するスタッフがいるのも事実であり、それらの者は、推進リーダーの権限で更迭することが必要であり、その様な行為をサポートする体制を作る必要がある。</p>	<p>ご指摘のような人材を確保するためには、現在の病院事業の経営形態では困難であるため、思い切った方向転換が必要であると考えております。</p>	F C - 6
346	6 - 11 市民、職員の意見 に対する傾聴	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで聞いていた話と全く違う、突然の新経営改革プラン案 <p>病院事業管理者に、事前に意見を問う場がなかったときいています。全部適用の病院なのにおかしくないですか。</p>	<p>当プラン案は、市と市立川西病院が協力して作成しています。</p>	A - 2
347	6 - 11 市民、職員の意見 に対する傾聴	<p>病院スタッフは、365日市民の皆さんのために昼夜問わず精一杯働いています。もっと、現場の意見を聞いてください。</p>		A - 7
348	6 - 11 市民、職員の意見 に対する傾聴	<p>市民に説明会もせず、公民館では「改革プラン」を貸し出すだけで説明もしない、これで市民が内容が理解できているのか疑います。このような不親切で強硬な進め方にあきれます。</p>	<p>パブリックコメントの実施にあたっては、市広報誌12月号への案内掲載や市ホームページへの掲示のほか、公民館などにも設置し、周知を図ってきたところですが、今後ともわかりやすい情報提供に努めます。</p>	A U - 2

番号	意見の分類	意見の内容	市の検討結果	提出者
349	6 - 1 1 市民、職員の意見に対する傾聴	市民アンケート調査や広報かわにし1月号にも記載なく納得いきません。		BA - 1
350	6 - 1 1 市民、職員の意見に対する傾聴	全体については机上の収支の数字で書かれているように思えます。 また、地方交付税の財政支援、元利償還金の拡充（25% 40%）を目指すために、色んな整備をしていくという事ですが、民意についてはどんな配慮をされるのでしょうか。川西市民病院については1市3町に影響が及ぶと思いますので、その範囲まで知らせておく必要があると思います。収支も大切ですが民意はもっと大切です。	パブリックコメントの実施にあたっては、市広報誌12月号への案内掲載や市ホームページへの掲示のほか、公民館などにも設置し、周知を図ってきたところですが、今後ともわかりやすい情報提供に努めます。	CG - 4
351	6 - 1 1 市民、職員の意見に対する傾聴	市立川西病院事業新経営改革プランについては知らない市民が多く、もっと市民に周知徹底して、幅広く多くの人の意見を聞く必要があると思います。		DL - 1
352	6 - 1 1 市民、職員の意見に対する傾聴	この経営改革に当たっては、病院で働く人々や労働組合に所属する方々、とりわけ北部に住む方々の意見を求めて頂きたい。赤字経営だからといって川西中央部に移転したからといってそれが解消する訳ではない。目先の短期的な計画ではなく、長期30～50年の見通しを持った経営改革プランをご策定願いたい。	パブリックコメントの実施にあたっては、市広報誌12月号への案内掲載や市ホームページへの掲示のほか、公民館などにも設置し、周知を図り、提出していただいた意見を踏まえ、プランを策定していきます。 将来にわたって市民に安心して安全な医療を提供するために、安定した経営基盤を築くという基本的な考えに立って検討を進めます。	CJ - 2
353	6 - 1 1 市民、職員の意見に対する傾聴	患者様より市立川西病院がなくなってしまうのかと心配して声をかけられることが多くなりました。病院で働く職員としても、移設や経営形態の変化については患者様・職員の意見を取り入れて検討して頂きたいと思っております。	パブリックコメントでご提出いただいた皆さまの意見を踏まえ、最終的な改革プランをまとめます。市立川西病院が公立病院として、小児、周産期、救急などの不採算医療や高度・先進医療を継続的に担っていくという役割を果たしつつ、健全な経営を行い、将来にわたり市民の医療の安全・安心を確保するために、最も適した経営形態の見直しを検討します。	CV
354	6 - 1 1 市民、職員の意見に対する傾聴	住民の声を大切にしてください。	パブリックコメントでご提出いただいた皆さまの意見を踏まえ、最終的な改革プランをまとめます。	GD
355	6 - 1 1 市民、職員の意見に対する傾聴	2頁 川西病院に対する住民のニーズ調査が行われていない 今後、市民の高齢化が進み、その生活圏域が狭くなっていく状況に加え、医療機関自体が少ない猪名川町、能勢町、豊能町住民の医療需要を担っていき、市立川西病院として高度急性期病床を一定確保し、医療の圏域内完結率の向上に努める必要があるとしています。 平成21年の前計画策定の際には、住民の要望調査を行い、国保のデータなどを分析して川西病院をどのような人が利用し、そのような医療需要があるのかを分析していました。今回の改革案作成にあたっては、こうした調査を行わず、主に病院会計だけを分析し、わずか4回の審議会で改革案を作成するのは、住民参画条例の趣旨にも反するのではないのですか。	当プラン案は、過去に策定した改革プラン及び経営健全化計画を踏まえ、作成しています。利用者の状況等は大きな変動はないものと考えています。	O - 2

番号	意見の分類	意見の内容	市の検討結果	提出者
356	6 - 1 1 市民、職員の意見に対する傾聴	突然、新経営改革プラン案の説明をされて、驚いています。事前に職員や患者様に意見を出して頂くべきではないでしょうか。	当プラン案は、P12の記載事項をこれから検討していくとの内容であり、決定事項の報告ではありません。職員や患者様への周知についても、市民の皆さまへの周知と同じように、パブリックコメントの実施という方法をとったものです。	D Y - 1
357	6 - 1 1 市民、職員の意見に対する傾聴	病院の経営が市から変わるかもしれない話や、建て替えの着工が平成32年までという話は突然出てきたように感じられる為、情報提供が十分にできていないと思う。	当プラン案は、P12の記載事項をこれから検討していくとの内容であり、決定事項の報告ではありません。パブリックコメントの実施という方法で周知しているところです。	E D - 2
358	6 - 1 1 市民、職員の意見に対する傾聴	病院の累積赤字に対して、様々な取りくみを現場では行ってきました。市民の皆さんのために精一杯頑張っています。今回、このような突然の経営改革プラン案に対し、驚きを隠せません。事前に具体的な説明があってもよかったです。今回のことで、病院をやめてしまう看護師も多くいるのではないのでしょうか？この病院での公務員としてのメリットがなくなってしまうのではないですか？	当プラン案は、P12の記載事項をこれから検討していくとの内容であり、決定事項の報告ではありません。また、議員協議会に先立ち、審議内容の説明を病院内で実施しています。後段のご意見については、参考にして、検討を進めていきます。	F I
359	6 - 1 1 市民、職員の意見に対する傾聴	赤字の不利益を医療職員に負わせるのはおかしいと思う。救急、小児科、産科がなくなるのも市民の事を考えていないような気がします。医療職、市民の事をもっと大切に考えて下さい。	市立川西病院が公立病院として、小児、周産期、救急などの不採算医療や高度・先進医療を継続的に担っていくという役割を果たしつつ、健全な経営を行い、将来にわたり市民の医療の安全・安心を確保するために、最も適した経営形態の見直しを検討します。	E I
360	6 - 1 1 市民、職員の意見に対する傾聴	このプランは昨年12月に経営企画室長から、自分たちが市役所での会議で話を聞いてきた、つまり院長や経営責任者が参加していない状態で話が進んだものとして示されました。病院の職員には何一つ意見の聴取もなく、また、企画室長から「職員の意見は聞かない」という威圧的な付け加えもある中で提示されたプランです。私は改革は必要だと思いますが、現在病院で働くものを全員解雇することが前提でないなら、プラン策定の過程でもう少し病院の現職の意見は聞いていただきたいと思います。一部の医師の情けない態度は許せないと思いますが、気骨をもって職務に精励している職員もおります。どうか現在病院で苦勞している職員に報い、ひいては患者だけでなく広く市民生活に寄与するような改革であってほしいと思います。	過去に策定した改革プランや経営健全化計画に基づき、病院職員が懸命に努力されていることは承知しています。将来にわたって市民に安心で安全な医療を提供するために、安定した経営基盤を築くという考え方に立って検討を進めます。	F X - 3
361	6 - 1 1 市民、職員の意見に対する傾聴	「市立川西病院の果たすべき役割」とあるが、病院をつくった目的に照らし果たしてきた役割の評価がない。また、川西北部に移転しその場所に必要な理由と、現状評価も明確にして欲しい。また、利用者、従事者の意見もここに反映させて欲しい。それらを踏まえて、地域医療構想のなかで求められる役割と現状評価をして欲しい。	現状では、市立川西病院は市内北部地域、猪名川町、豊能町、能勢町の入院機能提供の中心的な役割を担っていますが、これらの検証は過去に策定した改革プラン、経営健全化計画で行っています。市民、関係者の皆さまからの意見は、当該パブリックコメントでいただいています。	G A - 3
362	6 - 1 1 市民、職員の意見に対する傾聴	市立川西病院事業新経営改革プラン(案)の意見募集前に市北部の自治会やコミュニティなどに説明会を行いましたか。	意見募集前にコミュニティや自治会等を対象とした説明会は、実施しておりません。	B U - 1